

CAPSの40年

1981－2021



成蹊大学アジア太平洋研究センター

目次

写真で振り返る【1981～2021】	2	
I 所長の挨拶		
CAPS40周年にあたって	8	
CAPSの活動	10	
II CAPS40年の歩み		12
III 資料		
1 研究プロジェクト		
1－1 共同研究プロジェクト一覧	16	
1－2 パイロット研究一覧	30	
2 刊行物		
2－1 アジア太平洋研究センター叢書一覧	33	
2－2 所報・ジャーナル『アジア太平洋研究』一覧	37	
2－3 CAPS Newsletter	43	
3 講演会等		
3－1 講演会・シンポジウム一覧	44	
3－2 上映映画一覧	55	
4 招聘外国人研究員一覧	58	
5 構成員一覧	62	
IV 成蹊大学アジア太平洋研究センター規則	66	
V アジア太平洋研究センター案内図	68	



1985. 6. 28
講演会
『今後のアジア太平洋における日・中・米の役割』
Ezra Vogel (ハーバード大学教授, 米国)



1986. 11. 26
タイ・チェンマイ大学と「学術交流に関する協定」を締結



1989. 5. 13
国際シンポジウム
『オーストラリア・インドネシア・日本—国際関係をめぐる諸問題—』



1991. 3. 9
ワークショップ
『日本社会における外国人問題』



1992. 3. 24～25
CAPS設立10周年記念国際コンファレンス
『アジアとヨーロッパにおけるデモクラシーの未来』
基調報告



1992. 3. 24～25
CAPS設立10周年記念国際コンファレンス
『アジアとヨーロッパにおけるデモクラシーの未来』
パネルディスカッション



1995. 11. 28
学生向け講演会
『アジア太平洋地域共同体とNGOの役割』
山本正 (日本国際交流センター理事長)



1997. 7. 1
講演会
『言語とトラウマ—ことばとのフェンシング』
Miryam Belle Sas (ハーバード大学助教授, 米国)



1999. 3. 12～13
成蹊大学50周年記念国際コンファレンス（2部構成）
『アジア太平洋地域の夢と葛藤』



2000. 6. 1
『薬害エイズについての日米仏三ヶ国比較』
Eric A. Feldman（ニューヨーク大学Institute for Law and Society 副所長, 米国）



1999. 3. 14
成蹊大学50周年記念国際シンポジウム
『アジア太平洋地域の夢と葛藤』



2001. 6. 1～2
CAPS設立20周年記念成蹊フォーラム
『21世紀のアジアと女性』国際シンポジウム



1999. 10. 25
連続講演会第1回『核・ミサイル問題と米朝関係』
Young C. Kim（ジョージ・ワシントン大学教授, 米国）



2001. 6. 1～2
CAPS設立20周年記念成蹊フォーラム
『21世紀のアジアと女性』分科会



2000. 4. 14
講演会
『日本とドイツにおける損害賠償法の相違点と共通点』
Gerhard Ries（ミュンヘン大学教授, 独）



2001. 6. 1～2
CAPS設立20周年記念成蹊フォーラム
『21世紀のアジアと女性』学生集会



2002. 6. 11
連続講演会第1回
『グローバル化と文明の衝突』
入江昭 (ハーバード大学教授, 米国)



2008. 10. 31
シンポジウム
『中国、沖縄ドキュメンタリー／アートの可能性』



2004. 5. 11
連続講演会第1回
『韓国政情と朝鮮半島問題』
Young Kim (ジョージワシントン大学名誉教授, 米国)



2009. 3. 22
国際シンポジウム
『デモクラシーとナショナリズム—アジアと欧米』



2006. 5. 25
CAPS設立25周年記念
『25周年CAPSを考える集い』



2009. 6. 26
連続映画上映会『アジア太平洋の世界』第1回
上映作品：『アルナの子どもたち—パレスチナ難民キャンプでの生と死』
田浪亜央江 (成蹊大学非常勤講師)



2007. 6. 16
国際シンポジウム
『日本のゆくえ—保守主義とは何か—』

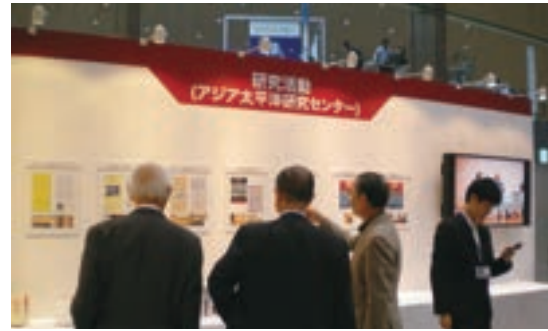


2010. 1. 23
シンポジウム
『アジア太平洋／子供たち／映画』



2010. 10. 16～2011. 1. 22

2010年度成蹊学園創立100周年・CAPS設立30周年
記念連続講演会『人間の安全保障と北東アジア
サステイナブルな地域社会をめざして』全3回



2012. 5. 12

成蹊学園100周年記念式典展示



2011. 9. 24～25

成蹊学園創立100周年記念国際学術会議『東アジアの歴史と思想』
〈第1セッション〉
「東アジアの近代とナショナリズム」



2012. 6. 28～2013. 1. 28

連続講演会『統合と分裂の力学から見るアメリカー
過去・現在・未来』全5回



同上〈第2セッション〉
「東アジアにおける中国」



2013. 7. 27

連続映画鑑賞会『映画を通じて知るアジア太平洋の世界』第3回
上映作品：『私はシベリヤの捕虜だった』
富田武（成蹊大学教授）



2012. 3. 17～18

成蹊学園創立100周年CAPS設立30周年記念国際シンポジウム
『人間の安全保障と東北アジア—民主主義とコミュニティの未来』



2014. 6. 18

公開講演会
『3・11から未来を創造する—文明の転換期にある日本と世界—』
池内了（宇宙物理学者・名古屋大学名誉教授）



2014. 10. 1
特別講演会
「マーティン・ヒル『分水嶺』」
Martin Hill (環境アーティスト)



2015. 11. 8
『火山島』復刊記念シンポジウム実行委員会主催・
岩波書店共催・CAPS後援復刊記念シンポジウム
「戦後日本語文学と金石範『火山島』」



2015. 2. 22
CAPS主催・思想史研究会後援ワークショップ
『アジアの思想を読む—中江兆民を中心に—』



2016. 6. 11
CAPS／ピープルズ・プラン研究所共催刊行記念シンポジウム
『戦後レジームと憲法平和主義』



2015. 7. 10
講演会
『共生とアイデンティティの思想』
花崎皋平 (哲学者)



2016. 7. 30
シンポジウム
『共生への道と核心現場 実践課題としての東アジア』



2015. 7. 12
ワークショップ
『浪曲からパンソリへ、パンソリから浪曲へ』



2016. 12.3～4
国際ワークショップ
『アラブ文学との対話Ⅱ 記憶・声・土地 交差するアートワーク』



2017. 11. 25 CAPS・成蹊大学東京オリパラプロジェクト共同主催（武蔵野市・武蔵野市教育委員会後援）
公開シンポジウム『スポーツと国際貢献を考える―「競うこと」と「つながること」の先へ』



2018. 11. 2
ラテンアメリカ音楽レクチャー・コンサート
『オマール・アコスタ・デュオ フルートが奏でるラテンの調べ』



2018. 1. 20
公開講演会
『7年目の福島 いま、私たちが考えなければならないこと』
清水修二
（福島大学名誉教授）



2018. 12. 22
CAPS／移民・ディアスポラ研究会共催公開シンポジウム
『人口減少時代と外国人労働者―日本の産業・労働政策と社会的公正の未来を考える』



2018. 1. 27
CAPS主催・駐日韓国大使館韓国文化院／公益財団法人日本民藝館後援公開シンポジウム
『日本の中の朝鮮文化、再発見』



2019. 11. 9
【CAPS CINEMA】映画上映会&ゲストトーク
『アスベスト被害から産業社会を問い直す』
上映作品：『ニッポン国VS泉南石綿村』



2018. 10. 6
公開シンポジウム
『ポスト冷戦と平成デモクラシーの日本政治』



2020. 10. 3～2021. 1. 31
CAPS主催朝日新聞社後援オンライン講演会
『コロナ時代の世界』
（オンデマンド配信・全6回+特別回）

I 所長の挨拶

CAPS40周年にあたって

アジア太平洋研究センターは2021年に40周年を迎えることとなりました。

当センターが創設されたのは1981年4月のことです。センターが創設された当時、世界はまだ冷戦の真っ只中でした。新冷戦という言葉も聞かれた時代です。1979年には当時のソ連がアフガニスタンに侵攻し、アメリカを中心とする西側も加わって対立が激化していました。1980年に開催されたモスクワ・オリンピックも、アメリカや日本は参加をボイコットしています。1981年にはソ連に対する強硬姿勢を宣言するレーガン政権がアメリカで誕生しています。世界は、資本主義陣営と共産主義陣営、自由民主主義体制と非自由民主主義体制、さらには「先進国」と「発展途上国」に分断されていました。アジア太平洋という地域も例外ではありませんでした。

1981年のセンター創設当時、アジア太平洋という言葉は、そうした違いを超えて、ひとつの地域の中で国々がそして人々が隣人として共に生きていることを確認し、相互の交流と理解を深める意義を宣言する意味合いをもっていたように思います。その後、アジア太平洋という地域は、関係性を深化させ、今日、国や社会、人々の間の重層的なつながりへと発展してきました。

ただ、現在でも、イデオロギー、体制、歴史認識、経済利益、領土・領海、民族、宗教、人権など、域内の国家や地域が対立する理由は多く、国民同士の感情的対立や特定のグループとして括られる人々に対する抑圧も少なくありません。近年は米中対立が激しさを増し、アジア太平洋という地域を越えて自由民主主義と権威主義のせめぎ合いも顕著にみられるようになっていきます。このせめぎ合いは、国家や地域間の対立だけでなく、体制にかかわらず、そこに生きる人々の間でも価値をめぐる対立を引き起こしています。自由民主主義体制のもとで政治指導者や国民の間に権威主義的傾向がみられるようになり、反対に権威主義体制のもとで自由民主主義を求める動きが活発になるといった現象もみられます。

このように、アジア太平洋は単線的に調和と友好を深めるというばかりの地域ではありませんでした。しかし、こうした対立と緊張を踏まえてもなお、アジア太平洋という言葉はその意味を色褪せさせるところか、むしろ人びとが隣人として暮らすことの意味を自覚させる重要な契機を与える言葉となってきたのです。

そうした中で、当センターは、アジア太平洋という地域に関連する各分野の学際的・国際的共同研究の推進及びその研究成果の社会への還元並びに国際学術交流の促進を使命として参りました。今回の40周年記念の冊子をみると、世界的権威から新進気鋭の方々まで多岐に渡る研究者の方々が当センターを舞台に交流を深め、知の発信を行ってきたことにあらためて驚かされます。

アジア太平洋研究センターは、開設当初より、学内外から専門家や関係者を招いてシンポジウムや講演会を開き、様々なテーマについて理解を深め、参加者らによる活発な議論の舞台を提供して参りました。その中には、知を社会に広く還元するべく、一般公開される企画が多かったのも当センター



の特徴です。当センターの活動が、一般の参加者を多く得て知の輪を広げることができ、地域や市民社会との関わりを深め、大学の内外で根づいてきたことは大変に喜ばしいことです。

映画上映会企画（現「CAPS CINEMA」）が学外の市民とのつながりを深めてきた面もあります。映画上映会企画では、問題提起を行う映画を上映するとともに、製作者や関係者をお招きし、講演会や対談、パネルディスカッション、背景説明の勉強会も同時に行うことが多く、参加者からの質問やコメントを受けて議論も双方向に活発に行われています。アジア太平洋研究センターは、本学の教員を研究者の集団として捉え、その研究の支援も積極的に行って参りました。支援は今日、共同研究プロジェクトと個人によるパイロット研究に対して行われています。特に共同研究プロジェクト事業は、国内外から大学横断的な参加者を得て、研究者相互の交流に貢献して参りました。アジア太平洋研究叢書はその成果です。研究者の学術的交流ということ言えば、海外からの研究員の招聘事業と国内での客員研究員の受け入れ事業も当センターの重要な柱となっています。当センターで開催される国際的シンポジウムはその多様さと学術的水準の高さで目を見張るものがあり、内容の一部は、当センター発行の学術雑誌『アジア太平洋研究』や四半期ごとに発行されるCAPS Newsletterで公開されています。

当センターの事業に対し全学からの参加と協力を得られてきたことは、センターの行う事業に奥行きと幅の広さを与えています。当センターでは、こうした事業をいっそう推進するべく、近年では、主任研究員とポスト・ドクターという研究員職を新たに設け、有望な若手の研究者を採用しています。新進気鋭の若手研究者の参加を得ることで、センターの活性化を図り、同時に若手研究者の育成につなげることを目的とした制度となっています。

成蹊大学では、教職員がそれぞれの立場から、研究と教育そして社会貢献の間の連関を大切にし、その好循環を作り出すことに努めてきました。アジア太平洋研究センターは、このような成蹊大学における学術研究活動の最前線を担う拠点のひとつとして、国際的にも大学横断的にも、そして社会に対しても開かれた活動を行って参りました。センター発足40周年を記念して編纂されました『CAPSの40年』はその歩みの記録です。お目通しを頂き、当センターの活動にご関心をお持ちいただければ大変に有難く存じます。

最後になりますが、次の50周年に向けて、今後ともアジア太平洋研究センターをどうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年3月1日

成蹊大学アジア太平洋研究センター所長

高 安 健 将

CAPSの活動

アジア太平洋研究センター（Center for Asian and Pacific Studies、略称CAPS）は、成蹊大学における初の常設研究機関として、アジア太平洋地域に関連する各分野の学際的・国際的共同研究の推進及びその研究成果の社会への還元並びに国際学術交流の促進を目的とし、1981年に設立されました。また、若手研究員の育成にも力を入れています。

活動内容

研究プロジェクトの企画、助成、組織化及び運営

CAPSでは研究プロジェクト（共同研究プロジェクトおよびパイロット研究）に対する助成を行っています。主としてアジア太平洋地域（日本含む）に関する研究で、学術的に高い成果が期待できるものに対して助成を行っています。共同研究プロジェクトは3年間の成果物として「アジア太平洋研究センター叢書」を出版し、パイロット研究は1年の研究成果を研究紀要『アジア太平洋研究』に論文として発表します。2021年3月まで、共同研究プロジェクト84件、パイロット研究49件が採択されています。

研究成果の刊行

アジア太平洋研究センターの研究紀要『アジア太平洋研究』を、年1回発行しています。また各共同研究プロジェクトは、専門的な評価に耐えうる業績を作ることを目指し、その研究成果を「アジア太平洋研究センター叢書」として出版しています。（CAPSの刊行物については右頁参照）

国際的学術活動の推進及び支援

CAPSでは設立当初から研究者の招聘や派遣、協定校締結など様々な形で海外の研究者との交流を行ってきました。その中でも活発に続けられている招聘外国人研究員制度は、「国際学術交流の促進」の代表的な制度の一つです。採択されると、宿泊施設や研究室の提供、来日するための往復航空運賃などの支援が受けられます。毎年、文系・理系を問わず、幅広い研究分野の外国人研究者に利用されています。本制度では1990年度に内容が整えられて以来、現在まで約80名の研究員を受け入れていきます。

シンポジウム、研究会 公開講演会等の開催

公開シンポジウム、映画上映会（CAPS CINEMA）、オンライン講演会等、地域・一般に向けたイベントを開催しています。

日本を含むアジア 太平洋地域に関連する 研究資料の収集、 整理及び保管

CAPSでは、独自の資料収集を行っており、アジア太平洋地域の統計資料、アジア経済研究所出版資料の他、ドキュメンタリーなどの映像資料など、特色ある資料を揃えています（洋書・洋雑誌が約7割）。これらの資料は大学図書館と同様に閲覧および貸出しを行っており、Web（OPAC）による検索が可能です。2020年3月時点で和書5,486冊、洋書9,684冊の約15,200冊の蔵書、およびDVD等映像資料を所蔵しています。

研究員制度、事務室体制

近年では、主任研究員1名、ポスト・ドクター2～3名が所属し、自身の研究を遂行しながら、研究紀要やCAPS Newsletterの編集と執筆、イベント運営等の業務を行い、CAPSの研究活動を支援しています。事務室は課長、職員2～3名で運営しています。

CAPSの刊行物

CAPS Newsletter

CAPS発足（1981年）と同時に創刊され、CAPSのさまざまな情報をお伝えしています。現在は年4回（4、7、10、1月）の発行で、2021年3月時点で149号迄発刊しています。

『アジア太平洋研究』

Review of Asian and Pacific Studies

『アジア太平洋研究』は、CAPSの研究紀要です。

日本・北米を含むアジア・太平洋地域に関する問題や政策課題の理論的、経験的研究を促進するべく、年1回発行しています。関連する分野の研究論文および調査報告等の投稿論文も募集しており、論文の掲載にあたっては、レフリー（査読）制をとっています。

2021年3月時点で第45号迄発刊しています。



研究成果としての単行本

「アジア太平洋研究センター叢書」

CAPS Book Series

各共同研究プロジェクトは、専門的な評価に耐えうる業績を作ることを目指し、その研究成果を「アジア太平洋研究センター叢書」として出版しています。その他、周年事業、国際カンファレンス等の成果も出版しています。2021年3月時点で合計57冊を発刊しています。



左：『認知言語学を拓く』
右：『認知言語学を紡ぐ』
森 雄一・西村 義樹・長谷川 明香 編
（くろしお出版、2019年10月）

Ⅱ CAPS40年の歩み

1981年4月1日
成蹊大学アジア太平洋研究センター（CAPS）
発足（経済学部共同研究室に同居）
所長 川口浩（法学部教授）就任

1981年5月6日
事務室移転（経済学部資料室へ）

1981年6月5日
『CAPS NEWSLETTER』第1号発行

1982年4月1日
所長 宇野重昭（法学部教授）就任
[川口所長が法学部長就任のため退任]

1982年8月28日
第1回東南アジア・オセアニア現地調査出発

1982年11月19日
Institute of Southeast Asian Studies（東南ア
ジア研究所、シンガポール）、Dr. Lim Hua
Sing氏が来訪

1983年9月7日
事務室移転（図書館3階へ）

1983年9月14日
第2回東南アジア・オセアニア現地調査出発

1984年3月23日
ディスカッション・ペーパー第1号発行

1984年4月1日
所長 宇野重昭（法学部教授）再任

1984年11月29日
Griffith University（グリフィス大学、オースト
ラリア）、Prof. Alan Rix（アラン・リックス教授）
が来訪。Centre for the Study of Australian-
Asian Relations（オーストラリア・アジア関
係研究センター）とのメモランダムにサイン
の交換

1985年3月15日
『所報』第1号発行

1985年4月1日
所長 川口浩（法学部教授）就任

1986年3月15日
『アジア太平洋研究』（『所報』を改称）第2号
発行

1986年11月26日
CAPSとChiang Mai University（チェンマイ
大学、タイ）の間に「学術交流に関する協定」
を締結、「協定」にサイン

1987年4月1日
川口所長が逝去、所長代理として柳井道夫（文
学部教授）就任

1987年5月7日
Griffith University, Centre for the Study of
Australia-Asia Relations（グリフィス大学、
オーストラリア・アジア関係研究センター）
Director, Dr. Nancy Viviani（ナンシー・ヴィ
ヴィアーニ所長）が学術交流促進のため来日

1987年7月1日
所長 柳井道夫（文学部教授）就任

1988年1月20日
豪日交流基金（オーストラリア本部）所長
Alison Broinovski氏が来訪し、所長と懇談

1988年3月14日
チェンマイ大学より Social Research Institute
（社会調査研究所）Director, Dr. M. L. Bhansoon
Ladavalaya（パンスーン・ラダヴィヤ所長）が
学術交流促進のため来日

- 1988年3月18日
グリフィス大学オーストラリア・アジア関係研究センターが所属する同大学現代アジア研究学部よりDr. David Lim（デヴィッド・リム学部長）が学術交流促進のため来日
- 1988年11月30日
アジア太平洋研究センター叢書（第1冊）『太平洋国家オーストラリア』（川口浩・渡辺昭夫編）発行
- 1990年4月1日
所長 加藤節（法学部教授）就任
- 1990年12月1日
グリフィス大学現代アジア研究学部Lecturer, Vagelis Dedoussis（ヴァンジェリス・デドゥーシス講師）が来日
- 1991年12月18日
『アジア太平洋研究センター 10年の歩み』発行
- 1991年12月20日
英文パンフレット発行
- 1992年3月24・25日
CAPS設立10周年記念国際コンファレンス『アジアとヨーロッパにおけるデモクラシーの未来』開催
- 1993年4月1日
所長 関口末夫（経済学部教授）就任
- 1993年5月31日
Annual Report（英語版）発行
- 1994年10月7日
事務室移転（図書館4階へ）
- 1995年12月22日
アジア太平洋研究センター叢書“EAST ASIAN ECONOMIES: Transformation and Challenges”発行（英文で最初）
- 1996年4月1日
所長 幸村千佳良（経済学部教授）就任
- 1999年3月12～14日
成蹊大学創立50周年記念国際コンファレンス及び国際シンポジウム『アジア太平洋地域の夢と葛藤』開催
- 1999年4月1日
所長 富田武（法学部教授）就任
- 1999年6月1日
事務室移転（国際交流事務室に統合の上、本館3階へ）
- 2001年5月30日
『CAPSの20年』発行
- 2001年6月1・2日
CAPS設立20周年記念『成蹊フォーラム 21世紀のアジアと女性』開催
- 2002年4月1日
所長 鈴木健二（文学部教授）就任
- 2003年6月2日
延世大学校東西問題研究院（Yonsei university Institute of East and West Studies）とのメモランダムにサインの交換
- 2003年6月30日
平澤大学校社会科学研究所（Pyongtaek University Social Science Research Institute）とのメモランダムにサインの交換
- 2003年6月30日
高麗大学校アジア問題研究所（Korea University Asiatic Research Center）とのメモランダムにサインの交換
- 2003年9月22日
延世大学校東西問題研究院よりProf. Choi Woondo（チェ・ウンドー教授）が学術交流促進のため来日
- 2004年3月25日
事務室移転（研究助成課に統合の上、西1号館4階へ）

2004年6月23日

平澤大学校国際関係学部より宣在源専任講師
が学術交流促進のため来日

2005年1月31日

ハワイ大学より Director of Globalization
Research Center, Prof. Michael Douglass (マ
イケル・ダグラス所長) と Prof. Deane Edward
Neubauer (ディーン・エドワード・ノイバウ
アー教授) が学術交流のため来日

2005年4月1日

所長 鈴木健二 (文学部教授) 再任

2005年4月27日

第1回新任教員CAPSオリエンテーション

2005年10月20日

第1回プロジェクト中間報告会

2006年3月27日

所長が学術交流のため北京に海外出張 (北京
大学)

2006年5月25日

「25周年 CAPSを考える集い」開催

2007年4月1日

「学術研究員制度」発足
事務室移転 (1号館3階へ)

2007年11月19日

CAPSと同済大学 (中国) の間で「学術交流
に関する協定」を締結、「協定」にサイン

2007年11月19日

CAPSと復旦大学 (中国) の間で「学術交流
に関する協定」を締結、「協定」にサイン

2008年4月1日

所長 亀嶋庸一 (法学部教授) 就任

2008年12月13日

所長が同済大学 (中国) アジア太平洋研究セ
ンター主催第一回中日韓民間交流フォーラム
『東アジア地域経済合作と文化交流』における
報告のため上海に海外出張

2010年4月1日

所長 中神康博 (経済学部教授) 就任 [亀嶋
所長が学長就任のため退任]

2010年10月16日・12月18日・2011年1月22日

学園創立100周年・CAPS設立30周年記念行
事 連続講演会『人間の安全保障と北東アジア
—サステイナブルな地域社会をめざして』開
催

○第1回「日韓併合100年を迎えた日本と韓国
—東アジアにおける脱植民地の課題」(講師:
立命館大学教授・徐勝氏) = 10月16日開催

○第2回「地球環境保全とアジア環境協力の
課題」(講師:一橋大学大学院教授・寺西俊
一氏) = 12月18日開催

○第3回「再考・北東アジアの未来—移住・
多様性・人間の安全保障」(講師:オースト
ラリア国立大学教授・テッサ・モーリス＝
スズキ氏) = 1月22日開催

2011年4月1日

所長 中神康博 (経済学部教授) 再任

2011年7月9日・10月15日・11月12・26日

学園創立100周年・CAPS設立30周年記念行
事 連続講演会『人間の安全保障と東北アジア
—サステイナブルな地域社会をめざして』

○第1回「反テロ戦争と原発事故—世界の繋
がりのなかの東北アジア」(講師:東京大学
名誉教授・板垣雄三氏) = 7月9日開催

○第2回「多文化社会と越境対話—文化シテ
ィズンシップの実践」(講師:早稲田大学教授・
岩渕功一氏) = 10月15日開催

○第3回「高齢化とグローバル経済のなかの
社会保障の行方」(講師:慶応義塾大学教授・
駒村康平氏) = 11月12日開催

○第4回「中国での環境問題解決への実践的
アプローチと課題」(講師:工学院大学講師・
酒井裕司氏) = 11月26日開催

2011年9月24・25日

学園創立100周年記念行事 (CAPS・日韓政治
思想学会共催) 国際学術会議『東アジアの歴
史と思想』開催

2012年3月1日
『CAPSの30年』発行

2012年3月17・18日
学園創立100周年・CAPS設立30周年記念行事 国際シンポジウム『デモクラシーとコミュニティの未来』開催

2014年4月1日
所長 李静和（法学部教授）就任

2017年4月1日
所長 中江桂子（文学部教授）就任

2018年4月1日
所長 高安健将（法学部教授）就任
[中江所長が退職のため退任]

2019年3月8日
第1回【CAPS CINEMA】（アジア太平洋地域を中心とした社会の諸問題に対して参加者と一緒に考えていくための上映会）開催
テーマ：グローバルに連鎖する労働とアジア
上映作品：『ザ・トゥルー・コスト ファストファッション 真の代償』

2019年7月13・14日
第1回CAPS主催公募企画“An International Conference on the Aesthetic Mechanisms of Ocean Representations In British, American, and Asian Contexts”開催
※募集は2018年度

2019年7月27日
島根県立大学北東アジア地域研究センター長 李曉東氏が来訪し、所長と懇談

2020年1月17日
北京大学国際関係学院副教授范士明氏、および同学院副編審編輯部主任庄俊氏が来訪し、所長と懇談

2020年4月1日
所長 高安健将（法学部教授）再任

2020年10月～2021年1月
CAPS主催朝日新聞社後援
オンライン講演会『コロナ時代の世界』開催
（オンデマンド配信・全6回＋特別回）

2020年12月19日
CAPS主催オンライン講演会「ポピュリズムを考える」開催（ライブ配信＋期間限定オンデマンド配信）

2021年3月1日
『CAPSの40年』発行

Ⅲ 資料

1 研究プロジェクト

1-1 共同研究プロジェクト一覧

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
1	1981年9月 ～ 1985年3月	川口浩	近代化過程をめぐるアジア太平洋地域の変動に関する研究 —IndustrializationとそのImpactを中心として— (統合プロジェクト)	川口浩(成蹊大学) 宇野重昭(成蹊大学) 安原茂(成蹊大学) 廣野良吉(成蹊大学) 神部武宣(成蹊大学) 桂木隆夫(成蹊大学) 菊地昌典(東京大学) 鶴見和子(上智大学) 加藤祐三(横浜国立大学) 吉沢四郎(中央大学) 尾上悦三(アジア経済研究所) 田近栄治 (アジア経済研究所) 岩崎輝行(アジア経済研究所) 滝口太郎(世界経済情報サービス) 韓鎮渉(アジア経済研究所) Rohana Ariffin (University Science Malaysia, MAS)
2	1981年10月 ～ 1984年3月	篠原三代平	日本企業の国際化と経営管理制度・技術の適応過程に関する研究 現地調査:シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、香港、台湾、韓国(1982)	篠原三代平(成蹊大学) 佐久間賢(成蹊大学) 樋口進(成蹊大学) 廣野良吉(成蹊大学) 別府祐弘(成蹊大学) 石田英夫(慶應義塾大学) Henri-Claude de Bettignies (INSEAD, FRA) Kenneth Simmonds (London Graduate School of Business Studies, GBR) Kim Wan-Soon (高麗大学校, KOR) John Wong (University of Singapore, SIN) Mike Yoshino (Harvard University, USA)
3	1981年10月 ～ 1983年3月	黒田道雄	工学教育における学際教育と産学協力のあり方 現地調査:台湾(1983)	黒田道雄(成蹊大学) 波多野滋子(成蹊大学) 小林敏雄(東京大学) 姜昌壽(慶北大学校, KOR)
4	1981年10月 ～ 1984年3月	飯田芳男	中国における大気汚染の実態把握とその有害性評価に関する研究 現地調査:中国(1983)	飯田芳男(成蹊大学) 代島茂樹(成蹊大学) 竹内五雄(成蹊大学) 岡田静子(成蹊大学) 古谷圭一(東京理科大学) 菊池正(東京理科大学) 松下秀鶴(国立公衆衛生院) 田辺潔(国立公衆衛生院) 中村国臣(労働省産業医学総合研究所) 呉錦(中国科学院環境化学研究所, CHN) 汪安璞(中国科学院環境化学研究所, CHN) 竺迺愷(中国科学院環境化学研究所, CHN) 黄衍初(中国科学院環境化学研究所, CHN) 馬慈光(中国科学院環境化学研究所, CHN)
5	1981年10月 ～ 1984年3月	宇野重昭	後発国における近代化の国際比較—社会主義国を中心として— 現地調査:中国(1985)	宇野重昭(成蹊大学) 安藤英治(成蹊大学) 下斗米伸夫(成蹊大学) 天児慧(一橋大学) 尾上悦三(アジア経済研究所) 加藤祐三 (横浜国立大学) 百瀬安(津田塾大学) 滝口太郎(世界経済情報サービス) 西村文夫(日本国際問題研究所) Aleksandr M.Grigroriev (ソ連邦科学アカデミー, URS) 楊威理(中国中央編訳局, CHN)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
6	1982年4月 ～ 1984年3月	槌田昭	太平洋沿岸地熱地域諸国における地熱エネルギーの多目的有効利用と環境保全の研究 現地調査：タイ、台湾（1983）、タイ（1984）	槌田昭（成蹊大学）前田照行（成蹊大学） 前沢三郎（成蹊大学）日比行一（成蹊大学） 小倉勝幸（成蹊大学）魏啓陽（成蹊大学） 関純（成蹊大学）沢田朋久（成蹊大学） 小沢宏昌（㈱地熱）池田義雄（日本工業大学） 伊藤寧男（㈱地熱） 山崎慎一郎（東京工業高等専門学校） 林醇一郎（三菱石油） Russell James (Dept. of Scientific and Industrial Research, NZL) Eddie L. Listanco (University of the Philippines, PHI) Justino R. Arboleda (Bicol University, PHI) 楊旺權（台湾大学, TPE） Benjavun Ratanasthien (Chiang Mai University, THA) 蔡旭容（台北工業専門学校, TPE）
7	1984年4月 ～ 1987年3月	徳谷昌勇	企業のリスクに関する経済・経営データの収集、国際比較とそのデータバンク化に関する研究 —日本・アメリカ・東南アジアを中心として— 現地調査：シンガポール、香港、台湾、マレーシア、タイ（1984）、米国（1986）	徳谷昌勇（成蹊大学）相原修（成蹊大学） 高木新太郎（成蹊大学）高橋三雄（成蹊大学） 村松司叙（成蹊大学）秋月信二（埼玉大学） 佐藤宗弥（横浜市立大学）前田貞芳（武蔵大学） 村上虚直（防災都市計画研究所） 坂野友昭（早稲田大学） C. Edward Arrington (Florida State University, USA) Robert E. Jensen (Trinity University, USA) Sommart Chulikpongse (Prince of Songkla University, THA)
8	1984年4月 ～ 1987年3月	戸谷洋一郎	日中両国における環境発がん関連物質の実態把握とその評価に関する研究 現地調査：中国（1984、1986）	戸谷洋一郎（成蹊大学）飯田芳男（成蹊大学） 代島茂樹（成蹊大学）原節子（成蹊大学） 岡田静子（成蹊大学）荒木英爾（国立がんセンター） 松下秀鶴（国立公衆衛生院） 西村哲治（国立公衆衛生院） 塩崎卓哉（国立公衆衛生院） 野上浩（国立公衆衛生院） 劉静宜（中国科学院環境化学研究所, CHN） 徐曉白（中国科学院環境化学研究所, CHN） 戴寅（中国衛生部食品監督検験所, CHN） 羅雪雲（中国衛生部食品監督検験所, CHN） 韓玉蓮（中国衛生部食品監督検験所, CHN） 林曉明（中国衛生部食品監督検験所, CHN）
9	1984年4月 ～ 1987年3月	前田照行	地域冷房による東南アジア地熱地域における地場産業の振興と生活改善に関する研究 現地調査：タイ（1984）、中国（1986）	前田照行（成蹊大学）槌田昭（成蹊大学） 魏啓陽（成蹊大学）志村利雄（成蹊大学） 日比行一（成蹊大学）広田明彦（成蹊大学） 前沢三郎（成蹊大学）大垣内昭雄（成蹊中学校） 伊藤寧男（㈱地熱）小沢宏昌（㈱地熱） 小林次明（日枝小学校）関純（新日本造機） 田中大生（杉ノ井ホテル）張正生（八戸工業大学） 山崎慎一郎（東京工業高等専門学校） Justino R. Arboleda (Bicol University, PHI) Piyawat Boon-Long (Chiang Mai University, THA) Naksitte Coovattanachai (Prince of Songkla University, THA) Sunee Coovattanachai (Prince of Songkla University, THA) Russell James (Dept. of Scientific and Industrial Research, NZL) Abdurrachim Halim (Institut Teknologi Bandung, INA) Aman Mostavan (Institut Teknologi Bandung, INA) Benjavun Ratanasthien (Chiang Mai University, THA) Norkun Sitthiphong (Chiang Mai University, THA) 楊旺權（台湾大学, TPE）

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
10	1984年4月 ～ 1987年3月	神部武宣	インドネシアにおける近代化と宗教 現地調査：中国（1985）、タイ（1987）	神部武宣（成蹊大学） 磯部啓三（成蹊大学） 宮治美江子（成蹊大学） 牟田口義郎（成蹊大学） 山口欣次（成蹊大学） 竹内啓一（一橋大学） 中島成久（法政大学） 王松興（中部大学） Arifin Bey (Bung Hatta University, INA) Iketut Sura jaya (Indonesia University, INA)
11	1984年4月 ～ 1987年3月	安原茂	アジアにおける産業化と農業・農村問題 現地調査：中国（1985）、タイ（1987）	安原茂（成蹊大学） 宇野重昭（成蹊大学） 大野昭彦（成蹊大学） 桂木隆夫（成蹊大学） 神部武宣（成蹊大学） 廣野良吉（成蹊大学） 岩崎輝行（アジア経済研究所） 尾上悦三（国際商科大学） 加藤祐三（横浜市立大学） 滝口太郎（世界経済情報サービス） 菊地昌典 （東京大学） 田近栄治（一橋大学） 鶴見和子 （上智大学） 吉沢四郎（中央大学） 韓鎮渉（アジア経済研究所）
12	1985年4月 ～ 1988年3月	川口浩	アジア太平洋国際関係の変動とオーストラリア の対応—新しいナショナル・アイデンティティの 模索をめぐって— （統合プロジェクト・オーストラリア研究） 現地調査：オーストラリア（1987）、オーストラ リア、香港（1990）、英国（1991）	川口浩（成蹊大学） 下斗米伸夫（成蹊大学） 宇野重昭（成蹊大学） 廣野良吉（成蹊大学） 岩本祐二郎（神戸学院大学） 渡辺昭夫（東京大学） 皆川修吾（南山大学） 大槻正通（日本貿易振興会） 浜田寿一（上智大学） 加賀爪優（農林水産省農業総合研究所） 鈴木雄雅（上智大学） 諏訪康雄（法政大学） 関根政美（慶應義塾大学） 竹田いさみ（獨協大学） 林俊昭（アジア経済研究所） 森健（アジア経済研究所） Richard Broinowski（駐ベトナム・オーストラリア 大使） Alison Broinowski（駐日オーストラリア大使館） Trevor Matthews (Sydney University, AUS) Alan Rix (Queensland University, AUS) Katsu Hirai-Young (Western Australian Institute of Technology, AUS)
13	1985年4月 ～ 1994年3月	宇野重昭	“小城镇” 産業化に関する日中比較 中国における都市・農村関係の理論的研究 （統合プロジェクト・中国研究） 現 地 調 査：中国（1986、1987、1989、1990、 1993）	宇野重昭（成蹊大学） 小原隆治（成蹊大学） 安原茂（成蹊大学） 鶴見和子（上智大学） 菊地昌典（東京大学） 石川照子（法政大学） 山本英治（東京女子大学） 清成忠男（法政大学） 田辺義明（立教大学） 滝口太郎（千葉敬愛大学） 毛里和子（静岡県立大学） 大和田滝恵（上智大学） 鶴浦裕（北里大学） 湯山トミ子（愛媛大学） 池田隆（総合研究開発機構） 永田尚久（総合研究開発機構） 藤田光一（総合研究開発機構） 四柳修（総合研究開発機構） 朱通華（江蘇省小城镇研究会総幹事, CHN） 王佳冰（江蘇省小城镇研究会顧問, CHN） 沈道齐（中国民族学院, CHN） 呉大声（中国民族学院, CHN） 李継平（中国民族学院, CHN） 費孝通（中国民族学院, CHN） 林代昭（北京大学, CHN）
14	1987年4月 ～ 1990年3月	村松司叙	アジア太平洋地域における産業発展と国際合 弁企業の役割 現地調査：タイ、マレーシア、シンガポール、 インドネシア（1987）、中国（1988）、オーストラ リア（1989、1990）	村松司叙（成蹊大学） 落合誠一（成蹊大学） 穴戸善一（成蹊大学） 對木隆英（成蹊大学） 渡辺健一（成蹊大学） 海老沢栄一（神奈川大学） 小野崎恒夫（桜美林大学） 佐藤正雄（千葉商科大学） 坂野友昭（早稲田大学） 徳永善昭（亜細亜大学） Raj Dhankar (Kurukshetra University, IND) Karl Sandner (Wirtschafts-Universität Wien, AUT) Gordon A. Walter (University of British Columbia, CAN)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
15	1987年4月 ～ 1988年3月	島原健三	西欧科学技術の受容に関する日中の比較 現地調査：中国（1987）	島原健三（成蹊大学） 滝口泰之（成蹊大学） 三輪誠（成蹊大学） 鎌谷親善（東洋大学） 菅原国香（東洋大学） 林良重（富山大学） 広田鋼蔵（大阪大学名誉教授） 藤井清久（東京工業大学） 山口達明（千葉工業大学） ＜在中メンバー＞ 廖正衡（東北師範大学） 解思沢（東北師範大学） 劉学銘（吉林大学） 孫春亭（吉林大学） 劉東昌（「科学・哲学・現代化」雑誌社） 蔡明哲（東北師範大学）
16	1987年4月 ～ 1990年3月	佐藤竺	タイ近代化と日タイ関係 現地調査：タイ、マレーシア（1987）、タイ（1989）	佐藤竺（成蹊大学） 浅野雅巳（成蹊大学） 今川晃（成蹊大学） 大野昭彦（成蹊大学） 門口充徳（成蹊大学） 新屋重彦（成蹊大学） 高田昭彦（成蹊大学） 柳井道夫（成蹊大学） 秋松雅子（青山学院大学／成蹊大学） 大塚勝夫（和光大学） 小林弘和（専修大学） 竹田いさみ（獨協大学） 橋本卓（同志社大学） 村嶋英治（アジア経済研究所） 寄本勝美（早稲田大学） Jamaree Pitackwong (Chiang Mai University, THA)
17	1987年4月 ～ 1988年3月	落合誠一	環太平洋地域におけるオフショア金融センター の比較研究 現地調査：シンガポール、香港（1987）	落合誠一（成蹊大学） 安念潤司（成蹊大学） 磯部啓三（成蹊大学） 植村栄治（成蹊大学） 穴戸善一（成蹊大学） 斎野彦弥（成蹊大学） 長谷部由紀子（成蹊大学） Temple Jordan（成蹊大学研究生） Kassi Ouantchi（成蹊大学研究生） 数井寛（通商産業省） 森川正之（経済企画庁） 渡部晃（栄木法律事務所） 斎野洋子（モルガン信託銀行） 鄭子仁（モルガン銀行）
18	1987年4月 ～ 1991年3月	関口末夫	東南アジア諸国の工業化と国際貿易の変化の 研究 （統合プロジェクト・東南アジア研究）	関口末夫（成蹊大学） 大野昭彦（成蹊大学） 大場裕之（現代文化研究所） 小野沢純（東京外国語大学） Tran Van Toh（桜美林大学） 中兼和津次（一橋大学） 山影進（東京大学） 平田章（アジア経済研究所） 渡辺利夫（筑波大学） 庄田安豊（日本経済研究センター）
19	1988年4月 ～ 1989年3月	小島紀徳	アジア太平洋地域における砂漠化に関する調 査、解析およびその防止法、緑化法の開発 現地調査：タイ（1989）	小島紀徳（成蹊大学） 槌田昭（成蹊大学） 前沢三郎（成蹊大学） 魏啓陽（成蹊大学） 小宮山トモ子（成蹊大学） 前田照行（成蹊大学） 斎藤芳郎（都立科学技術大学） 根岸完二（都立科学技術大学） 山崎慎一郎（東京工業高等専門学校） 伊藤寧男（㈱日さく、大手開発㈱） 門馬忠彦（大手開発㈱） 黒田英夫（大手開発㈱） 高橋洋（大手開発㈱） 岡田健（㈱東昌エンジニアリング） 亘理誠（㈱日本発条） 布施行雄（㈱K i p） 小沢宏昌（㈱地熱） 林醇一郎（㈱三石商事） 金家裕（上海大学, CHN） N. Sittiphong (Chiang Mai University, THA) B. Ratanasthiem (Chiang Mai University, THA) C. Pisitpaibool (Chiang Mai University, THA) P. Terdtoon (Chiang Mai University, THA) T. Santawisuk (Khon Kaen University, THA) C. Pairintra (Khon Kaen University, THA) K. Dejbhimon (Khon Kaen University, THA) S. Kanlayanarat (Khon Kaen University, THA) U. Himakoun (Khon Kaen University, THA)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
20	1988年4月 ～ 1990年3月	加藤節	オーストラリアの東南アジア世界観—対インド ネシア関係にみる諸断面— (統合プロジェクト・オーストラリア研究)	加藤節(成蹊大学) 宇野重昭(成蹊大学) 下斗米伸夫(成蹊大学) 富田武(成蹊大学) 廣部和也(成蹊大学) 竹田いさみ(獨協大学) 加賀爪優(農林水産省) 諏訪康雄(法政大学) 渡辺昭夫(東京大学) 関根政美(慶應義塾大学) 黒柳米司(東洋英和女学院大学) 鈴木雄雅(上智大学) 浜田寿一(上智大学) 皆川修吾(南山大学) 岩本裕二郎(神戸大学) 森健(アジア経済研究所) Humphry McQueen(東京大学) Colin M. P. Brown(Griffith University, AUS) Nancy Viviani(Australian National University, AUS)
21	1989年4月 ～ 1992年3月	大野昭彦	アジア地域の経済発展過程における女子労働の 役割 現地調査: バングラデシュ、インド(1989)、 インド(1990)、タイ、インド、中国(1991)、 インドネシア、インド(1992)	大野昭彦(成蹊大学) 竹内敬子(成蹊大学) 足立文彦(名古屋大学) 清川雪彦(一橋大学) 篠塚英子(お茶の水女子大学) 谷口晋吉(一橋大学) Linda Grove(上智大学) Benja Jirapatpimol(Chiang Mai University, THA) Pushpa Pathak(National Institute of Urban Affair, IND)
22	1989年4月 ～ 1992年3月	内川芳美	メディアの構造と送り手の意識—日本、中国、 韓国のケースについて— 現地調査: 韓国、中国(1991)	内川芳美(成蹊大学) 奥野昌宏(成蹊大学) 柳井道夫(成蹊大学) 山口欣次(成蹊大学) 桂敬一(東京大学) 新井直之(創価大学) 川竹和夫(東京女子大学) 鈴木雄雅(上智大学) 富崎哲(NHK放送文化調査研究所) 林利隆(日本新聞協会研究所) 山本賢二(日本大学) 彭元順(漢陽大学校, KOR) 寧新(中国社会科学院新聞研究所, CHN)
23	1990年4月 ～ 1991年3月	柳井道夫	タイの近代化にともなう生ずる政治的・社会的 変動の研究—日本との関係を重視しながら— (統合プロジェクト・タイ研究) 現地調査: タイ(1991)	柳井道夫(成蹊大学) 佐藤竺(成蹊大学) 浅野雅巳(成蹊大学) 新屋重彦(成蹊大学) 秋松雅子(成蹊大学) 寄本勝美(早稲田大学) 小林弘和(専修大学) 友杉孝(東京大学) 村嶋英治(アジア経済研究所) 橋本卓(北九州大学) 松園祐子(いわき明星大学) 佐藤雅秀(外務省) 青木伸也(外務省) 重富真一(アジア経済研究所) Prasert Yamklinfung(筑波大学) Likhit Dhiravegin(Thammasat University, THA) Nidti Yiowsripong(Chiang Mai University, THA) Chitthip Nartsupha(Chulalongkorn University, THA)
24	1990年4月 ～ 1992年3月	大久保洋子	台湾における高山族高齢者の生活と健康 現地調査: 台湾(1990、1991)	大久保洋子(成蹊大学) 神部武宣(成蹊大学) 鈴木滋(成蹊大学) 正田啓吉(成蹊大学) 武井正子(順天堂大学) 星野隆助(明治大学) 揚志良(台湾大学, TPE) 莊淑旗(青峯社会福祉事業基金会, TPE) 田明輝(台湾衛生司慢性病防治局, TPE) 黄雅文(陽明医学院, TPE) 陳再生(宇生診所, TPE)
25	1990年4月 ～ 1993年3月	橋本竹夫	音に対する感受性の差異に関する国際比較研 究 現地調査: 韓国(1991)、中国(1992)	橋本竹夫(成蹊大学) 黒田道雄(成蹊大学) 波多野滋子(成蹊大学) 難波精一郎(大阪大学) 桑野園子(大阪大学) 鄭大瑞(中国科学院声学研究所, CHN) 蔡紫花(中国科学院声学研究所, CHN)
26	1990年4月 ～ 1993年3月	加藤節	アジア太平洋地域における難民問題の発生・ 展開と問題処理—オーストラリアの問題処理な どをめぐって— (統合プロジェクト・オーストラリア研究)	加藤節(成蹊大学) 廣部和也(成蹊大学) 宇野重昭(成蹊大学) 富田武(成蹊大学) 小林泉(日本ミクロネシア協会) 宮島喬(お茶の水女子大学) 豊田由貴夫(亜細亜大学) 竹田いさみ(獨協大学) 五島文雄(大阪外国語大学) 田中信也(元内閣官房審議官) Nancy Viviani(Griffith University, AUS) James Coughlan(Griffith University, AUS)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
27	1992年4月 ～ 1995年3月	関口末夫	東アジア経済と日本の相互関係の研究 (統合プロジェクト・東アジア研究) 現地調査：マレーシア(1992)、インド、シンガポール(1993)、シンガポール(1994)	関口末夫(成蹊大学) 武藤恭彦(成蹊大学) 川越俊彦(成蹊大学) 北川浩(成蹊大学) 小西秀樹(成蹊大学) 遠藤誠治(成蹊大学) 桜井真(三井海上基礎研究所) Chris Czerkowski (Griffith University, AUS) Ponniah Arudsothy (Griffith University, AUS) Kim Wan-Soon (高麗大学校, KOR) Chee Peng Lim (ESCAP, THA) Chia Siow Yue (National University of Singapore, SIN) Kuo Wen Jeng (台湾経済研究所, TPE)
28	1992年4月 ～ 1995年3月	伊藤嘉博	日本企業のグローバル化にともなう管理会計の 変革：アジア太平洋諸国を中心とした実証分析 現地調査：米国(1992)、米国、シンガポール (1993)、オーストラリア(1994)	伊藤嘉博(成蹊大学) 成道秀雄(成蹊大学) 高橋史郎(成蹊大学) 伊藤博(横浜市立大学) 岩淵吉秀(甲南大学) 志村正(文教大学) 柴田篤(中央新光監査法人) 上条秀三(東京都立商科短期大学) 小澤伸光(駿河台大学) 東海林孝一(国学院大学) 長谷川恵一(高崎経済大学)
29	1992年4月 ～ 1995年3月	杉山和雄	両大戦間期におけるアジア間貿易に関する研究 現地調査：米国(1992)	杉山和雄(成蹊大学) 松本貴典(成蹊大学) 川勝平太(早稲田大学) 宮島英昭(早稲田大学) 藤井信幸(富士短期大学) 三輪宗弘(日本大学) 片岡豊(白鷗大学) 萩本真一郎(東京国際大学) 柳敦(追手門学院大学) 佐藤能丸(早稲田大学) 岡田有巧(早稲田大学) 大森一宏(愛知学泉大学) 内田金生(早稲田大学) 中村宗悦(杉野女子大学) 杉原薫(University of London, GBR)
30	1992年4月 ～ 1995年3月	新屋重彦	新宗教のヒーリング機能 現地調査：米国(1992)	新屋重彦(成蹊大学) 高田昭彦(成蹊大学) Mark Mullins (明治学院大学) 島蘭進(東京大学) 白川琢磨(四国学院大学) 八木橋伸治(成城大学) 田辺信太郎(国際武道大学) 弓山達也(大正大学) 永井美紀子(日本学術振興会)
31	1993年4月 ～ 1995年3月	安念潤司	日本の法文化と法の「国際化」	安念潤司(成蹊大学) 斎野彦弥(成蹊大学) 松下満雄(東京大学/成蹊大学) 渡部晃(渡部晃法律事務所) 宮沢朋弘(通産省) 山田誠一(神戸大学) 山本弘(法政大学) 玉井克哉(東京大学) 黒沼悦郎(名古屋大学) 白石忠志(東北大学) 安孫子浩(通産省)
32	1993年4月 ～ 1996年3月	加藤節	民族と国家—アジアとヨーロッパ— (統合プロジェクト・民族と国家研究) 現地調査：オランダ、フランス、タイ、香港、 米国(1993)、米国、英国、トルコ、シリア、 ロシア(1994)、インドネシア(1995)	加藤節(成蹊大学) 田中治男(成蹊大学) 富田武(成蹊大学) 亀嶋庸一(成蹊大学) 村嶋英治(成蹊大学) 仲井斌(成蹊大学) 鈴木規夫(成蹊大学/長野県短期大学) 李静和(成蹊大学) 浜下武志(東京大学) 宮島喬(お茶の水女子大学) 鈴木佑司(法政大学) 宮村治雄(東京都立大学) 鈴木薫(東京大学) Sunil Khilnani (University of London, GBR)
33	1994年4月 ～ 1997年3月	長岡貞男 1995年10月～ 富田武	北東アジア地域における移行経済国の改革過 程並びに改革と域内の政治経済関係との相互 作用の研究 (統合プロジェクト・北東アジア研究) 現地調査：米国(1994)、ロシア(1995)	長岡貞男(成蹊大学) 富田武(成蹊大学) 関口末夫(成蹊大学) 宇野重昭(成蹊大学) 丸川知雄(アジア経済研究所) 浦田秀次郎(早稲田大学) 淵田康之(野村総合研究所) Sergey Braginsky (横浜市立大学) 馬成三(中国対外貿易経済合作部国際貿易研究所, CHN) Kim Won Bae (East-West Center, Hawaii, USA) (1995年10月～) 富田武(成蹊大学) 関口末夫(成蹊大学) 長岡貞男(一橋大学経済研究所) 藤本和貴夫(大阪大学) 斎藤元秀(杏林大学) 小泉直美(防衛大学校) 中居孝文(ロシア東欧貿易会) 荒井信雄(北海道地域総合研究所) 富樫巧(北海道問題研究調査会) 佐藤守男(北海道問題研究調査会)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
34	1994年4月 ～ 1997年3月	磯部啓三	インドシナ半島の政治と経済—歴史的展望と現状 (統合プロジェクト・インドシナ半島研究) 現地調査：ベトナム (1996)	磯部啓三 (成蹊大学) 村嶋英治 (成蹊大学) 松本貴典 (成蹊大学) 関口末夫 (成蹊大学) 白石昌也 (横浜市立大学) Tran Van Tho (桜美林大学)
35	1994年4月 ～ 1997年3月	高木新太郎	エネルギーと環境問題—東アジアを中心に— (統合プロジェクト・エネルギーと環境問題研究) 現地調査：中国 (1994)、韓国 (1996)	高木新太郎 (成蹊大学) 藤垣芳文 (成蹊大学) 河田燕 (成蹊大学) 小島紀徳 (成蹊大学) 権純珍 (成蹊大学) 秋吉祐子 (聖学院大学) 大塚直 (学習院大学) 菅幹雄 (東海大学) 作本直行 (アジア経済研究所)
36	1995年4月 ～ 1998年3月	小原隆治	地域経済発展と地方自治制度の役割—日韓比較を中心に— (統合プロジェクト・日韓比較自治研究) 現地調査：韓国 (1996、1997)	小原隆治 (成蹊大学) 中神康博 (成蹊大学) 西村〔鍋島〕美香 (成蹊大学) 寺尾仁 (新潟大学) 姜再鎬 (東京大学) 中野英夫 (高崎経済大学) 趙文富 (韓国済州大学校, KOR)
37	1996年4月 ～ 1999年3月	奥野昌宏	アジアにおけるマス・メディアと国際報道に関する比較研究 (統合プロジェクト・比較マス・メディア研究) 現地調査：中国 (1996)、韓国、中国 (1997)、中国 (1998)	奥野昌宏 (成蹊大学) 柳井道夫 (成蹊大学) 見城武秀 (成蹊大学) 内川芳美 (成蹊大学) 鈴木健二 (毎日新聞社／成蹊大学) 小池保夫 (明治大学) 鈴木雄雅 (上智大学) 新井直之 (東京女子大学) 林利隆 (早稲田大学) 山本賢二 (日本大学) 李鍊 (韓国鮮文大学校, KOR) 張国良 (復旦大学, CHN)
38	1997年4月 ～ 2000年3月	佐藤バーバラ	20世紀初頭の大衆のモダニティ：揺れ動く境界と生活空間 (統合プロジェクト・大衆モダニティ研究) 現地調査：英国、オーストラリア、ドイツ、ベルギー、米国 (1998)、米国 (1999)	佐藤バーバラ (成蹊大学) 下河辺美知子 (成蹊大学) 竹内敬子 (成蹊大学) 中川成美 (立命館大学) 佐藤一樹 (二松学舎大学) 鈴木貞美 (国際日本文化センター) Ulrike Wöhr (広島市立大学) Kim Brandt (Amherst College, USA) Jeffery Hanes (University of Oregon, USA) Louise Young (New York University, USA)
39	1997年4月 ～ 2000年3月	幸村千佳良	アジア太平洋諸国間の経済摩擦について (統合プロジェクト・国際コンファレンス研究1) 現地調査：香港 (1997)、ニュージーランド (1998)	幸村千佳良 (成蹊大学) 関口末夫 (成蹊大学) 武藤恭彦 (成蹊大学) 本間正義 (成蹊大学) 浜田宏一 (Yale University, USA) Chia Siow Yue (ISEAS, SIN) Cheng-Cheng Chen (国立台湾大学, TPE) Sheng ChengHu (Academia Sinica, TPE) Chung-Shu Wu (Academia Sinica, TPE) Lii-tarn Chen (Academia Sinica, TPE) Lu Ding (National University of Singapore, SIN) Kym Anderson (Adelaide University, AUS) Allan Rae (Massey University, NZL)
40	1997年4月 ～ 1999年3月	松下満雄	アジア・太平洋地域における紛争処理の法的枠組み (統合プロジェクト・国際コンファレンス研究2) 現地調査：英国 (1997)、シンガポール (1999)	松下満雄 (成蹊大学) 中村民雄 (成蹊大学) 長谷部由起子 (成蹊大学) 塩野宏 (成蹊大学) 谷川久 (成蹊大学) 廣部和也 (成蹊大学) 西崎文子 (成蹊大学) 藤田友敬 (成蹊大学) 安念潤司 (成蹊大学) 山本草二 (国際連合) 栗田純一 (郵政省大臣官房国際部国際機関室) Colin Scott (London School of Economics, GBR) Imelda Maher (Birkbeck College, University of London, GBR) Alfred Popp (カナダ政府司法省, CAN) Chai Lee-sic (高麗大学校, KOR) Mark Ramseyer (University of Chicago, USA) Toby Landau (Barrister-at-law, Essex Court Chambers, GBR) Robert Hudec (University of Minnesota, USA) John Jackson (University of Michigan, USA) Jay Westbrook (University of Texas, USA) Florentio Feliciano (Supreme Court of the Philippines, PHI) Bruce McPherson (Supreme Court, Queensland, AUS) David O'Keefe (University College, London, GBR)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
41	1998年4月 ～ 2001年3月	田中治男	20世紀の社会科学における「西欧と非西欧」 (統合プロジェクト・20世紀研究) 現地調査: 英国、スペイン、韓国(1998)、 インド(1999)	田中治男(成蹊大学) 加藤節(成蹊大学) 亀嶋庸一(成蹊大学) 李静和(成蹊大学) 西崎文子(成蹊大学) 遠藤誠治(成蹊大学) 浜下武志(東京大学) 鈴木規夫(愛知大学) 宮村治雄(東京都立大学) Sunil Khilnani (University of London, GBR)
42	1998年4月 ～ 2001年3月	松本貴典	日本の地域経済発展とアジア流通圏 (統合プロジェクト・地域経済発展研究)	松本貴典(成蹊大学) 大町健(成蹊大学) 片岡豊(白鷗大学) 大森一宏(愛知学泉大学) 中村宗悦(杉野女子大学) 平野隆(慶應義塾大学) 牛島利明(慶應義塾大学) 赤坂義浩(関東学園大学)
43	1999年4月 ～ 2002年3月	桂木隆夫	言語、人権、言語政策; アジアの多言語社会 と共生のあり方 (統合プロジェクト・共生研究) 現地調査: 英国、オランダ、中国(2000)、 ドイツ、スイス、イタリア(2001)	桂木隆夫(成蹊大学) 安念潤司(成蹊大学) 金光旭(成蹊大学) 李静和(成蹊大学) 上本昌昭(成蹊大学・院生) 多胡智之(成蹊大学・院生) 井上達夫(東京大学) 石山文彦(大東文化大学) 中村民雄(東京大学) Florian Coulmas (Gerhard Mercator University, GER)
44	1999年4月 ～ 2002年3月	神部武宣	アジアの浄と不浄 (統合プロジェクト・浄・不浄研究) 現地調査: タイ、中国(1999)、ネパール、タイ、 韓国、台湾(2000)、台湾(2001)	神部武宣(成蹊大学) 綾部真雄(成蹊大学) 新屋重彦(成蹊大学) 山上亜紀(成蹊大学・院生) 結城史隆(秀明大学) 阿部年晴(埼玉大学)
45	2000年4月 ～ 2002年3月 (3年度目は 諸事情により 中止)	別府祐之	環境マネジメントと企業の戦略行動 ーアジア太平洋地域を中心として	別府祐弘(成蹊大学) 長濱昭夫(桜美林大学) 境陸(桜美林大学) 根岸圭子(東京経済大学) 時岡規夫(成蹊大学)
46	2001年4月 ～ 2004年3月	石 剛	中国語圏諸地域における文化・宗教政策の比 較研究 現地調査: 中国(2001、2002、2003)	石剛(成蹊大学) 金光旭(成蹊大学) 光田剛(成蹊大学) 彭浩(中央大学) 趙京華(明治大学) 渡辺裕子(中央大学) 浜田ゆみ(神田外語大学) 何群雄(一橋大学) 楊麗君(一橋大学・院生) <在中メンバー> 千春松(社会科学院) 彭家声(北京大学) 張光佩(北京大学) 費振剛(北京大学) 印紅標(北京大学) 謝泳(晋中師範) 胡明(社会科学院) 王力雄(著述業) 張国憲(語言研究所) 王毅(社会科学院) 唐曉渡(作家出版社) 王建平(社会科学院) 張博樹(社会科学院) 黃昇民(広播学院) 劉榮軍(中山大学) 張鵬(師範大学) (2003年4月～) 光田剛(成蹊大学) 石剛(成蹊大学) 彭浩(中央大学) 趙京華(明治大学) 渡辺裕子(中央大学) 浜田ゆみ(神田外語大学) 何群雄(一橋大学) 楊麗君(一橋大学・院生) <在中メンバー> 千春松(社会科学院) 彭家声(北京大学) 張光佩(北京大学) 費振剛(北京大学) 印紅標(北京大学) 謝泳(晋中師範) 胡明(社会科学院) 王力雄(著述業) 張国憲(語言研究所) 王毅(社会科学院) 唐曉渡(作家出版社) 王建平(社会科学院) 張博樹(社会科学院) 黃昇民(広播学院) 劉榮軍(中山大学) 張鵬(師範大学)
47	2001年4月 ～ 2004年3月	日比野啓	日米身体論比較研究 現地調査: 米国、カナダ 英国(2001)、米国(2002)	日比野啓(成蹊大学) 村山敏勝(成蹊大学) 中田崇(実践女子大学) 吉原ゆかり(筑紫女学園大学) (2003年4月～) 村山敏勝(成蹊大学) 日比野啓(成蹊大学) 吉原ゆかり(筑紫女学園大学) 三浦玲一(一橋大学)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
48	2002年4月 ～ 2005年3月	廣部和也	アジア太平洋地域における地域主義の可能性 —組織的・制度的分析— 現地調査：タイ、ドイツ、ベルギー、フランス、 ルクセンブルク、韓国（2002）、韓国（2003）	廣部和也（成蹊大学） 宍戸善一（成蹊大学） 杉江徹（成蹊大学） 荒木教夫（白鷗大学） 中村民雄（東京大学） 最上敏樹（国際基督教大学） Sonjoon Cho (Harvard Law School, USA) Lothar Ehring (World Trade Organization, USA) Constanze Schlutz (Univ. of Munich, GER) Imola Streho (New York Univ. Law School, USA) Jeseph H.H.Weiler (New York Univ. Law School, USA)
49	2002年4月 ～ 2005年3月	富田武	21世紀のアジアと女性 —東アジアの家族を中心として— 現地調査：中国（2002）、韓国、ロシア、 フランス、中国（2004）	富田武（成蹊大学） 井出多加子（成蹊大学） 丸山桂（成蹊大学） 李静和（成蹊大学） 湯山トミ子（成蹊大学） 小浜正子（鳴門教育大学） 石川照子（大妻女子大学） 久保野恵美子（東北大学） 孝善（韓国中央大学校, KOR） 木村田鶴子（成蹊大学・元院生）
50	2003年4月 ～ 2006年3月	遠藤誠治	アジア太平洋の安全保障と地域秩序 —周辺からの視点— 現地調査：ベトナム、ラオス（2003）、タイ、 中国（2004）、台湾（2005）	遠藤誠治（成蹊大学） 亀嶋庸一（成蹊大学） 川村陶子（成蹊大学） 綾部真雄（成蹊大学） 竹中千春（明治学院大学） 木村正俊（法政大学） 清水一史（九州大学） 川島真（北海道大学） David Wolff（成蹊大学外国人特別教員）
51	2003年4月 ～ 2006年3月	中神康博	教育選択と教育財政の経済分析 —日韓を事例として—	中神康博（成蹊大学） 平尾由紀子（成蹊大学） 井上智夫（成蹊大学） 増山幹高（成蹊大学） 田口誠（成蹊大学） 大重斉（成蹊大学・院生） 大西裕（大阪市立大学） 本多正人（国立教育政策研究所） 青木栄一（国立教育政策研究所） Kim, Hyosun（韓国中央大学校, KOR） Kim, Taejong (KDI School of Public Policy and Management, KOR)
52	2004年4月 ～ 2007年3月	鈴木健二	グローバル化するメディアと国家、その未来 —豪・韓・タイ各国との比較研究に於いて— (統合プロジェクト) 現地調査：タイ、カンボジア、米国、オーストラ リア、韓国、南アフリカ（2004）、デンマーク、 スウェーデン（2005）	鈴木健二（成蹊大学） 武藤恭彦（成蹊大学） 佐藤バーバラ（成蹊大学） 李静和（成蹊大学） 城所岩生（成蹊大学） 綾部真雄（成蹊大学） 光田剛（成蹊大学） 挾本佳代（成蹊大学） 鷹岡澄子（成蹊大学） 川上代里子（成蹊大学・CAPS特別研究員） 永井浩（神田外語大学） 鈴木雄雅（上智大学） 奥村皓一（関東学院大学） 橋本晃（北海道大学） 薄本秀夫（毎日新聞社） Tessa Morris-Suzuki（オーストラリア国立大学教 授, AUS） Rodney Evan Tiffen（シドニー大学, AUS） パク・ゴンサン（愼園大学校, KOR） チェ・ウンドウ（延世大学校, KOR） 李鍊（鮮文大学校, KOR） ナタヤ・タナノーン（チェンマイ大学, THA） 範士明（北京大学, CHN） Somkiat Tangkitvanich（タイ開発調査研究所, THA）
53	2004年4月 ～ 2007年3月	森戸英幸	差別禁止法の新展開 —日米比較研究を中心に— 現地調査：米国（2004）、米国、台湾（2005）	森戸英幸（成蹊大学） 安部圭介（成蹊大学） 飯田高（成蹊大学） 水町勇一郎（東京大学） 長谷川珠子（東京大学・日本学術振興会特別研究 員） 柳澤武（名城大学）
54	2004年4月 ～ 2007年3月	宮脇俊文	ジャズと文学—日米の戦後文化比較— 現地調査：スイス、英国（2004）、ルーマニア （2005）、米国（2006）	宮脇俊文（成蹊大学） 上田泰（成蹊大学） 椿清文（津田塾大学） 細川周平（国際日本文化研究センター） Michael Molasky (The University of Minnesota, USA)

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
55	2005年4月 ～ 2008年3月	森雄一	言語のダイナミズム —日本語・英語・アジアオセアニア諸語— 現地調査：オーストラリア、スペイン（2005）、 オーストラリア、オランダ、フランス（2006）、 ポーランド（2007）	森雄一（成蹊大学） 米山三明（成蹊大学） 久保田篤（成蹊大学） 山福華織、佐野貴子（成蹊大学・院生） 大内美穂子（成蹊大学・院生） 村田拓也（成蹊大学・院生） 島田真由（成蹊大学・院生） 高草雄士（成蹊大学・院生） 織本敦司（成蹊大学・院生） 村田互（成蹊大学・院生） David Lee (The University of Queensland, AUS) 鶴谷千春 (Griffith University, AUS) 西村義樹（東京大学） 山田進（聖心女子大学） 廣瀬幸生（筑波大学） 榎山洋介（名古屋大学） 多門靖容（愛知学院大学） 滝浦真人（麗澤大学） 篠原俊吾（慶應義塾大学） 和田尚明（筑波大学） 鷺見幸美（名古屋大学） 仁科明（静岡県立大学） 岡部嘉幸（千葉大学） 小木曾智信（国立国語研究所） 李澤熊（名古屋大学） 足立公平（国士舘大学） 酒井智宏（日本学術振興会） 宇野良子（東京大学） 古賀浩章（東京大学・院生） 山泉実（東京大学・院生）
56	2005年4月 ～ 2008年3月	下河辺美知子	二十一世紀の日本で“アメリカ”という表象を いかに作り上げていくのか 現地調査：米国（2005）、米国（2006）	下河辺美知子（成蹊大学） 庄司宏子（成蹊大学） 日比野啓（成蹊大学） 樫田建二（成蹊大学） 小宮山真美子（成蹊大学） 菅原大一太（成蹊大学・院生） 舌津智之（立教大学） 若林麻希子（東京学芸大学）
57	2006年4月 ～ 2009年3月	李静和	「アート・政治・アジア」研究に関する理論的 枠組の構築 現地調査：フィリピン（2006）	李静和（成蹊大学） 村山敏勝（成蹊大学） 渋谷玲奈（成蹊大学） 池内靖子（立命館大学） 新城邦夫（琉球大学） Rebecca Jennison（京都精華大学） 北原恵（甲南大学） 鄭暎恵（大妻女子大学） 吉原ゆかり（筑波大学） 東琢磨（東京外国語大学） 崔真碩（津田塾大学） 金恵信（学習院大学） 早尾貴紀（東京経済大学） 浜邦彦（早稲田大学） 嶋田美子（慶應義塾大学） 花城郁子（琉球大学） 本山謙二（日本学術振興会特別研究員） 浅川志保（山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局） 濱治佳（山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局） 安田和代（アートコーディネーター） 金善姫（美術キュレーター） 上間かな恵（美術キュレーター） 岡本由希子（編集者） Ito Tari（パフォーマンスアーティスト） 琴仙姫（アーティスト） 呉夏枝（アーティスト） BuBu de la Madeleine（パフォーマンスアーティスト） 有馬智子（国立近代美術館） 矢野久美子（フェリス学院大学）
58	2007年4月 ～ 2010年3月	加藤節	デモクラシーとナショナリズム —アジアと欧米— 現地調査：韓国、英国、ドイツ、フランス（2007）	加藤節（成蹊大学） 宮村治雄（成蹊大学） 亀嶋庸一（成蹊大学） 松浦義弘（成蹊大学） 西崎文子（成蹊大学） 李静和（成蹊大学） 三宅麻里（成蹊大学） 愛甲雄一（成蹊大学） John Dunn (The University of Cambridge, GBR) Michael Adas (Rutgers, The State University of New Jersey, USA) Jane Adas (Rutgers, The State University of New Jersey, USA) Ruth Scur (The University of Cambridge, GBR) 平石直昭（東京大学） 孫歌（中国社会科学院, CHN） 唐士其（北京大学, CHN） 酒井啓子（東京外国語大学） 小島潔（岩波書店・編集部長） 木花章智（放送大学） 森分大輔（聖学院大学） 平石耕（早稲田大学）

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
59	2008年4月 ～ 2011年3月	権田建二	アメリカの暴力研究 現地調査：米国（2008、2009）	権田建二（成蹊大学） 下河辺美知子（成蹊大学） 庄司宏子（成蹊大学） 日比野啓（成蹊大学） 遠藤不比人（成蹊大学） 菅原大一太（成蹊大学） 大和田俊之（慶應義塾大学） 大串尚代（慶應義塾大学） 新田啓子（立教大学） 小宮山真美子（国立長野高等専門学校）
60	2008年4月 ～ 2011年3月	瀬戸一夫	ロマン主義研究—日・英・独の比較研究— 現地調査：英国、ドイツ、オーストリア（2008）、 ドイツ（2009）	瀬戸一夫（成蹊大学） 山田崇人（成蹊大学） 坂野由紀子（成蹊大学） 里村和秋（成蹊大学） 東雪見（成蹊大学） 重野純子（成蹊大学） 安西明子（上智大学）
61	2008年4月 ～ 2011年3月	小島紀徳	アジア太平洋地域における乾燥地植林による 二酸化炭素固定とバイオマス生産転換 現地調査：中国（2008）、チュニジア、インド、 オーストラリア（2009）	小島紀徳（成蹊大学） 里川重夫（成蹊大学） 鈴木誠一（成蹊大学） 加藤茂（成蹊大学） 黒澤勝彦（成蹊大学） 菅沼秀樹（成蹊大学） 小柳卓（成蹊大学・院生） 尾田裕介（成蹊大学・院生） 堤友哉（成蹊大学・院生） 稲葉康介（成蹊大学・院生） 伊東敏文（成蹊大学・院生） 岩崎稔友紀（成蹊大学・院生） 田渕宏典（成蹊大学・院生） 横佩おさむ（成蹊大学・院生） 濱野裕之（科学技術振興機構） 高橋伸英（信州大学） 田内裕之（森林総合研究所） 宇都木玄（森林総合研究所） 川西琢也（金沢大学） 江頭靖幸（大阪大学） 相川真一（森林総合研究所） 熊田俊吾（日医工株）
62	2008年4月 ～ 2011年3月	小林盾	アジア太平洋地域における社会的不平等の調査 研究 現地調査：米国（2008）	小林盾（成蹊大学） 飯田高（成蹊大学） 渡邊大輔（成蹊大学） 秋吉美都（専修大学） 筒井淳也（立命館大学） 千田有紀（武蔵大学） 辻寛平（信州大学） 武藤正義（芝浦工業大学） 常松淳（東京大学） 香川めい（立教大学） 相澤真一（日本学術振興会特別研究員） 関口卓也（東京工業大学・院生） 見田朱子（東京大学・院生） 小山裕（東京大学・院生） 大崎裕子（東京工業大学・院生）
63	2009年4月 ～ 2012年3月	金光旭	日中経済刑法の比較研究 現地調査：中国（2009、2010）	金光旭（成蹊大学） 東雪見（成蹊大学） 干改之（中国山東大学法学院，CHN） 芝原那爾（東京大学） 佐伯仁志（東京大学） 川出敏裕（東京大学） 陳興良（北京大学，CHN） 張明楷（清華大学，CHN） 謝望原（中華人民大学，CHN） 梁根林（北京大学，CHN） 干改之（中国山東大学法学院，CHN） 付立慶（中国人民大学，CHN）
64	2009年4月 ～ 2012年3月	滝沢誠	アジア太平洋地区のPeer-to-peer (P2P) オー バレイ・ネットワークでのピア間の信用可能性 の研究 現地調査：英国、米国、シンガポール、 マレーシア、ポーランド（2009）、オーストラリア、 アルバニア、イタリア、韓国（2010）	滝沢誠（成蹊大学） 中野有紀子（成蹊大学） BAROLLI Valbona（成蹊大学） YANG Yan（成蹊大学） AIKEBAIER Alixier（成蹊大学） GOUDARZINEMATI Alireza（成蹊大学・院生） 沢村総一（成蹊大学・院生） 常泉勇（成蹊大学・院生） 井上拓朗（成蹊大学・院生） 大河原忠輝（成蹊大学・院生） 榎戸智也（立正大学） BAROLLI Leonard（福岡工業大学） 池田誠（福岡工業大学） TANIAR David（Monash Univ., AUS） RAHA Yu Wenny（La Trobe Univ., AUS） DATTA Anwitaman（Nanyang Technological Univ., SIN） Le Hanh（Capetown Univ., ZAF）

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
65	2010年4月 ～ 2013年3月	墓田桂	難民・強制移動民研究の新境地 現地調査：オーストラリア、英国、フランス（2011）	墓田桂（成蹊大学）廣部和也（成蹊大学） 小泉康一（大東文化大学） 舘葉月（EHESF・院生，FRA） 川村真理（杏林大学）小澤藍（外務省・専門調査員） 小坂順一郎（UNHCR）石川えり（難民支援協会） 滝澤三郎（東洋英和女学院大学） 佐藤以久子（桜美林大学）杉木明子（神戸学院大学） 中尾秀一（難民事業本部）佐藤安信（東京大学） 新津久美子（東京大学）山本哲史（東京大学） 池田丈佑（立命館大学）新垣修（関西外国語大学） 森谷康文（北海道教育大学）橋本直子（IOM） 本間浩（法政大学）副島知哉（関西大学） 柄谷利恵子（関西大学）堀江正伸（WFP）
66	2010年4月 ～ 2013年3月	遠藤不比人	近代「日本」の表象形成と環太平洋の地政学 現地調査：英国（2010）	遠藤不比人（成蹊大学）日比野啓（成蹊大学） 齋藤一（筑波大学）
67	2010年4月 ～ 2013年3月	大熊昭信	環太平洋諸国とポストコロニアリズム —通文化主義の可能性— 現地調査：米国（2010）	大熊昭信（成蹊大学）庄司宏子（成蹊大学） 阿部陽子（成蹊大学）阿部暁帆（成蹊大学） 富山多佳夫（青山学院大学）長岡真吾（島根大学） 山本岩夫（立命館大学）腹部千代子（聖徳大学） 横山幸三（日本橋学館大学）松井優子（駿河台大学） 薄井良治（成徳学園中学高等学校）
68	2010年4月 ～ 2013年3月	湯山トミ子	アイデンティティの創生と多元的世界の構築 —アジア・中国の磁場から— 現地調査：ロシア（2011）	湯山トミ子（成蹊大学）宮本光雄（成蹊大学） 光田剛（成蹊大学）浜田ゆみ（成蹊大学） 宇野重昭（成蹊大学）李林静（成蹊大学） 葛谷登（愛知大学）田中克彦（一橋大学） Hoyt Cleveland Tillman (Arizona State Univ., USA) Margaret Tillman (University of California, Berkeley History・院生，USA)
69	2011年4月 ～ 2014年3月	上田泰	組織に対する従業員と顧客の自発的貢献行動 の統合的研究 現地調査：米国（2011）	上田泰（成蹊大学）山本晶（成蹊大学） 谷口勇仁（北海道大学）小沢浩（名古屋大学） 柳原佐智子（富山大学）宮澤薫（千葉商科大学）
70	2011年4月 ～ 2014年3月	山崎章弘	中国における廃コンクリートリサイクル利用技術 の評価 現地調査：中国（2011）	山崎章弘（成蹊大学）小島紀徳（成蹊大学） 酒井裕香（成蹊大学）網島裕介（成蹊大学・院生） 佐々木猛（成蹊大学・院生） 高橋直（成蹊大学・院生）酒井裕司（工学院大学） 飯塚淳（東北大学）徐旭常（精華大学，CHN） 陳昌和（精華大学，CHN） 王昶（天津科技大学，CHN）
71	2012年4月 ～ 2015年3月	奥野昌宏	日韓比較メディア研究—情報と文化の位相—	奥野昌宏（成蹊大学）中江桂子（成蹊大学） 市川孝一（明治大学）大石裕（慶応義塾大学） 鈴木雄雅（上智大学） 田中則広（日本放送協会専任研究員） 金政起（韓国外国語大学校，KOR） 李鍊（鮮文大学校，KOR） 金泳徳（韓国コンテンツ振興院，KOR） 蔡星埈（学習院女子大学） 小林聡明（慶熙大学，KOR）

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
72	2013年4月 ～ 2016年3月	李林静	近代中国の危機言語と言語政策	李林静（成蹊大学）石剛（成蹊大学） 浜田ゆみ（成蹊大学）藤井久美子（宮崎大学） 周明朗（Univ. of Maryland, USA） 何群雄（オーストラリアキャンベラ中国言語文化研究センター，AUS） 趙守輝（シンガポール南洋理工大学，SIN） 朱航（成蹊大学・院生）陳仲麟（早稲田大学・院生） 曾輝（成蹊大学・院生） <在中メンバー> 范俊军（暨南大学）赵京华（这个社科院文学所） 王志松（北京师范大学・外文学院） 鄭梦娟（中国人民大学）周庆生（中国社会科学院） 黄小蕾（中国社会科学院） 郭熙（北京华文学院国立教育学院） 蔣穎（中国民族大学）王建勤（北京语言大学） 申濤（中国人民大学・院生）赵春燕（北京华文学院） 黄行（中国社会科学院民族所）徐大明（南京大学） 陈多友（广东外语外贸大学） 丁国旗（广东外语外贸大学） 譚仁岸（广东外语外贸大学）
73	2013年4月 ～ 2016年3月	下河辺美智子	合衆国における「労働」の文化表象	下河辺美智子（成蹊大学）日比野啓（成蹊大学） 権田健二（成蹊大学）岡田泰平（静岡大学大学院）
74	2014年4月 ～ 2017年3月	庄司宏子	ネイションと文学 —コロニアリズムとグローバリズムのなかで—	庄司宏子（成蹊大学）小林英里（成蹊大学） 結城正美（金沢大学）大辻都（京都造形芸術大学） 北原妙子（東洋大学）吉田裕（東京理科大学） 小林潤（成蹊大学・院生）
75	2014年4月 ～ 2017年3月	小林盾	ライフコースの国際比較研究： 多様性と不平等への社会学的アプローチ	小林盾（成蹊大学）今田絵里香（成蹊大学） 渡邊大輔（成蹊大学）山田昌弘（中央大学） Carola Hommerich（北海道大学） 内藤準（成蹊大学）香川めい（東京大学） 大崎裕子（成蹊大学・CAPS特別研究員） 川端健嗣（成蹊大学）見田栄子（専修大学）
76	2015年4月 ～ 2018年3月	森雄一	認知言語学の新領域開拓研究 —英語・日本語・アジア諸語を中心として—	森雄一（成蹊大学）久保田篤（成蹊大学） 西村義樹（東京大学）眞田敬介（札幌学院大学） 野田大志（東北学院大学） 長谷川明香（成蹊大学・CAPS特別研究員） 石塚政行（東京大学大学院、日本学術振興会・大学院生・特別研究員） 柴田龍希（成蹊大学・学部生） 糸野栄里子（成蹊大学・院生）
77	2015年4月 ～ 2018年3月	細谷広美	グローバル・ジャスティスの模索とローカリティ： グローバルとローカルの出会う現場から	細谷広美（成蹊大学）佐藤義明（成蹊大学） 佐々木紳（成蹊大学）石田慎一郎（首都大学） 上杉妙子（成蹊大学）大野旭[楊海英]（静岡大学） 岡田泰平（東京大学）久保忠行（大妻女子大学） 湖中真哉（静岡県立大学）関根久雄（筑波大学） 千代勇一（帝京大学）杉山知子（愛知学院大学） 土佐桂子（東京外国語大学）
78	2016年4月 ～ 2019年3月	日比野啓	アジア太平洋地域における情動メディアとしての西洋音楽の影響	日比野啓（成蹊大学）Barnaby Ralph（成蹊大学） Henry Johnson（The University of Otago, NZL） Neil Addison（東京女子大学） 佐藤綾（東京女子大学）大友彩子
79	2017年4月 ～ 2020年3月	渡邊大輔	グローバルエイジングとライフコース変容：福祉国家形成と展開の社会学的分析	渡邊大輔（成蹊大学）小林盾（成蹊大学） 今田絵里香（成蹊大学）内藤準（成蹊大学） 大久保将貴（東京大学）竹内麻貴（山形大学） 赤枝尚樹（関西大学） 川端健嗣（日本社会学会・事務局） 大崎裕子（東京大学）渡邊悟史（成蹊大学）

No.	期間	責任者	テーマ・現地調査	参加者
80	2018年4月 ～ 2021年3月 (継続中)	井上淳子	消費者行動における無意識と潜在意識の探究	井上淳子(成蹊大学) 浜松翔平(成蹊大学) 石井裕明(青山学院大学) 有賀敦紀(広島大学) 安藤和代(千葉商科大学) 坂下玄哲(慶應義塾大学) 畢滔滔(立正大学) 富田健司(同志社大学) 李若哲(成蹊大学・院生) 呉凌(成蹊大学・院生)
81	2019年4月 ～ 2022年3月 (継続中)	久富寿	アジアにおける雪割草の分子系統樹作成および新種同定	久富寿(成蹊大学) 宮下敦(成蹊大学) 佐藤尚衛(成蹊中学・高等学校) 荒井清志(成蹊中学・高等学校) 田中博春(成蹊中学・高等学校) 井内勝哉(成蹊大学) 大野好弘(日本ヘパティカ研究所) 石井沙希(成蹊大学・院生)
82	2020年4月 ～ 2023年3月 (継続中)	小野尚美	多様性の時代—日本の英語教育を考える	小野尚美(成蹊大学) 平山真奈美(成蹊大学) Barnaby Ralph(成蹊大学) 小林めぐみ(成蹊大学) 増田斐那子(成蹊大学) 岡崎啓子(成蹊小学校) 田縁真弓(ノートルダム学院小学校) オーガスティン真智(ノートルダム学院小学校) 吉本連(ノートルダム学院小学校) 馬場今日子(金城学院大学)
83	2020年4月 ～ 2023年3月 (継続中)	庄司宏子	“Disaster Literature”(災害文学)の可能性	庄司宏子(成蹊大学) 小林英里(成蹊大学) 植松なつみ(東洋大学) 木村朗子(津田塾大学) 西成彦(立命館大学) 結城正美(青山学院大学)
84	2021年4月 ～ 2024年3月 (新規)	鷹岡澄子	アジア太平洋地域におけるSDGsに向けたESG投資戦略	鷹岡澄子(成蹊大学) 時岡規夫(成蹊大学) 沖本竜義(オーストラリア国立大学, AUS) 高橋耕史(日本銀行) Ivan Etzo(カリアリ大学, ITA) Doo Bong Han(Korea University, KOR) Ji Yong Lee(Kangwon National University, KOR)

※参加者の所属は原則としてプロジェクト期間中で最終の所属としていますが、プロジェクトの途中で抜けた場合には、その時点での所属を記載しています。また、継続中のものは2021年2月現在の所属としています。

1-2 パイロット研究一覧

No.	年度	研究者名	テーマ	「アジア太平洋研究」 掲載号	研究成果（タイトル）	発表 年度
1	1995	川越俊彦	東アジアにおける農地改革の経済評価に関する研究：レビュー	—	ディスカッションペーパー：SJ—2「戦後日本の農地改革：その経済的評価」 “Land Reform in Postwar Japan: An Economic Evaluation”, April 1995 S—17 “Agricultural Land Reform in Japan: Reconsideration of the Issues”, January 1996	1995 1996
2	1995	高田昭彦	市民活動のマネジメントとネットワーク形成—アメリカ環境運動を焦点に—	—	ディスカッションペーパー：SJ—4「アメリカ環境活動の経験」 “Environmental Movements in USA”, May 1996	1996
3	1996	渡辺健一	アジア太平洋地域の経済発展に果たした海外直接投資の役割	—	ディスカッションペーパー：SJ—7「東アジア経済と多国籍企業投資」 “The Roles of Foreign Direct Investment by Multinational Corporations for the Economic Development of East Asian Countries”, May 1997	1997
4	1996	長谷部由起子	アジア太平洋地域における民事訴訟制度の動向	—	ディスカッションペーパー：SJ—6「イングランドにおける法律扶助制度の実情」 “Legal Aid Practice in England and Wales”, April 1997	1997
5	1996	佐藤バーバラ	1920年代日本のアメリカニズム再考	—	ディスカッションペーパー：S—20 “Reconsidering ‘Amerikanizumu’ in the 1920s”, May 1997	1997
6	1997	平尾由紀子	日米保険交渉に関する考察	—	ディスカッションペーパー：SJ—8「日本の損害保険業の費用構造」 “On the Cost Structure of the Japanese Property and Liability Insurance Industry”, April 1998 (S—21 English Version of SJ—8, S—22 Revised Version of S—21)	1998
7	1997	桂木隆夫	アジア太平洋地域における共生のあり方、その理念と現実	—	ディスカッションペーパー：SJ—9「アジア太平洋地域における共生のあり方、言語政策を例として」 “The Conceptions of ‘Kyosei’ in Asian and Pacific Area; referring to the Idea of Language Policy and ‘Non—discrimination’”, May 1998	1998
8	1999	宮脇俊文	アメリカン・インディアン自然観とネイチャー・ライティング	—	ディスカッションペーパー：HJ—1「大地は病んでいる」—アメリカン・インディアン自然観—, June 2002	2002
9	1999	高松和明	アジア太平洋地域におけるベンチャービジネスの動向調査	—	—	—
10	2000	石 剛	中国語圏諸地域における文化・宗教政策の比較研究	25号	葛藤の諸相と統合の文法	2003
11	2000	日比野啓	日米身体論比較研究	—	ディスカッションペーパー：HJ—2「曾我廼家五郎の声と身体：1930年代における二つの「想像の共同体」をめぐる」, January 2004	2004
12	2001	湯山トミ子	21世紀のアジアと女性—東アジアにおける家族比較研究—	33号	東アジアの家族比較研究：中国における老親扶養観念の歴史的形成とその展開 —日・韓との異相を交えて—	2008
13	2002	遠藤誠治	アジア太平洋の安全保障と地域秩序の再構築—周辺からの視点—	27号	安全保障概念の変容、グローバリゼーション、帝国—「人間の安全保障」の政治的課題—	2004
14	2006	墓田桂	アジア太平洋地域における国内避難民の問題—スリランカおよびインドネシアの事例研究—	32号	スリランカにおける国内避難民問題	2007
15	2006	小口喜美夫	アジア・オセアニア地域におけるブロードバンド・コンテンツ利用に関する研究	37号	ICT Technologies and Their Application to the Home Environment in Asian/Oceania Regions: From the View Points of Aging and Home Healthcare	2012
16	2006	浅見和彦	日本及びアジアなどの景観問題	33号	女の旅、庶民の旅	2008

No.	年度	研究者名	テーマ	「アジア太平洋研究」 掲載号	研究成果（タイトル）	発表 年度
17	2007	権田建二	アメリカ文化における戦争の痕跡	34号	不正の記憶—チャールズ・W・チェスナットの『伝統の髄』における白人優越主義と男性中心主義—	2009
18	2007	小林盾	アジア・太平洋地域におけるネットワーク構造	36号	ライフスタイルにおける社会的格差—食生活の外部化を事例として—	2011
19	2007	鈴木滋	アジアのオリンピック 東京～ソウル～北京そして東京	—	—	—
20	2008	安部圭介	憲法改正の理念と実際	39号	アメリカ憲法における直接民主主義の要素と司法権の役割—単一主題のルールに関する Oregon 州最高裁判所の判決を素材として—	2014
21	2009	近藤正	ウォールデン七十二候の作成	38号	ソロー七十二候—1852年の場合—	2013
22	2009	墓田桂	国内避難民の保護・帰還・定住—スリランカとグルジアの比較事例研究—	35号	「恐怖からの自由」は保障できるか？国際平和と安全に関する近年の政策議論—国内避難民の保護の観点から—	2010
23	2010	本郷照久	粘土を利用した高効率な水質浄化材料の開発研究	37号	米もみ殻灰からの高機能性VOC吸着剤の開発（本郷照久、山崎淳司、山崎章弘）	2012
24	2011	森住史	英語は脅威？憧れ？エンパワメントの道具？：日本人英語学習者の英語に対する態度	37号	日本人にとって英語とは何か—英語教育と言語政策—	2012
25	2011	今井貴子	野党改革の比較政治	38号	Opposition in Parliamentary Democracies: British and Japanese Political Parties in Comparison	2013
26	2012	板橋拓己	「アメリカ化」の日独比較戦後史に向けて	39号	ドイツとイスラエルの「和解」—道義と権力政治のはざまで—	2014
27	2012	酒井孝	アジア太平洋地区における金属材料製造技術	38号	アジア太平洋地域の各国で創製された鉄鋼材料の諸特性	2013
28	2012	岡田泰平	戦時比・日・朝鮮関係史	39号	戦時性暴力はどう裁かれたか—セブ・マクタン島コルドバの事例から—	2014
29	2012	三浦正志	アジア太平洋の各国における超伝導技術開発の現状	39号	アジア太平洋の各国における超伝導技術の現状	2014
30	2012	ブー・トウン・カイ	東アジアにおける域内生産ネットワーク形成と為替制度選択—DSGEモデルを用いるアプローチ—	39号	東アジアの貿易構造と為替制度選択問題に関する理論的考察	2014
31	2013	中野有紀子	非言語コミュニケーションにおける文化比較と会話エージェントへの応用	40号	異文化理解のためのロールプレイゲームの開発と多国間比較実験の実施	2015
32	2014	有富純也	古代東アジア世界における漢字文化—朝鮮半島を中心に—	41号	「奉」「本」「本」などと記された墨書土器に関する予備的考察	2016
33	2014	永野護	新たな国際金融秩序と東アジア通貨外交：マイクロデータに基づく検証	40号	Who Issues Debt Securities in Emerging Economies?	2015
34	2014	井上元基	環境浄化を目的とした有機—無機ハイブリッド材料の創製—	40号	ポリビニルアルコールのネットワーク構造を利用したジオポリマー粉末の調製	2015
35	2015	湯山トミ子	子ども観の社会史的考察のための基礎研究—日中子ども観の比較考察—	45号	子ども観の社会史的考察に関する基礎研究—日中子ども観の比較考察に向けてのアプローチ—	2020
36	2016	三田奈穂	明治初期刑事法における酌量減輕移入に関する研究	42号	明治期における酌量減輕導入に関する一考察	2017
37	2016	渡邊大輔	高齢期のワーク・ライフ・バランスの国際比較：生活時間分析を通して			
38	2017	上田泰	組織市民行動の受け手の心理と誘発される行動について	43号	組織内を組織市民行動が広がるプロセスについて	2018
39	2017	村上朝之	水資源の高度利用に資する気液境界放電シミュレーション	43号	水資源の高度利用に資する気液境界放電シミュレーション	2018
40	2017	内藤準	主観的自由と社会経済的資源の関連に関する研究：国際比較による分析の試み	43号	八王子市におけるサポートネットワークと暮らしの安心の基礎的分析— 2017 年「第2回暮らしの安全と安心に関する市民意識調査」より—	2018

No.	年度	研究者名	テーマ	「アジア太平洋研究」 掲載号	研究成果（タイトル）	発表 年度
41	2018	井内勝哉	ミトコンドリアDNA解析を基軸にしたヤマビルの進化学的研究	44号	ミトコンドリアDNA 解析を基軸にしたヤマビルの進化学的研究 (井内勝哉、佐藤尚衛)	2019
42	2018	挾本佳代	「美の社会学」の追究	45号	「美の社会学」の追求—「会所」という場から「美」と「つながり」を考える—	2020
43	2019	小河重三郎	天然油脂脂肪酸を利用したエステル交換反応によるトレハロース脂肪酸エステルの調整とその応用	45号	アブラヤシから得られる植物油の脂肪酸から調製されるトレハロース脂肪酸エステルの利用性開拓	2020
44	2019	立石洋子	旧ソ連・ロシアにおける第二次世界大戦の記憶と国民意識			
45	2020	菅原一輝	ヒ素超蓄積植物モエジマシダバイオマスを利用した新規環境浄化資材の開発			
46	2020	齋藤守弘	アジア太平洋圏活性化のための電気自動車向け次世代電池材料の調査と開発			
47	2020	宮脇俊文※	ハイウェイの記憶—ルート66のアメリカ			
48	2021	前川佐理	電圧変動にロバストなPMSM ドライブ用 AC-AC 変換器の研究			
49	2021	吉見憲二	日米中韓における情報倫理の比較研究			

※COVID-19感染拡大の影響により2021年度も継続

2 刊行物

2-1 アジア太平洋研究センター叢書一覧

No.	タイトル	編著者	出版社	刊行年月
1	太平洋国家オーストラリア	川口浩・渡辺昭夫 編	東京大学出版会	1988.11
2	アジア経済研究 —貿易・投資・技術政策の展開—	関口末夫・大野昭彦 編著	中央経済社	1991.3
3	農村地域の近代化と内発的発展論 —日中「小城镇」共同研究—	宇野重昭・朱通華 編	国際書院	1991.6
4	デモクラシーの未来 —アジアとヨーロッパ—＜国際コンファレンス（センター設立10周年記念企画成果物）＞	加藤節 編	東京大学出版会	1993.3
5	難民	加藤節・宮島喬 編	東京大学出版会	1993.3
6	内発的発展と外向型発展 —現代中国における交錯—	宇野重昭・鶴見和子 編	東京大学出版会	1994.3
7	マス・メディアと国際関係 —日本・韓国・中国の国際比較—	内川芳美・柳井道夫 編	学文社	1994.4
8	癒しと和解 —現代における CARE の諸相—	新屋重彦・島蘭進・ 田邊信太郎・弓山達也 編著	ハーベスト社	1995.2
9	企業のグローバル化と管理会計	伊藤嘉博 編	中央経済社	1995.3
10	戦前期日本の貿易と組織間関係 —情報・調整・協調—	松本貴典 編	新評論	1995.3
11	East Asian Economies: Transformation and Challenges	川越俊彦・関口末夫 編	ISEAS	1995.12
12	中国とロシアの産業変革 —企業改革と市場経済—	長岡貞男・馬成三・ S. ブラギンスキー 編著	日本評論社	1996.2
13	民族と国家（『思想』第863号）	（「民族と国家」研究プロジェクトの研究成果物として）	岩波書店	1996.5
14	ベトナムとタイ —経済発展と地域協力—	磯部啓三 編	大明堂	1998.12
15	エネルギーと環境 —東アジアを中心に—	高木新太郎・小島紀徳 編	日本評論社	1999.4
16	Dreams and Dilemmas: Economic Friction and Dispute Resolution in the Asia-Pacific	浜田宏一・松下満雄・ 幸村千佳良 編	ISEAS	2000.6

No.	タイトル	編著者	出版社	刊行年月
17	ことばと共生	桂木隆夫 編著	三元社	2003.4
18	経済現象と法（『別冊NBL』 No.83）	松下満雄 編著	商事法務	2003.8
19	現代中国的制度与文化	石 剛 編著	香港社会科学出版社	2004.3
20	からだはどこにある？ —ポップカルチャーにおける身体表象—	日比野啓・村山敏勝・ 三浦玲一・吉原ゆかり 編著	彩流社	2004.5
21	生産と流通の近代像 —100年前の日本—	松本貴典 編著	日本評論社	2004.7
22	マス・メディアと冷戦後の東アジア	奥野昌宏 編著	学文社	2005.2
23	日韓の地方自治と地域開発	小原隆治・趙文富 編著	第一書林	2005.3
24	家族の変容とジェンダー	富田武・李静和 編	日本評論社	2006.12
25	NATION-STATES AND MEDIA: THE QUESTION OF NATIONAL IDENTITY	鈴木健二 編著	明石書店	2007.2
26	辺縁のアジア —〈ケガレ〉が問いかけるもの—	新屋重彦・綾部真雄・ 阿部年晴 編	明石書店	2007.2
27	日常生活の誕生 —戦間期日本の文化変容—	バーバラ佐藤 編	柏書房	2007.6
28	教育の政治経済分析 —日本・韓国における学校選択と教育財 政の課題—	中神康博・Taejong Kim 編	シーエーピー 出版	2007.11
29	地域主義の制度論的研究	廣部和也 編	不磨書房	2008.3
30	ことばのダイナミズム	森雄一・西村義樹・山田進・ 米山三明 編	くろしお出版	2008.9
31	差別禁止法の新展開 —ダイヴァーシティの実現を目指して—	森戸英幸・水町勇一郎 編著	日本評論社	2008.9
32	アメリカン・テロル —内なる敵と恐怖の連鎖—	下河辺美知子 編著	彩流社	2009.6
33	残傷の音 —「アジア・政治・アート」の未来へ—	李静和 編	岩波書店	2009.6
34	ニュー・ジャズ・スタディーズ —ジャズ研究の新たな領域へ—	宮脇俊文・細川周平 マイク・モラスキー 編著	アルテス パブリッシング	2010.7
35	デモクラシーとナショナリズム —アジアと欧米—	加藤節 編	未来社	2011.3

No.	タイトル	編著者	出版社	刊行年月
36	沙漠を森に —温暖化への処方箋—	小島紀徳・江頭靖幸 編著	コロナ社	2011.3
37	日中経済刑法の比較研究	金光旭・佐伯仁志 編	成文堂	2011.6
38	グローバル化の中のポストコロニアリズム —環太平洋諸国の英語文学と日本語文学の可能性—	大熊昭信・庄司宏子 編著	風間書房	2013.3
39	アメリカン・ヴァイオレンス —見える暴力・見えない暴力—	権田建二・ 下河辺美知子 編著	彩流社	2013.5
40	デモクラシーとコミュニティ —東北アジアの未来を考える—〈国際シンポジウム（センタ設立30周年記念企画）成果物〉	中神康博・愛甲雄一 編	未来社	2013.9
41	カントからヘルダーリンへ —ドイツ近代思想の輝きと翳り—	瀬戸一夫 著	東北大学出版会	2013.12
42	日本表象の地政学 —海洋・原爆・冷戦・ポップカルチャー—	遠藤不比人 編著	彩流社	2014.3
43	難民・強制移動研究のフロンティア	墓田桂・杉木明子・池田丈佑・ 小澤藍 編著	現代人文社	2014.3
44	分散システム：P2Pモデル	滝沢誠・榎戸智也 共著	コロナ社	2014.4
45	アジアからの世界史像の構築 —新しいアイデンティティを求めて—	湯山トミ子・宇野重昭 編著	東方書店	2014.6
46	ライフスタイルとライフコース —データで読む現代社会—	山田昌弘・小林盾 編	新曜社	2015.6
47	従業員と顧客の自発的貢献行動	上田泰 編著	多賀出版	2015.9
48	移動する人びとの教育と言語 —中国朝鮮族に関するエスノグラフィー— 〈特別研究員成果物として助成〉	趙貴花 著	三元社	2016.2
49	メディアと文化の日韓関係 —相互理解の深化のために—	奥野昌宏・中江桂子 編	新曜社	2016.3
50	危機言語へのまなざし —中国における言語多様性と言語政策—	石 剛 編	三元社	2016.9
51	アメリカン・レイバー —合衆国における労働の文化表象—	日比野啓・ 下河辺美知子 編著	彩流社	2017.10
52	中国北方危機言語のドキュメンテーション —ヘジェン語／シベ語／ソロン語／ダゲール語／シネヘン・ブリヤート語—	李林静・山越康裕・ 児倉徳和 編著	三元社	2018.4

No.	タイトル	編著者	出版社	刊行年月
53	グローバル化する〈正義〉の人類 —国際社会における法形成とローカリ ティー—	細谷広美・佐藤義明 編	昭和堂	2019.2
54	国民国家と文学 —植民地主義からグローバリゼーション まで—	庄司宏子 編著	作品社	2019.2
55	変貌する恋愛と結婚 —データで読む平成—	小林盾・川端健嗣 編	新曜社	2019.4 (2019.3 納品)
56	認知言語学を拓く	森雄一・西村義樹・ 長谷川明香 編	くろしお出版	2019.10
57	認知言語学を紡ぐ	森雄一・西村義樹・ 長谷川明香 編	くろしお出版	2019.10

センター叢書以外のプロジェクト成果刊行物

No.	タイトル	編著者	出版社	刊行年月
1	リスクマネジメントの理論と実践 (センター徳谷プロジェクト報告書)	徳谷昌勇 編著		1987.12
2	民族とナショナリズム	加藤節 監訳	岩波書店	2000.12
3	デジタルは「国民=国家」を溶かす —新メディアの越境・集中・対抗—	鈴木健二	日本評論社	2007.8

2-2 所報・ジャーナル『アジア太平洋研究』一覧

第1号 1985年3月発行

○論文

- ・宇野重昭「日本における地域研究の一考察—東南アジア研究と中国研究の対比の視点から—」
- ・篠原三代平「アジア太平洋地域の成長と将来シナリオ」 他

第2号 1986年3月発行

○論文

- ・廣野良吉「日本企業の国際化：東アジアにおける経営システムと技術の適合—要約と結論—」
- ・飯田芳男「日中共同研究：北京における大気汚染の現状」 他

第3号 1987年4月発行

○論文

- ・槌田昭「太平洋沿岸諸国の地熱地域における地熱エネルギーの多目的有効利用と環境保全の研究」
- ・シャフルディン・カリミ「インドネシアにおける土地集中と農村所得不平等」 他

第4号 1988年3月発行

○論文

- ・徳谷昌勇「企業のリスクに関する経済・経営データの収集、国際比較とそのデータバンク化に関する研究—日本・アメリカ・東南アジアを中心として—」
- ・前田照行「地域冷房による東南アジア地熱地域における地場産業の振興と生活改善に関する研究」 他

第5号 1989年3月発行

○論文

- ・『西欧科学技術の受容に関する日中の比較』
鎌谷親善「第Ⅰ部 近代化日本の技術—19世紀を中心に」
島原健三「第Ⅱ部 近代中国における西欧科学技術の導入—その発展階段と発展の緩慢性について—」
- ・神部武宣「インドネシアにおける近代化—ブキティンギのパサール—」 他

第6号 1990年3月発行

○特集＜国際シンポジウム「オーストラリア・インドネシア・日本—国際関係をめぐる諸問題—」＞

○論文

- ・小島紀徳「アジア太平洋地域における砂漠化に関する調査、解析およびその防止法、緑化法の開発」 他

第7号 1991年3月発行

○論文

- ・宇野重昭「江蘇省における“小城镇”建設の一考察—中国農村近代化の独自性を求めて—」
- ・村松司叙「アジア太平洋地域における産業発展と国際合併企業の役割」 他

第8号 1992年1月発行

○特集＜ワークショップ：日本社会における「外国人問題」＞

○論文

・山本賢二「中国の「国情」とジャーナリストの意識—1987～88年における四調査から—」 他

※次号より、和文論文の英訳廃止

第9号 1993年3月発行

○特集＜アジア太平洋研究センター設立10周年記念国際コンファレンス「アジアとヨーロッパにおけるデモクラシーの未来」＞

○論文

・John Dunn “THE FUTURE OF DEMOCRACY IN ASIA” 他

第10号 1993年12月発行

○論文

・Sueo Sekiguchi “Prospects of Economic Cooperation in the Asia-Pacific”

・大野昭彦「タイの工業化過程における女子労働とその問題点—ある日系企業の実態を事例として—」 他

第11号 1994年11月発行

○論文

・Wendy Dobson “Japanese Investment Strategies in East Asia”

・Won Bae Kim “Asian NIEs in Transition: Firm-Level Strategies” 他

第12号 1995年7月発行

○特集＜APEC＞

・山澤逸平「APECは何を目指しているか—制度化の新展開と大阪会議の課題—」

・香西泰「APECの課題と展望」 他

第13号 1996年1月発行

○論文

・Sanjay Yadav “Indian Political Sociology: Need for a New Approach”

・John Riew “Income Taxation and Household Saving in Taiwan” 他

第14号 1997年1月発行

○論文

・Koichi Hamada “The Effect of Foreign Direct Investment on the Pattern of Trade: Is Investment a Substitute for Trade?”

・David Walton “Regional Dialogue in Australia-Japan Relations, 1952-1964: An Australian Perspective” 他

第15号 1997年5月発行

○特集＜北東アジア＞

・藤本和貴夫「ロシア極東地域の政治と社会—沿海地方を中心に—」

・中居孝文「ロシア極東経済と長期発展プログラム」 他

第16号 1998年2月発行

○論文

- ・ Marianne Bastid-Bruguier “Recent Trends in Chinese Science and Technology Policy”
- ・ Youn-Suk Kim “The Regional Dynamism and Interdependence of Asia-Pacific Economy” 他

第17号 1998年7月発行

○特集＜Japan Studies＞

- ・ Barbara Sato “Reconsidering *Amerikanizumu* and *Modanizumu* in Interwar Japan”
- ・ Angela Yiu “Tokyo through the Eyes of “Crazy Maria” — Mori Mari’s Tokyo and Her Sisterhood with the Daughters of Edo” 他

第18号 1999年2月発行

○論文

- ・ Chi-Chur Chao/Eden S.H. Yu “Export Promotion, Variable Returns to Scale, and National Welfare”
- ・ Chang Woon Nam/Kee Yung Nam “Recent Industrial Growth and Specialisation in Selected Asian Countries” 他

第19号 2000年2月発行

○特集＜アジア経済＞

- ・ Chang Woon Nam “Some Western Misunderstandings Surrounding the Origin of the Korean and Asian Economic Crises”
- ・ Sueo Sekiguchi “Currency and Finance Crises in East Asia: 1997-1998” 他

第20号 2000年7月発行

○論文

- ・ Fernand de Varennes “Preventing Ethnic Conflicts in Asia: The Relevance of Human and Minority Rights”
- ・ Kiheung Kim/Inkyo Cheong/Seunghee Han “The Effects of APEC Trade Liberalization: Measured through CGE Model” 他

第21号 2001年3月発行

○論文

- ・ Youn-Suk Kim/Hyeng Keun Koo “The IMF Policy and Its Effects on Korean Chaebols”
- ・ Moazzem Hossain/Hiranya Mukhopadhyay “Currency Crisis: A South Asian Perspective” 他

第22号 2001年12月発行

○論文

- ・ Eric A. Feldman “A Comparative Look at Tobacco Control: The Law, Politics and Ethics of Smoking in the US and Japan”
- ・ M. Mustafa Erdogan “The Role of the State in National Technological Capability Building” 他

第23号 2002年6月発行

○論文

- ・ Crawford Young “Nationalism and Ethnicity in Africa”
- ・ Hsiao-Chien Tsui “Profit Margin, Market Structure, and Foreign Trade in a Small Open Economy” 他

第24号 2002年12月発行

○特集＜Asian Women in the 21st Century＞

- ・ Ruri Ito “Globalization, Development, and Gender: Gender and the Japanese State under the Effects of Globalization”
- ・ Cynthia Bautista “The Globalization, Development, and Gender Nexus: Exploring the Paradoxes of Gendered Development in the Philippines” 他

第25号 2003年7月発行

○論文

- ・ Shalendra D. Sharma “The Malaysian Capital Controls and the Debates on the New International Financial Architecture”
- ・ KiHeung Kim/HaeChun Rhee/HyunSik Chung “Environmental Regulation and Its Effects on Total Factor Productivity: The Case of Korean Industries” 他

第26号 2004年2月発行

○特集＜ナショナリズム＞

○論文

- ・ 川上代里子「オーストラリアの多文化主義政策の問題点—1999年報告・指針の分析を中心に—」 他

第27号 2004年7月発行

○論文

- ・ Xiaoming Huang “The Pattern of Rapid Economic Growth in East Asia: The Flying Geese Theory Revisited”
- ・ Jagan Nath Shrestha/Binod Vaidya/Toshinori Kojima/Sanjaya Kumar “Rural Digital Library: Connecting People in Nepal Using Solar Energy” 他

第28号 2005年2月発行

○特集＜21世紀世界と核＞

○論文

- ・ Pattarawan Youyen “Meaning Extensions of Taste Terms in Thai and Japanese -A Case Study of ‘WAAN’ and ‘AMAI’-” 他

第29号 2005年7月発行

○論文

- ・ 宣在源「農村共同労働組織の日朝比較—工場人事労務管理組織の原型を探る—」
- ・ Mohamed Aafif “Japan’s Success in the 19th Century as Seen in the Arab World: Possibilities and Limitations of a Comparison” 他

第30号 2006年2月発行

○特集＜アジアを起源とする文物＞

○論文

- ・ 鈴木健二「メディアと国民国家「変容」の相似性」 他

第31号 2006年10月発行

○特集＜東アジアの歴史と主体を考える＞

○論文

- ・ 瀬川高央「日本の防衛費に関する研究—防衛力整備と後年度負担の変化を中心に—」 他

第32号 2007年11月発行

○論文

- ・ Evelyn Schulz “The Revival of the *Roji* in Modern Japan: The Role of Indigenous Urban Structures in the Discourse of the Urban”
- ・ Chiharu Tsurutani “Acquisition of Geminate Consonants by English Speaking Learners of Japanese” 他

第33号 2008年11月発行

○特集＜環境＞

○論文

- ・ 山上亜紀「米の象徴性—ネパール・ネパール社会における浄・不浄観念を中心に—」 他

第34号 2009年11月発行

○特集＜中国、沖縄 ドキュメンタリー／アートの可能性＞

○論文

- ・ 小坂恵敬「共同体的土地所有と慣習的土地所有—オーストラリア海外援助政策における土地」 他

第35号 2010年11月発行

○特集＜アジア太平洋／子どもたち／映画＞

○論文

- ・ Urs Matthias Zachmann “War and International Order in Japan’s International Legal Discourse: Attitudes among Japanese International Lawyers during the 1920s” 他

第36号 2011年11月発行

○特集1＜映像の可能性—文化を記録するとは何か＞

○特集2＜ことば・文字・女の解放＞

第37号 2012年11月発行

○特集＜グローバル化時代の人の移動とアイデンティティ—若年層に着目して＞

○論文

- ・ 陳興良（翻訳・金光旭）「中国における案例指導制度」 他

第38号 2013年11月発行

○特集＜統合と分裂の力学から見るアメリカ—過去・現在・未来＞

○論文

- ・ Michael J. Grossman and Masumi Zaiki “Documenting 19th Century Typhoon Landfalls in Japan” 他

特別号 2014年3月発行

○特集＜シベリア抑留の実態解明へ—求められる国際交流と官民協力＞

第39号 2014年11月発行

○特集＜再考・アジアの戦争を考える—私たちは何を学ぶべきか＞

○論文

- ・ Thomas W. Burkman “Can Nations Forgive? Japan, Korea, and China Remember the Past and Face the Future” 他

第40号 2015年11月発行

○特集＜〈アジア〉を読む／聴く 記憶・アイデンティティ・共生＞

○論文

・Sebastian Bobowski “An Insight into Asian Trade Regionalism: Japan’s Double Membership in the Exclusive Games of TPP, and RCEP.” 他

第41号 2016年11月発行

○特集＜〈沖縄の思想〉をめぐって＞

○論文

・小林盾・西村謙一・大崎裕子「首長のソーシャル・キャピタルは自治体パフォーマンスを向上させるのか—フィリピンを事例とした300市町調査の計量分析」 他

第42号 2017年11月発行

○特集＜アジアにおける分断と交差＞

○論文

・小林盾・大崎裕子・川端健嗣・渡邊大輔「ロマンティック・ラブ・イデオロギーを分解する—2015年社会階層とライフコース全国調査（SSL-2015）による、恋愛・結婚・出生心理の計量分析」 他

第43号 2018年11月発行

○特集＜繋がりのアジア＞

○論文

・Baldandorj Urangoo「現代モンゴル家族財産制度における夫婦財産分与」 他

第44号 2019年12月発行

○特集＜移民政策・労働市場・社会統合—技能skillを軸に考える＞

○論文

・Dougal McNeill “Future City: Tokyo After Cyberpunk” 他

第45号 2020年12月発行

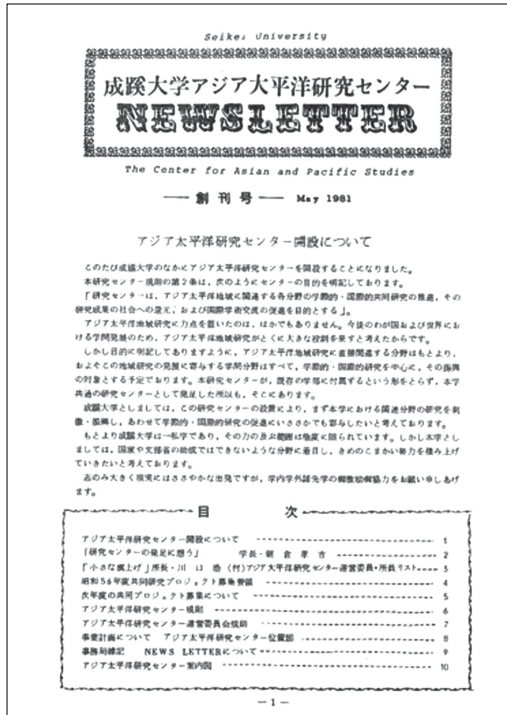
○2019年度アジア太平洋研究センター主催公募企画より

・Alex Watson 「“The Garb of Fiction” : Edgar Allan Poe’s Notes for *the Narrative of Arthur Gordon Pym of Nantucket* [1838]」 他

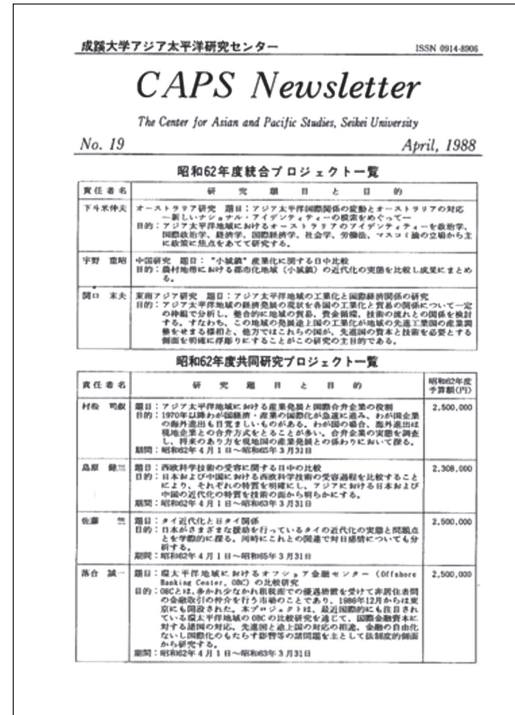
※ジャーナルNo.35～45については、CAPSウェブサイトに掲載しています。

2-3 CAPS Newsletter

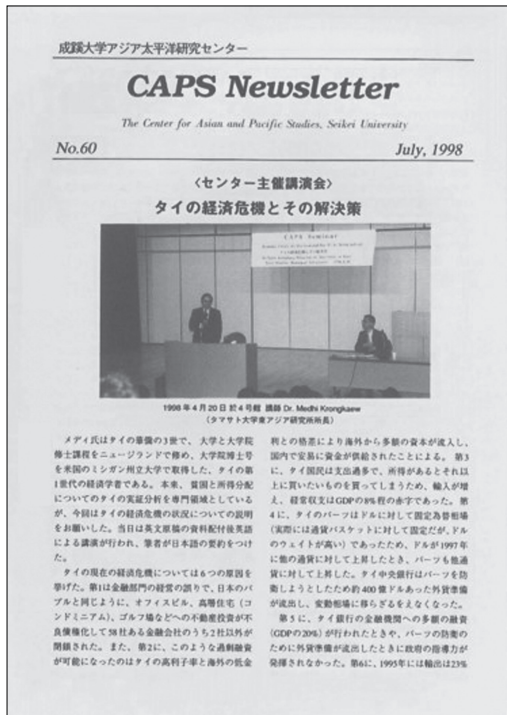
CAPS発足（1981年）と同時に創刊され、3回のデザイン変更を経て、現在の様式となりました。



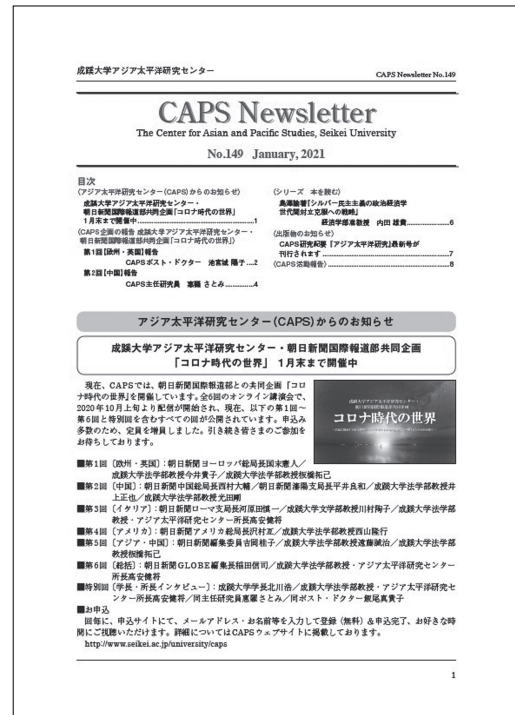
創刊号（1981年5月）



19号（1988年4月）



60号（1998年7月）



149号（2021年1月）

3 講演会等

3-1 講演会・シンポジウム一覧

1983. 11. 30 『オーストラリアの対日政策』 講演者: Alan Rix (グリフィス大学日本研究所所長, オーストラリア) 1985. 5. 8 “Japan/ASEAN and Indochinese Issues” 講演者: Kosump Saichan (チェンマイ大学講師, タイ) 1985. 6. 28 『今後のアジア太平洋における日・中・米の役割』 講演者: Ezra Vogel (ハーバード大学教授, 米国) 1987. 5. 14 『オーストラリアの対アジア・太平洋政策』 講演者: Nancy Viviani (グリフィス大学オーストラリア・アジア関係研究センター所長, オーストラリア) 1988. 5. 11 『タイ政治における軍の役割』 講演者: Somsak Keawkingkeo (チェンマイ大学社会科学部長, タイ) 1988. 11. 14 『韓国における日本関連の報道をめぐって』 講演者: 李相禧 (ソウル大学校教授、新聞研究所所長, 韓国) 1989. 5. 13 国際シンポジウム 『オーストラリア・インドネシア・日本—国際関係をめぐる諸問題—』 “Great and Powerless Friend: Japan and the Regional Security of Australia” 報告者: Humphrey McQueen (東京大学助教授) “Australia and Indonesia: Towards More Stable Relations?” 報告者: Colin Patric Metcalfe Brown (グリフィス大学オーストラリア・アジア関係研究センター所長, オーストラリア) 司会者: 皆川修吾 (南山大学教授) 討論者: 尾村敬二 (アジア経済研究所主任調査研究員) 小林泉 (日本ミクロネシア協会事務局長) 関根政美 (慶應義塾大学教授) 竹田いさみ (獨協大学助教授) 廣部和也 (成蹊大学教授) 松野明久 (大阪外国語大学講師) 1991. 3. 9 ワークショップ 『日本社会における外国人問題』 「日本社会における外国人問題」 問題提起: 加藤節 (成蹊大学教授、アジア太平洋研究センター所長)	「日本の外国人労働者—その実態と問題点」 報告者: 手塚和彰 (千葉大学教授) 「外国人労働者問題—国際的視点」 報告者: 武藤正敏 (外務省領事移住部外国人課長) 「外国人労働者の受け入れ制度と人権—ヨーロッパと日本を通して」 報告者: 宮島喬 (お茶の水女子大学教授) 司会者: 武藤恭彦 (成蹊大学教授) 討論者: 竹田いさみ (獨協大学助教授) 新屋重彦 (成蹊大学助教授) 桂木隆夫 (成蹊大学教授) 1992. 3. 24～25 CAPS設立10周年記念 国際コンファレンス 『アジアとヨーロッパにおけるデモクラシーの未来』 (3. 24) 「デモクラシー—過去と未来の間」 基調報告者: 加藤節 (成蹊大学教授) 〈ヨーロッパ・セッション〉 “Democracy: The Politics of Making, Defending and Exemplifying a Community: Europe 1992” 報告者: John Dunn (ケンブリッジ大学教授, 英国) “Democracy in Britain: Recent Paradoxes and Future Prospects” 報告者: Geoffrey Hawthorn (ケンブリッジ大学教授, 英国) 司会者: 田中治男 (成蹊大学教授) 討論者: 松本礼二 (早稲田大学教授) 下斗米伸夫 (法政大学教授) 〈アジア・セッションI〉 「中国政治文化の転生と中国民主主義の展望」 報告者: 宇野重昭 (成蹊大学教授) “Democratic Development in Thailand: Problems and Prospects” 報告者: Kramol Tongdhamachart (チュラロンコン大学教授, タイ) 司会者: 鈴木佑司 (法政大学教授) 討論者: 王滬濤 (復旦大学教授, 中国) 藤原帰一 (千葉大学助教授) (3. 25) 〈アジア・セッションII〉 “A Troubled Journey of Democracy in Korea” 報告者: Choi Sang Yong (高麗大学校教授、平和研究所所長, 韓国) 「安定と失速—過去と未来の間」 報告者: 佐々木毅 (東京大学教授) 司会者: 武藤恭彦 (成蹊大学教授) 討論者: 五十嵐武士 (東京大学教授) 入江昭 (ハーバード大学教授, 米国)
--	--

〈パネル・ディスカッション〉 司会者：加藤節（成蹊大学教授） 討論者：John Dunn（ケンブリッジ大学教授，英国） Geoffrey Hawthorn（ケンブリッジ大学教授，英国） 鈴木佑司（法政大学教授） Kramol Tongdhamachart（チュラロンコン大学教授，タイ） 王滬寧（復旦大学教授，中国） Choi Sang Yong（高麗大学校教授，平和研究所所長，韓国） 佐々木毅（東京大学教授） 入江昭（ハーバード大学教授，米国） 1994. 11. 29 『アジア太平洋地域の経済問題』 講演者：木下俊彦（日本輸出入銀行海外投資研究所所長） 1995. 11. 28 『アジア太平洋地域共同体とNGOの役割』 講演者：山本正（日本国際交流センター理事長） 1996. 6. 19 “Modernization and Individualism in the Twentieth Century: An American Historian's Perspective on the U.S. - Japan Debate” 講演者：Olivier Zunz（ヴァージニア大学教授，米国） 1997. 7. 1 『言語とトラウマ—ことばとのフェンシング』 講演者：Miryam Belle Sas（ハーバード大学助教授，米国） 1998. 4. 20 『タイの経済危機とその解決策』 講演者：Medhi Krongkaew（タマサート大学東アジア研究所所長，タイ） 1998. 7. 3 『江戸時代の貿易』 講演者：田代和生（慶應義塾大学教授） 1999. 3. 12～13 成蹊大学50周年記念 国際コンファレンス 『アジア太平洋地域の夢と葛藤』 (3. 12) 【国際コンファレンス第1部】 「アジア太平洋地域の経済摩擦」 〈セッション1：マクロ経済摩擦〉 “Regional Integration in the Asia-Pacific: Developments, Issues, and Challenges” 講演者：Chia Siow Yue（東南アジア研究所所長，シンガポール） 討論者：浦田秀次郎（早稲田大学教授） “Financial Crisis and Economic Friction among Asian and Pacific Region”	講演者：Sheng-Cheng Hu（アカデミア・シニカ経済研究所所長，台湾） Lii-tarn Chen（アカデミア・シニカ経済研究所所員，台湾） 討論者：武藤恭彦（成蹊大学教授） 司会者：浜田宏一（イエール大学教授，米国） 〈セッション2：ミクロ経済摩擦〉 “Specific and Sectoral Issues in the APEC Region: An Overview” 講演者：関口末夫（成蹊大学教授） 討論者：櫻井眞（三井海上基礎研究所所長） “Automobile Industrial Policy and WTO Agreements—China and Taiwan as a Case” 講演者：Cheng-Cherng Chen（国立台湾大学教授，台湾） 司会者：Chia Siow Yue（東南アジア研究所所長，シンガポール） 討論者：幸村千佳良（成蹊大学教授） 〈セッション3：国家と市場経済〉 “Economic Friction in Asia-Pacific Agricultural Trade: Roles of States and Markets” 講演者：Allan Rae（マッセイ大学教授，ニュージーランド） 討論者：本間正義（成蹊大学教授） “Resolving Economic Frictions: Role of Value Judgment and Relevance of ‘Asian Values’” 講演者：Lu Ding（シンガポール国立大学講師，シンガポール） 司会者：武藤恭彦（成蹊大学教授） 討論者：中嶋航一（帝塚山大学教授） (3. 13) 【国際コンファレンス第2部】 「アジア太平洋地域の紛争処理の法的枠組み」 〈セッション1：EU, APEC, およびWTOによる国際貿易の分野での紛争処理〉 “The EU as a Model of International Dispute Resolution: Integration through Flexibility” 講演者：Imelda Maher（ロンドン大学講師，英国） “How Realistic is the Possibility of the Asia Pacific Economic Cooperation (APEC) as a Preventative Framework of Trade Disputes?” 講演者：中村民雄（成蹊大学助教授） 司会者：松下満雄（成蹊大学教授，WTO上級審査委員） 討論者：岩沢雄司（東京大学教授） 〈セッション2：国境を越える環境紛争—石油と他の物質による汚染損害に着目して—〉 “Special Rules for Special Situations: Some Developments in Civil Liability in Maritime Law Over the Last Fifty Years” 講演者：Alfred Popp（カナダ政府海事法局長，カナダ） “Damages at Sea with an Analysis on Their Theoretical Background (A Fresh Look at the Thoughts and Rationale Behind the New Civil Liability System)” 講演者：Chai Lee-Sik（高麗大学校教授，韓国） 司会者：谷川久（成蹊大学名誉教授，国際海事機関法律委員会副委員長） 藤田友敬（東京大学助教授）
---	---

討論者：大須賀英郎（内閣官房内閣安全保障室・危機管理室内閣審議官） 〈セッション3：電気通信規制の国際的側面〉 “The Proceduralization of Telecommunications Law” 講演者：Colin David Scott（ロンドン大学講師，英国） “Info-Communications Policies and Practicalities for the 21st Century” 講演者：栗田純一（郵政省大臣官房人事部人材開発課課長） 司会者：塩野宏（成蹊大学教授） 安念潤司（成蹊大学教授） 討論者：安念潤司（成蹊大学教授） 〈セッション4：国際通商における法廷外紛争処理—国際調停の発展〉 “The Regularisation of International Commercial Arbitration: Comparative Trends and Tensions” 講演者：Toby Thomas Landau（エセックス・コート弁護士事務所弁護士，英国） “International Dispute Resolution: Law and Economics” 講演者：J. Mark Ramseyer（ハーバード大学ロースクール教授，米国） 司会者：長谷部由起子（学習院大学教授） 討論者：柏木昇（東京大学教授） 1999. 3. 14 成蹊大学50周年記念（武蔵野市共催） 国際シンポジウム 『アジア太平洋地域の夢と葛藤』 “Regional Integration through International Trades and Foreign Direct Investment” 講演者：Chia Siow Yue（東南アジア研究所所長，シンガポール） “Asian Economic Growth and Currency Crisis” 講演者：浜田宏一（イエール大学教授，米国） “Free Trade and the World Trade Organization (WTO)” 講演者：松下満雄（成蹊大学教授、WTO上級審査委員） 司会者：武藤恭彦（成蹊大学教授） 安念潤司（成蹊大学教授） 討論者：関口末夫（成蹊大学教授） Pan Wei（北京大学教授，中国） Sheng-Cheng Hu（アカデミア・シニカ経済研究所所長，台湾） J. Mark Ramseyer（ハーバード大学ロースクール教授，米国） 1999. 6. 28 『社会学的見地からの環境問題』 講演者：Riley E. Dunlap（ワシントン州立大学教授，米国） 1999. 10. 25 『核・ミサイル問題と米朝関係』 （連続講演会『北朝鮮問題』（以下省略）第1回） 講演者：Young C. Kim（ジョージ・ワシントン大学教授，米国）	1999. 10. 29 「北朝鮮経済の現状と展望」 （連続講演会第2回） 講演者：野副伸一（亜細亜大学教授） 1999. 11. 5 「日朝国交交渉と緊張緩和」 （連続講演会第3回） 講演者：和田春樹（東京大学名誉教授） 2000. 4. 14 「日本とドイツにおける損害賠償法の相違点と共通点」 講演者：Gerhard Ries（ミュンヘン大学教授，ドイツ） 2000. 6. 1 『薬害エイズについての日米仏三ヶ国比較』 講演者：Eric A. Feldman（ニューヨーク大学 Institute for Law and Society 副所長，米国） 2000. 12. 5 『アフリカにおけるナショナリズムとエスニシティ』 講演者：M. Crawford Young（ウイスコンシン大学教授，米国） 2001. 6. 1～2 CAPS主催 武蔵野市後援 成蹊フォーラム 『21世紀のアジアと女性』 (6. 1) <基調講演> 「グローバルゼーション、開発、ジェンダー」 講演者：伊藤るり（お茶の水女子大学教授） (6. 2) <国際シンポジウム> パネリスト： 伊藤るり（お茶の水女子大学教授） 張必和（梨花女子大学校韓国女性研究院院長、同大学校アジア女性研究センター所長，韓国） 劉伯紅（中華全国婦女連合会婦女研究所副所長，中国） Wei-hsin Yu（中央研究院社会学研究所研究員，台湾） Maria Cynthia Rose Banzon Bautista（フィリピン大学教授，フィリピン） Yulfita Raharjo（インドネシア科学院人口・人的資源研究センター上級研究員，インドネシア） Naline Tantuwanit（タマサート大学教授，タイ） 司会者：遠藤誠治（成蹊大学教授） 竹中千春（明治学院大学教授） 〈市民集会（記念講演・市民の発言）〉 「アジアと日本の女たち」 講演者：松井やより（アジア女性資料センター代表）
--	--

2002. 6. 11 「グローバル化と文明の衝突」 (連続講演会『グローバル化と日本の将来』(以下省略) 第1回) 講演者: 入江昭 (ハーバード大学教授, 米国) 2002. 7. 9 「グローバル化 挑戦する日本」 (連続講演会第2回) 講演者: Gerald L. Curtis (コロンビア大学教授, 米国) 2002. 10. 23 「日本的経営の現在と未来」 (連続講演会第3回) 講演者: Andrew Gordon (ハーバード大学教授, 米国) 2002. 11. 11 「ナショナリズムとアジアの未来」 (連続講演会第4回) 講演者: 姜尚中 (東京大学教授) 2003. 5. 29 「日本は何をなすべきか」 (連続講演会『北東アジアの平和を求めて』(以下省略) 第1回) 講演者: 重村智計 (拓殖大学教授) 2003. 6. 19 「韓国からみた半島の将来」 (連続講演会第2回) 講演者: 尹徳敏 (韓国外交安保研究院教授, 韓国) 2003. 10. 23 「前・駐日韓国大使からみた日朝問題」 (連続講演会第3回) 講演者: 崔相龍 (高麗大学校教授, 韓国) 2003.11.27 「韓国の『太陽政策』の評価」 (連続講演会第4回) 講演者: 朴権相 (暎園大学校席座教授, 韓国) 2004. 5. 11 「韓国政情と朝鮮半島問題」 (連続講演会『今年は選挙の年』(以下省略) 第1回) 講演者: Young Kim (ジョージワシントン大学名誉教授, 米国) 2004. 6. 10 「参議院選挙と政局」 (連続講演会第2回) 講演者: 岩見隆夫 (評論家) 2004. 11. 10 「米大統領選挙と平和の行方」 (連続講演会第3回) 講演者: Andrew DeWit (立教大学助教授)	2005. 5. 19 「軍事力は安全を保障するか」 (連続講演会『安心・安全を考える』(以下省略) 第1回) 講演者: 前田哲男 (東京国際大学教授) 2005. 6. 16 「中国は本当に脅威か」 (連続講演会第2回) 講演者: 上村幸治 (独協大学講師) 2005. 7. 14 「デジタル化でプライバシーはどうなる?」 (連続講演会第3回) 講演者: 櫻井よしこ (ジャーナリスト) 2007. 6. 16 国際シンポジウム 『日本のゆくえ—保守主義とは何か—』 「現代日本の保守政治」 報告者: Gerald L. Curtis (コロンビア大学教授, 米国) 「日韓から読む日本の政治」 報告者: 崔相龍 (高麗大学校教授, 韓国) 「『戦後型保守』から『新自由主義プラス新保守主義』へ」 報告者: 進藤兵 (都留文化大学教授) 「なぜ今、ナショナリズムか—中国から見た日本の保守主義」 報告者: 帰泳濤 (北京大学助教授, 中国) コメンテーター: Florian Coulmas (ドイツ日本研究所所長、デュースブルク大学教授, ドイツ) 2008. 6. 3 CAPS・法学部授業共催講演会 『チベット問題をめぐって』 講演者: 孫歌 (一橋大学客員教授、中国社会科学院文学研究所比較文学研究室研究員, 中国) 2008. 10. 31 シンポジウム 『中国、沖縄ドキュメンタリー／アートの可能性』 報告者: 呉文光 (インディペンデント・ドキュメンタリー作家, 中国) 仲里効 (批評家) 司会者: 池上善彦 (『現代思想』編集長) 2009. 6. 26 『アルナの子どもたち—パレスチナ難民キャンプでの生と死』 (連続映画上映会『アジア太平洋の世界』第1回) 講師: 田浪亜央江 (成蹊大学非常勤講師) 2010. 7. 16 『スラムドッグ\$ミリオネア』 (連続映画上映会『映画を通じて知るアジア太平洋の世界』第1回) 講師: 竹内敬子 (成蹊大学教授)
---	---

2010. 10. 16 ～ 2011. 1. 22 2010年度 成蹊学園創立100周年・CAPS設立30周年記念連続講演会 『人間の安全保障と北東アジア —サステイナブルな地域社会をめざして』 第1回目 (10. 16) 「韓国併合100年を迎えた日本と韓国—東アジアにおける脱植民地の課題」 講演者：徐勝（立命館大学教授） 第2回目 (12. 18) 「地球環境保全とアジア環境協力の課題」 講演者：寺西俊一（一橋大学大学院教授） 第3回目 (1. 22) 「再考・北東アジアの未来—移住・多様性・人間の安全保障」 講演者：Tessa Morris-Suzuki（オーストラリア国立大学教授，オーストラリア） 2011. 7. 9 ～ 2011. 11. 26 2011年度 成蹊学園創立100周年・CAPS設立30周年記念連続講演会 『人間の安全保障と東北アジア —サステイナブルな地域社会をめざして』 第1回目 (7. 9) 「反テロ戦争と原発事故—世界の繋がりの中の東北アジア」 講演者：板垣雄三（東京大学名誉教授） 第2回目 (10. 15) 「多文化社会と越境対話—文化シティズンシップの実践」 講演者：岩渕功一（早稲田大学教授） 第3回目 (11. 12) 「高齢化とグローバル経済の中の社会保障の行方」 講演者：駒村康平（慶應義塾大学教授） 第4回目 (11. 26) 「中国での環境問題解決への実践的アプローチと課題」 講演者：酒井裕司（工学院大学講師） 2011. 9. 24～25 成蹊学園創立100周年・CAPS設立30周年記念国際学術会議 『東アジアの歴史と思想』 (9.24) 〈第1セッション〉 「東アジアの近代とナショナリズム」 「南原繁のナショナリズム—留学と『ふるさと』、そしてアメリカと『日本』」 報告者：魯炳浩（韓国外国語大学校日本研究所研究員，韓国） 「日本ナショナリズムと東アジア」 報告者：米原謙（大阪大学教授） 「南原繁における『愛国的ナショナリズム』」 報告者：加藤節（成蹊大学特別任用教授）	コメンテーター： 金聖昊（延世大学校教授，韓国） 荊部直（東京大学教授） 司会者：金容敏（韓国外国語大学校教授，韓国） 〈第2セッション〉 「東アジアにおける中国」 「20世紀東アジアと『帝国』概念—日本と韓国を中心に」 報告者：李三星（翰林大学校教授，韓国） 「中国共産党と中国の政治的伝統」 報告者：潘維（北京大学国際関係学院教授，中国） 「グローバル・セルフ・ガバナンス—思想史の文脈における責任ある大国の実践の特色」 報告者：石之瑜（台湾大学教授，台湾） 「近代中国立憲政治観の性格」 報告者：李曉東（島根県立大学教授） コメンテーター： 張鉉根（龍仁大学校教授，韓国） 光田剛（成蹊大学教授） 司会者：金光旭（成蹊大学教授） (9. 25) 〈第1セッション〉「東アジアの伝統思想」 「中国における自然の法則と自然法」 報告者：李鐘殷（国民大学校教授，韓国） 「東アジアの国家における外来仏教と土着信仰、そして政治思想—高句麗を中心に」 報告者：羅禎源（江原大学校教授，韓国） 「近代国学—折口信夫を中心として」 報告者：石川公彌子（日本学術振興会特別研究員（RPD）） コメンテーター： 高熙卓（延世大学校教授，韓国） 平石直昭（帝京大学教授） 司会者：全敬玉（淑明女子大学校，韓国） 〈第2セッション〉 「政治思想における西欧と東アジア」 「文明衝突の政治と政治学：兪吉濬（1856～1914）の西洋政治学導入と韓国および東アジア文明の政治性問題」 報告者：梁承兌（梨花女子大学校教授，韓国） 「法家誕生の論理とその理解方法」 報告者：韓東育（東北師範大学教授，中国） 「『東洋のルソー』の政治思想—中江兆民再考」 報告者：宮村治雄（成蹊大学教授） コメンテーター： 吳守雄（韓国外国語大学校教授，韓国） 平石直昭（帝京大学教授） 司会者：李静和（成蹊大学教授） 2012. 3. 17～18 成蹊学園創立100周年・センター設立30周年記念国際シンポジウム 『人間の安全保障と東北アジア—デモクラシーとコミュニティの未来』 (3. 17) 〈第1日目〉「—デモクラシーの未来—」 基調講演：杉田敦（法政大学教授）
--	--

パネル討論者： 金子郁容（慶應義塾大学大学院教授） Brendan Mark Howe（梨花女子大学大学院准教授，韓国） 川村陶子（成蹊大学准教授） 司会者：遠藤誠治（成蹊大学教授） (3. 18) 〈第2日目〉「一コミュニティの未来—」 基調講演：広井良典（千葉大学教授） パネル討論者： 小林重敬（東京都市大学教授） Tessa Morris-Suzuki（オーストラリア国立大学教授，オーストラリア） 金王培（延世大学校教授，韓国） 沈潔（日本女子大学教授） 司会者：中神康博（成蹊大学教授） 2012. 4. 9 CAPS主催・社会科学国際交流江草基金後援 公開シンポジウム 『地域統合の過去・現在・未来—ヨーロッパとアジアの比較から見えてくるもの』 講演者：Boguslaw Drelich-Skulski（ヴロツワフ経済大学副学長・教授，ポーランド） Przemyslaw Skulski（ヴロツワフ経済大学准教授，ポーランド） 2012. 6. 19 CAPS協賛（成蹊大学法学会主催）講演会 『いま、東アジアを考える—日中韓協力のあり方』 講演者：崔相龍（高麗大学名誉教授，韓国） 2012. 6. 28～2013. 1. 28 連続講演会 『統合と分裂の力学から見るアメリカ—過去・現在・未来』 第1回（6. 28） 「アメリカ史における分裂と統合-南北戦争、民族集団・人種差別、ティーパーティー運動」 講演者：油井大三郎（東京女子大学教授） 第2回（7. 20） 「複数のアメリカ、見えないアメリカ—イメージ、人種主義、バラク・オバマ」 講演者：村田勝幸（北海道大学大学院准教授） 第3回（10. 25） 「環境人種差別の地理空間—原子力開発とアメリカ先住民」 講演者：石山徳子（明治大学教授） 第4回（12. 3） 「2012年大統領選挙の結果から見たアメリカ政治の現状」 講演者：久保文明（東京大学大学院教授） 第5回（3. 14） 「ジェンダー・ダイナミクスとアメリカ社会—政治と経済と高等教育」	講演者：野崎与志子（CAPS客員研究員） 2012. 9. 26 拡大研究会 『19世紀後半の日本に接近・上陸した台風の歴史』 講演者：Michael J. Grossman（招聘外国人研究員・南イリノイ大学助教授，米国） 2013. 4. 22 拡大研究会 『盗作防止—社会規範か公権力か』 講演者：崔曉倩（招聘外国人研究員・国立中正大学准教授，台湾） 2013. 6. 1 CAPS主催 法政大学日ロ関係研究所／大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター／シベリア抑留研究会／シベリア抑留者支援・記録センター後援 公開シンポジウム 『シベリア抑留の実態解明へ—求められる国際交流と官民協力』 講演者：Nurlan Dulatbekov（ボラシャク大学学長，カザフスタン） Elena Katasonova（モスクワ東洋学研究所上級研究員，ロシア） 呉正男（台湾出身・カザフスタン抑留体験者） 味方俊介（『カザフスタンにおける日本人抑留者』著者・カザフスタン留学経験者） 有光健（シベリア抑留者支援・記録センター） 司会者：富田武（成蹊大学教授） 2013. 6. 3～2014. 1. 20 連続講演会 『再考・アジアの戦争—私たちは何を学ぶべきか』 第1回（6. 3） 「現代における戦争とは何か—アジアの平和を考えるために」 講演者：愛甲雄一（CAPS主任研究員） 第2回（7. 2） 「ベトナム戦争と日本—アメリカ・沖縄・韓国」 講演者：遠藤聡（横浜市立大学非常勤講師） 第3回（10. 25） 「カシュミール紛争を考える—領土と国民主義のあいだ」 講演者：井上あえか（就実大学教授） 第4回（12. 13） 「南部フィリピン紛争—民族・宗教間の対立と共存」 講演者：川島緑（上智大学教授） 第5回（1. 20） 「朝鮮停戦協定とその後—東アジアへの影響を考える」 講演者：高 一（CAPS客員研究員）
--	--

2013. 6. 24 拡大研究会 “Life Cycle Analysis and Modeling (LCAM) of Jatropha as biofuel.” 講演者: Sinha Sangeeta (招聘外国人研究員・B. R.アンベードカル・ビハール大学准教授, インド) 2013. 9. 23 拡大研究会 “Rethinking Networks and Their Role in the Age of Regional Integration” 〈テーマ①〉 「Global Production Networks and Industrial Clusters in East and Southeast Asia: The Role in the Regional Integration」 講演者: Anna H. Jankowiak (招聘外国人研究員・Wroclaw University of Economics, Associate Professor, ポーランド) 〈テーマ②〉 「Network Goods and Markets」 講演者: Szymon Mazurek (招聘外国人研究員・Wroclaw University of Economics, Associate Professor, ポーランド) 2013. 10. 12 拡大研究会 “Beyond the Rhetoric of Attraction: Visions of ‘Japanese Culture’ in Poland and England (1860-1930)” 講演者: Kamilla Pawlikowska (成蹊大学客員研究員) 2013. 12. 7 拡大研究会 『国は許すことができるか?—日本・韓国・中国の過去の記憶と未来の挑戦』 講演者: Thomas W. Burkman (ニューヨーク州立バッファロー校名誉教授, 米国) 2014. 4. 21 拡大研究会 “The Convertibility of the Renminbi and China's growth prospects” 講演者: Andrea Fracasso (招聘外国人研究員・トレント大学准教授, イタリア) 2014. 6. 18 公開講演会 『3・11から未来を創造する—文明の転換期にある日本と世界—』 講演者: 池内了 (宇宙物理学者・名古屋大学名誉教授) 2014. 7. 13 CAPS／科学研究費基盤研究 (C) 主催 「問いかけながら道をゆく」展実行委員会後援 セミクロズドワークショップ 『琴仙姫さんを囲んで—女性の表現と政治アジア、そして記憶するたましい』 パフォーマー: 琴仙姫 (アーティスト・映像作家)	2014. 7. 31 特別セミナー 「アジア系アメリカ人をめぐる教育言説: 『タイガー・マザー』を中心に」 講演者: 井口博充 (CAPS 客員研究員) 2014. 10. 1 特別講演会 「マーティン・ヒル『分水嶺』」 講演者: Martin Hill (環境アーティスト) 2014. 10. 18 特別講演会 『パレスチナ難民のオーラルヒストリーを聴く—ムハンマド・ハッシャーン氏を迎えて』 講演者: Muhammad Khashan 2014. 10. 19 CAPS主催・マハラジャーン2014実行委員会協力 シンポジウム 『越境・表現・アイデンティティーアラブ文学との対話 ラウイ・ハージ、モナ・プリンス、サミュエル・シモン氏を迎えて』 講演者: Rawi Hage (作家・写真家) Mona Prince (スエズ大学准教授, エジプト) Samuel Simon (『Banipal出版局』共同代表・編集者) 2014. 11. 5 拡大研究会 “Prospect of the Chinese leadership in the Asian region - Business and institutional implications-An European perspective” 講演者: Sebastian Bobowski (招聘外国人研究員・ヴロツワフ経済大学准教授, ポーランド) Karolina Lopacinska (招聘外国人研究員・ヴロツワフ経済大学講師, ポーランド) 2015. 2. 22 CAPS主催・思想史研究会後援 ワークショップ 『アジアの思想を読む—中江兆民を中心に—』 講演者: 井田進也 (大妻女子大学名誉教授) 宮村治雄 (成蹊大学教授) 2015. 7. 10 公開講演会 『共生とアイデンティティの思想』 講演者: 花崎皋平 (哲学者) 2015. 7. 11 ワークショップ 『共生をめぐる—活動と反省—』 パネラー: 花崎皋平、弓野恵子、孫和代 司会者: 鶴飼哲 (一橋大学教授)
--	--

2015. 7. 12 ワークショップ 『浪曲からパンソリへ、パンソリから浪曲へ』 パネラー： 玉川奈々福、安聖民、澤村豊子、趙倫子、姜信子 2015. 8. 8 ワークショップ 『シベリア抑留を考える』 パネラー： Andreas Hilger (マールブルク大学, ドイツ) 富田武 (成蹊大学教授) 山本顕一 (立教大学名誉教授)、渡辺祥子 司会者：麻田雅文 (岩手大学) 2015. 9. 24 拡大研究会 『21世紀の交通マネージメント：国際比較の観点から』 報告者：Dietmar Leithner (招聘外国人研究員・オーバー スターライヒ工科大学特任研究員, オーストリア) 2015. 10. 27 拡大研究会 “Real wage effects of monetary policy in Japan” 報告者：Sophia Anastasia Latsos (招聘外国人研究員・ 欧州中央銀行ライプツィヒ大学研究員, ドイツ) 2015. 11. 8 『火山島』復刊記念シンポジウム実行委員会主催・岩波書 店共催・CAPS後援 復刊記念シンポジウム 「戦後日本語文学と金石範『火山島』」 パネラー： 野崎六助 (作家、評論家)、高澤秀次 (評論家) 佐藤泉 (青山学院大学)、呉世宗 (琉球大学) 司会者：鶴飼哲 (一橋大学教授) 2015. 12. 5～6 ワークショップ 『沖縄を生きる思想—岡本恵徳を想う』 報告者：神子島健 (成城大学非常勤講師) 我部聖 (沖縄大学)、新城郁夫 (琉球大学) 村上克尚 (津田塾大学他非常勤講師) 東琢磨 (批評家)、丸川哲史 (明治大学) 若林千代 (沖縄大学)、安部小涼 (琉球大学) 大野光明 (大阪大学)、岡本由希子 (編集者) 仲里効 (映像評論家) 田仲康博 (国際基督教大学)、呉世宗 (琉球大学) 2016. 2. 22 ワークショップ 『傷・身体・反暴力の政治思想 岡野八代の著作をめぐる』 講演者：岡野八代 (同志社大学) 五野井郁夫 (高千穂大学) 趙慶喜 (聖公会大学東アジア研究所, 韓国) 林みどり (立教大学)、三浦まり (上智大学)	2016. 2. 27 ワークショップ 『東アジア映画における「アメリカの影」—不／可視の文化 ヘゲモニーを探る—』 講演者：寥咸浩 (国立台湾大学, 台湾) 南相旭 (仁川大学, 韓国) 大田信義 (東京学芸大学) 鈴木英明 (昭和薬科大学) David Humphrey (ミドルベリー大学, 英国) 司会者：遠藤不比人 (成蹊大学) ディスカッサント： 谷川建司 (早稲田大学)、日比野啓 (成蹊大学) 2016. 2. 28 ワークショップ 『東マレーシア・キナバル山の麓からパンクロック・スウラッ プを迎えて』 アーティストトーク： Rizo Leong (Pangrok Sulap, マレーシア) ディスカッサント： 細谷修平 (美術・メディア研究、映像作家) 司会者：徳永理彩 (大学講師、東南アジア人権運動、文化 研究) 2016. 3. 2 拡大研究会 “The economic impact of immigration : the case of Italy” 講演者：Ivan Etzo (招聘外国人研究員・カリアリ大学, イ タリア) 2016. 3. 5 書評会 「村上陽子著『出来事の残響 原爆文学と沖縄文学』に触 れながら」 講演者：小野百合子 (関東学院大学非常勤講師) 崎浜慎 (作家)、土井智義 (沖縄大学非常勤講師) 持木良太 (大阪府立大学院生) 松田潤 (一橋大学大学院生) 2016. 4. 27 拡大研究会 『中国の言語・文字の多様性について』 講 師：黄 行 (招聘外国人研究員・中国社会科学院民族 学と人類学研究所, 中国) 2016. 6. 11 CAPS／ピープルズ・プラン研究所共催 刊行記念シンポジウム 『戦後レジームと憲法平和主義』 パネリスト： 李泳采 (恵泉女学園大学) 大井赤亥 (日本学術振興会特別研究員) 加納実紀代 (女性史研究)、新城郁夫 (琉球大学) 武藤一羊 (『戦後レジームと憲法平和主義 (帝国継 承) の柱に斧を』著者) 天野恵一／花崎皋平 (ピープルズ・プラン研究所)
--	--

司会者：松井隆志（武蔵大学）、田浪亜央江（CAPS主任 研究員） 2016. 7. 23 特別セミナー 「趙貴花著『移動する人びとの教育と言語 中国朝鮮族に 関するエスノグラフィー』をめぐって」 講演者：山脇千賀子（文教大学教授） 加藤恵美（早稲田大学非常勤講師） 応 答：趙貴花（CAPS客員研究員） 2016. 7. 30 シンポジウム 「白永瑞著『共生への道と核心現場 実践課題としての東 アジア』」 講演者：白永瑞（韓国延世大学，韓国） 孫歌（中国社会科学院，中国） 金杭（韓国延世大学，韓国） 池上善彦（前『現代思想』編集長、亜細書院） 中嶋久人（千葉大学） 中島隆博（東京大学東洋文化研究所） 趙慶喜（聖公会大学東アジア研究所，韓国） 2016. 12. 3～4 国際ワークショップ 『アラブ文学との対話Ⅱ 記憶・声・土地 交差するアートの ワーク』 ゲスト：Jana El Hassan（作家） Seloua Luste Boulbina（国際哲学コレージュ・ディ レクター／パリ・デイドロ大学研究指導教授，フラ ンス） 崎山多美（作家）、ぱくきょんみ（詩人） 山城知佳子（映像作家）、砂川敦志（映画監督） コメンテーター： 池田忍、鶴飼哲（一橋大学）、佐藤泉 中井亜佐子、山本薫（アラブ文学） 若林千代（沖縄現代史） 2017. 2. 28 書評会 『イスラームと文化財』 講演者：野口敦（NPO南アジア文化遺産センター、東京大 学総合研究博物館） 安倍雅史（東京文化財研究所） 魚津知克（大手前大学史学研究所） 田中英資（福岡女学院大学）、有富純也（成蹊大学） 佐々木紳（成蹊大学） 2017. 3. 11 シンポジウム 『カタストロフィと詩—吉増剛造の「仕事」から出発して』 ゲスト：吉松剛造（詩人）、八角聡仁（近畿大学） 鶴飼哲（一橋大学）、柿木伸之（広島市立大学） 倉石信乃（明治大学）、郷原佳以（東京大学） 関口涼子（作家・翻訳家）	2017. 7. 24 拡大研究会 『モンゴルにおける企業買収の法的問題—比較研究の観点 から』 講 師：Batbayar Sarangerel（招聘外国人研究員・モンゴ ル国立大学講師・弁護士，モンゴル） 2017. 8. 1 拡大研究会 『中国の外国語政策及び外国語教育』 講演者：趙蓉暉（招聘外国人研究員・上海外国語大学言 語研究員院長〈教授〉，中国） 司会者：李林静（成蹊大学教授） 2017. 11. 25 CAPS／成蹊大学東京オリパラプロジェクト共同主催 武蔵野市／武蔵野市オリパラプロジェクト後援 公開シンポジウム 『スポーツと国際貢献を考える—「競うこと」と「つながること」 の先へ』 講演者：菊幸一（筑波大学教授） 宮嶋泰子（テレビ朝日スポーツコメンテーター・国 連UNHCR協会理事） 田知本遥（リオデジャネイロ五輪女子柔道70kg級 金メダリスト・ALSOK） 河原工（日本スポーツ振興センター Sports for Tomorrow コンソーシアム事務局ディレクター） 小林勉（中央大学教授） 2018. 1. 20 公開講演会 『7年目の福島 いま、私たちが考えなければならないこと』 講演者：清水修二（福島大学名誉教授） 2018. 1. 27 CAPS主催 駐日韓国大使館韓国文化院／公益財団法人日本民藝館後 援 公開シンポジウム 『日本の中の朝鮮文化、再発見』 講演者：金現煥（駐日韓国大使館韓国文化院院長，韓国） 井上満郎（京都市歴史資料館館長・高麗美術館館 長） 金政起（韓国外国語大学名誉教授，韓国） 藤本巧（写真家） 杉山享司（日本民藝館学芸部長） コメンテーター： 有富純也（成蹊大学准教授）、奥野昌宏（成蹊大 学名誉教授） 司会者：中江桂子（成蹊大学教授） 2018. 2. 22 公開ワークショップ 『新興国ベトナム 変わる日本～拡大する若者の越境的移 動～』 講演者：石塚二葉（アジア経済研究所新領域研究センター・ ガバナンス研究グループグループ長代理） 伊藤未帆（神田外語大学専任講師）
---	---

惠羅さとみ (CAPS主任研究員) 佐藤由利子 (東京工業大学准教授) 平澤文美 (一橋大学大学院・日本学術振興会特別研究員) 司会者: 中江桂子 (成蹊大学教授) 2018. 1. 23 拡大研究会 『現代家族法「その起源、歴史、現代における特徴を踏まえた法体系化の試論」』 講演者: BALDANDORJ Urangoo (招聘外国人研究員・モンゴル国立大学講師, モンゴル) 討論者: 山本哲史 (名古屋大学大学院特任講師) 2018. 6. 21 拡大研究会 『Navigating Law Politics and Informality: A Study of the Supreme Court of the Philippines, 1986-2015 ～東南アジアの憲法政治 司法制度の役割の再認識～』 講演者: Björn Dressel (招聘外国人研究員・オーストラリア国立大学准教授, オーストラリア) 井上智夫 (成蹊大学教授) 討論者: 島田弦 (名古屋大学大学院教授) 2018. 6. 23 公開シンポジウム 『化学兵器とアジア—現在進行形の加害と被害を考える』 講演者: 渡邊知行 (成蹊大学教授) 菅本麻衣子 (弁護士・NPO 日中未来平和基金理事) 大谷猛夫 (大東文化大学非常勤講師) 北宏一朗 (現代史研究家) 原田和明 (北九州市立大学職員) コメンテーター: 林公則 (明治学院大学准教授) 2018. 7. 5 拡大研究会 『Defining Policy Options for Japan's Indo-Pacific Strategy in the Western Indian Ocean and Eastern Africa ～西インド洋および東アフリカにおける日本のインド太平洋戦略に関する政策選択肢の定義～』 講演者: Brendon Cannon (招聘外国人研究員・ハリファ大学助教授, UAE) 討論者: Renato Cruz De Castro (防衛研究所, フィリピン) 2018. 9. 27 書評会 「池宮城陽子著『沖縄米軍基地と日米安保—基地固定化の起源1945-1953』」 登壇者: 佐々木卓也 (立教大学教授) 井上正也 (成蹊大学教授) 池宮城陽子 (CAPSポスト・ドクター) 司会者: 高安健将 (成蹊大学教授) 2018. 10. 6 公開シンポジウム 『ポスト冷戦と平成デモクラシーの日本政治』	登壇者: 清水真人 (日本経済新聞編集委員) 宮城大蔵 (上智大学教授) 高安健将 (成蹊大学教授) 2018. 11. 2 ラテンアメリカ音楽レクチャー・コンサート 『オマール・アコスタ・デュオ フルートが奏でるラテンの調べ』 出演者: フルート: Omar Acosta ギター: Sergio Menén レクチャー: 石橋純 (東京大学教授・成蹊大学非常勤講師) 2018. 11. 30 拡大研究会 『Cyberpunk Tokyo Revisited: The Transpacific Imaginings of Science Fiction サイバーパンクの東京再訪—科学小説の環太平洋的想像力』 講演者: 巽孝之 (慶応義塾大学教授) Bryan White (シカゴ大学大学院生, 米国) Dougal McNeill (招聘外国人研究員・ヴィクトリア大学ウェリントン上級講師, ニュージーランド) 2018. 12. 22 CAPS／移民・ディアスポラ研究会共催公開シンポジウム 『人口減少時代と外国人労働者—日本の産業・労働政策と社会的公正の未来を考える』 講演者: 津崎克彦 (四天王寺大学講師) 坂本信博 (西日本新聞社「新 移民時代」取材班代表) 佐々木貴文 (鹿児島大学准教授) 山口恵子 (東京学芸大学准教授) 惠羅さとみ (CAPS主任研究員) コメンテーター: 是川夕 (国立社会保障・人口問題研究所国際関係部第2室長) 司会・総評: 駒井洋 (筑波大学名誉教授) 2019. 7. 13～14 CAPS主催公募企画・国際会議 “An International Conference on the Aesthetic Mechanisms of Ocean Representations in British, American, and Asian Contexts” 企画責任者: 遠藤不比人 (成蹊大学教授) 講演者: Mary Fuller (マサチューセッツ工科大学教授, 米国) Emma Teng (マサチューセッツ工科大学教授, 米国) Lawrence Williams (上智大学准教授) 遠藤不比人 (成蹊大学教授) Dougal McNeill (ヴィクトリア大学 ウェリントン上級講師, ニュージーランド) 巽孝之 (慶応義塾大学教授) 下河辺美知子 (成蹊大学名誉教授) Alex Watson (明治大学准教授) 原田範行 (慶応義塾大学教授)
--	--

Steve Clark (東京大学客員教授) 守重真雄 (慶応義塾大学教授) 越智博美 (一橋大学教授) Fabien Arribert-Narce (エディンバラ大学講師, 英国) ※ 登壇順 2019. 7. 27 成蹊大学政治学研究会主催・CAPS 後援 政治学研究会 「李曉東『現代中国の省察』を読む—自署を語る」 講演者: 李曉東 (島根県立大学教授・北東アジア地域研究センター長) 司会者: 平石耕 (成蹊大学教授) 2019. 8. 28 ~ 30 日韓フランス革命研究会・日仏歴史学会・CAPS 共催 国際シンポジウム 『アジアから見たフランス革命: 日本と韓国におけるフランス革命研究の現状』 企画責任者: 松浦義弘 (成蹊大学特別任用教授) 講演者: 松浦義弘 (成蹊大学特別任用教授) CHOI Kab Soo (ソウル大学教授, 韓国) 山下雄大 (東京大学大学院生) Minchul Kim (梨花女子大学講師, 韓国) 竹中幸史 (山口大学教授) Yun Kyoung Kwon (公州大学助教授, 韓国) Jungki Min (ソウル大学大学院生, 韓国) 楠田悠貴 (東京大学大学院生) Daebo Kim (ソウル私立大学非常勤講師, 韓国) 藤原翔太 (福岡女子大学専任講師) ※ 登壇順 司会者: 山崎耕一 (元一橋大学教授) 平正人 (文教大学准教授) 小井高志 (立教大学名誉教授) Baik Inho (西江大学教授, 韓国) 松浦義弘 (成蹊大学特別任用教授) コメンテーター: Pierre Serna (パリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学教授, フランス) Alan Forrest (ヨーク大学名誉教授, 英国) 2019. 11. 14 CAPS 後援 日英シンポジウム 『Understanding Prime Ministerial Leadership in Japan and the UK Tokyo Workshop』 企画責任者:	高安健将 (成蹊大学教授) 基調講演: 福田康夫 (元首相) 登壇者: Hugo Dobson (シェフィールド大学, 英国) Matt Flinders (シェフィールド大学, 英国) Caroline Rose (リーズ大学, 英国) 信田智人 (国際大学) 高安健将 (成蹊大学教授) 内山融 (東京大学) 2020. 10. 3 ~ 2021. 1. 31 CAPS主催・朝日新聞社後援 オンライン講演会 『コロナ時代の世界』(オンデマンド配信・全6回+特別回) 第1回【欧州・英国】 出演者: 国末憲人 (朝日新聞ヨーロッパ総局長) 今井貴子 (成蹊大学教授) 板橋拓己 (成蹊大学教授) 第2回【中国】 出演者: 西村大輔 (朝日新聞中国総局長) 平井良和 (朝日新聞瀋陽支局長) 井上正也 (成蹊大学教授)、光田剛 (成蹊大学教授) 第3回【イタリア】 出演者: 河原田慎一 (朝日新聞ローマ支局長) 川村陶子 (成蹊大学教授) 高安健将 (成蹊大学教授) 第4回【アメリカ合衆国】 出演者: 沢村互 (朝日新聞アメリカ総局長) 西山隆行 (成蹊大学教授) 第5回【アジア・中国】 出演者: 古岡桂子 (朝日新聞編集委員) 遠藤誠治 (成蹊大学教授) 板橋拓己 (成蹊大学教授) 第6回【総括】 出演者: 稲田信司 (朝日新聞GLOBE編集長) 高安健将 (成蹊大学教授) 特別回【学長・所長インタビュー】 出演者: 北川浩 (成蹊大学学長) 高安健将 (成蹊大学教授) 進 行: 恵羅さとみ (CAPS主任研究員) 飯尾真貴子 (CAPSポスト・ドクター) 2020. 12. 19 オンライン講演会 『ポピュリズムを考える』(ライブ配信+期間限定 [12.19 ~ 25] オンデマンド配信) 出演者: 板橋拓己 (成蹊大学教授) 司会者: 高安健将 (成蹊大学教授)
---	---

※参加者の所属・役職は開催日現在のものです。

1981年～2011年度においては、参加者が100名を超える講演会および記念行事としての講演会・シンポジウムのみを掲載しています。2012年度以降は、映画上映会を除く主要な講演会やシンポジウムを掲載しています。

3-2 上映映画一覧

年度	年月日	イベント名	映画タイトル	講演者・司会者(所属)
2008	2008.10.28	中国、沖縄ドキュメンタリー／アートの可能性	『四海我家』	
	2008.10.29	中国、沖縄ドキュメンタリー／アートの可能性	『私の紅衛兵時代』	
	2008.10.30 ～31	中国、沖縄ドキュメンタリー／アートの可能性	『四海我家』(講演は31日)	講演：呉文光(監督)・仲里効(批評家) 司会：池上善彦(『現代思想』編集長)
2009	アジア太平洋の世界—スクリーンの中の出会い—			
	2009.6.26	[第1回]	『アルナの子どもたち—パレスチナ難民キャンプでの生と死』	講演：田浪 亜央江(成蹊大学非常勤講師)
	2009.7.16	[第2回]	『100人の子どもたちが列車を待っている』	講演：細谷広美(成蹊大学教授)
	2009.10.1	[第3回]	『ザ・カップ—夢のアンテナ』	講演：中上淳貴(東京大学大学院)
	2009.11.2	[第4回]	『未来を写した子供たち』	講演：井上貴子(大東文化大学教授)
	2009.12.1	[第5回]	『夏至』	講演：ヌイエン・チー・レフォン(在日ベトナム人)
2010	2010.6.19	[第1回] 映像の可能性—文化を記録するとは何か? 「女が男を守る島—沖縄・久高島の映像記録44年—」	『イザイホー 1966』 『女が男を守る島—沖縄久高島』	講演：北村皆雄(ビジュアルフォークロア代表)
	2010.10.23	[第2回] 映像の可能性—文化を記録するとは何か? 「共生の技法としての映像制作—カメルーンの「森の民」とともに—」	『Wo a bele- もりのなか』 『Jengi』	講演：分藤大翼(信州大学准教授)
	2010.12.4	[第3回] 映像の可能性—文化を記録するとは何か? 「築地市場—驚きの職人技と人間模様」	『築地市場大百科』	講演：弘理子(映像ディレクター)
	映画を通じて知るアジア太平洋の世界(2010年度)			
	2010.7.16	[第1回]	『スラムドッグ\$ミリオネア』	講演：竹内敬子(成蹊大学教授)
	2010.10.25	[第2回]	『トンマッコールへようこそ』	講演：高一(CAPS特任研究員)
	2010.12.17	[第3回]	『初恋のきた道』	講演：光田剛(成蹊大学教授)
	映画を通じて知るアジア太平洋の世界(2011年度)			
2011	2011.7.14	[第1回]	『子供の情景』	
	2011.11.2	[第2回]	『牛の鈴音』	
	2012.1.27	[第3回]	『嗚呼 満蒙開拓団』	
2012	映画を通じて知るアジア太平洋の世界(2012年度)			
	2012.6.7	[第1回]	『ブンミおじさんの森』	
	2012.7.5	[第2回]	『地球にやさしい生活』	
	2012.10.17	[第3回]	『ベルシャ猫を誰も知らない』	
	2012.11.7	[第4回]	『明りを灯す人』	
	2012.12.13	[第5回]	『誰も知らない基地のこと—Standing Army』	

年度	年月日	イベント名	映画タイトル	講演者・司会者（所属）
2013	映像を通じて知るアジア太平洋の世界（2013年度）			
	2013.5.21	[第1回]	『オレンジと太陽』	
	2013.6.17	[第2回]	『ムサン日記～白い犬』	
	2013.7.27	[第3回]	『私はシベリヤの捕虜だった』	
	2013.10.5	[第4回]	『～放射能を浴びた～X年後』	
	2014.1.15	[第5回]	『別離』	
2014	連続ドキュメンタリー映画上映会（2014～2015年度）			
	2014.6.30	[第1回]	『自由と壁とヒップホップ ～SLINGSHOT HIP HOP～』	
	2014.7.19	[第2回]	『長江に生きる ～乗愛（ビンアイ）の物語～』	講演：馮艶（監督）
	2015.1.15	[第3回]	『外泊』	トーク：キム・ミレ（監督）
2015	2015.5.21	[第4回]	『ガザに生きる』	トーク：土井敏郎（監督）
	2015.12.4	[第5回]	『日本と原発』	トーク：木村結（『日本と原発』制作協力者）
	2016.2.17	[第6回]	『ラダック それぞれの物語』 『ギフト』	トーク：奥間勝也（監督） ゲスト：岡田有美子（キュレーター、元前島アートセンター事務局）
2017	2017.6.24		『日本と原発 4年後』	ゲスト：青木聡子（名古屋大学大学院准教授） 高田昭彦（成蹊大学名誉教授）
	2017.6.27		『日本と原発 4年後』	
	2017.7.1		『日本と再生 光と風のギガワット作戦』	ゲスト：壽福真美（法政大学名誉教授）
	2017.7.6		『日本と再生 光と風のギガワット作戦』	
	2017.10.31	戦争考えるシリーズ第1回	『記憶の中のシベリア』（2回上映）	ゲスト：久保田桂子（監督） 富田武氏（成蹊大学名誉教授）
	2017.11.6	戦争考えるシリーズ第2回	『沖縄 うりずんの雨』（2回上映）	解説：遠藤誠治（成蹊大学教授）
2018	2018.5.26	ドキュメンタリー映画連続上映会 沖縄の戦後に向き合うシリーズ第1回（2018年度）	『米軍（アメリカ）が最も恐れた男 その名はカメジロー』	解説：池宮城陽子（CAPSポスト・ドクター）
	2018.5.31	ドキュメンタリー映画連続上映会 沖縄の戦後に向き合うシリーズ第2回（2018年度）	『17才の別れ』	ゲスト：齊木貴郎（監督）
	2018.12.4 〈学生対象〉	ドキュメンタリー連続上映会 ～グローバルに連鎖する労働とアジアシリーズ～	『ザ・トゥルー・コスト ファストファッション 真の代償』	
	2018.12.6 〈学生対象〉	ドキュメンタリー連続上映会 ～グローバルに連鎖する労働とアジアシリーズ～	『危路工団』	
	2018.12.15	ドキュメンタリー連続上映会 ～グローバルに連鎖する労働とアジアシリーズ～	『ザ・トゥルー・コスト ファストファッション 真の代償』 『危路工団』	ゲスト：伊藤和子（弁護士、国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ事務局長）

年度	年月日	イベント名	映画タイトル	講演者・司会者（所属）
2018	2019.3.8	【CAPS CINEMA】 ドキュメンタリー連続映画上映会 ～グローバルに連鎖する労働とアジアシリーズ～	『ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション 真の代償～』 <アンコール上映>	
	2019.3.15	【CAPS CINEMA】 ドキュメンタリー連続映画上映会 ～グローバルに連鎖する労働とアジアシリーズ～	『ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション 真の代償～』 <Movie on the Planet 2019（情報図書館とのコラボレーション企画）> 於図書館4階プラネット （終日リピート上映）	
2019	2019.5.25	【CAPS CINEMA】 グローバルゼーションのなかの地域共生	『幸せの経済学』	講演：浅羽隆史（成蹊大学教授・地域共生社会研究所所員）
	2019.9.28	【CAPS CINEMA】 連続映画上映&監督トーク 辺野古の日常から知る沖縄第1回	『辺野古抄』	講演：八島輝京（監督） 池宮城陽子（CAPSポスト・ドクター）
	2019.10.4	【CAPS CINEMA】 連続映画上映&監督トーク 辺野古の日常から知る沖縄第2回	『辺野古抄』 『ZAN～ジュゴンが姿を見せるとき～』	講演：八島輝京（監督） 司会：池宮城陽子（CAPSポスト・ドクター）
	2019.11.9	【CAPS CINEMA】 映画上映&ゲストトーク アスベスト被害から産業社会を問い直す	『ニッポン国 VS 泉南石綿村』	講演：原 一男（監督） 村松昭夫（弁護士、大阪・泉南アスベスト弁護団副団長） 司会・進行： 渡邊知行（成蹊大学教授）
	2019.12.11	【CAPS CINEMA】 映画上映、トークとミニライブ ルートの民族誌：アンデスと秩父をつなぐ旅と音	『アヤクーチョの唄と秩父の山』	トーク： ホンマタカシ（監督・写真家） Irma Osno（主演・ミュージシャン・文学部非常勤講師） 細谷広美（司会・成蹊大学教授） ライブ： Irma Osno（唄） 高岡大祐（チューバ） 池宮ユンタ（パーカッション） 森川拓哉（バイオリン）
2020	2020.6.1～ 2021.3.31	【CAPS CINEMA】 オンライン映画上映会	『タシちゃんと僧侶』 『第4の革命—エネルギー・デモクラシー』 『台北カフェ・ストーリー』 『happy—しあわせを探すあなたへ』 『バレンタイン—掬』 『ヴィック・ムニーズ／ごみアートの奇跡』 『バベルの学校』『ダムネーション』 『それでも僕は帰る～シリア 若者たちが求め続けたふるさと～』 『ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション 真の代償～』 『七転び八起き- アメリカへ渡った戦争花嫁物語』 『ボバティー・インク～あなたの寄付の不都合な真実～』 『0円キッチン』 『ワンダーランド北朝鮮』 『ナディアの誓い—On Her Shoulders』 『アレppo 最後の男たち』 『おクジラさま ふたつの正義の物語』	

※ 上映情報が確認できた映画について記載しています。

4 招聘外国人研究員一覧

(設立当初から協定校同士の交流で招聘研究者を多く受け入れてきましたが、1990年度より本学の専任教員の推薦によりCAPSが直接外国人研究者を招聘する制度が作られました。)

来日年度	氏名	所属(国名)	受入期間	受入者		No.
1990	馮 禹 (Feng Yu)	中国人民大学(中華人民共和国)	1991/1/25 ~ 3/6	宇野重昭	法学部	1
	Mike Wright	University of Nottingham(英国)	取りやめ	村松司叙	経済学部	
	Han Tae Hyok	国民経済大学(朝鮮民主主義人民共和国)	取りやめ	広野良吉	経済学部	
1991	John Riew	Pennsylvania State University(アメリカ合衆国)	1991/5/21 ~ 7/10	幸村千佳良	経済学部	2
	倪正茂 (Ni Zheng Mao)	上海社会科学院法学研究所(中華人民共和国)	1991/11/1 ~ 12/31	紋谷暢男	法学部	3
	馬成三 (Ma Cheng San)	中国对外経済貿易部国際貿易研究所(中華人民共和国)	1991/5/31 ~ 9/30	関口末夫	経済学部	4
1992	范劍平 (Fan Jian Ping)	中国人民大学(中華人民共和国)	1992/5/21 ~ 7/19	宇野重昭	法学部	5
	石井のぶ子	University of Edinburgh(英国)	1992/12/17 ~ 1993/1/6	加藤節	法学部	6
	鶴田欣也	University of British Columbia(カナダ)	1992/11/23 ~ 1993/1/10	羽鳥一英	文学部	7
1993	劉明華 (Lui Ming Hua)	中国人民大学(中華人民共和国)	1993/5/26 ~ 7/14	内川芳美	文学部	8
	李建勲 (Kin Fun LI)	University of Victoria(カナダ)	1993/7/3 ~ 7/31	飯塚肇	工学部	9
	Nikolay A. Samoylov	St. Petersburg State University(ロシア連邦)	1993/10/1 ~ 11/9	宇野重昭	法学部	10
	Olivia Sevin	Sorbonne University(フランス共和国)	1993/11/16 ~ 12/20	磯部啓三	経済学部	11
1994	Jaleel Ahmad	Concordia University(カナダ)	1994/4/22 ~ 5/22	幸村千佳良	経済学部	12
	Kim Won Bae	East-West Center, Hawaii(アメリカ合衆国)	1994/6/1 ~ 6/13	長岡貞男	経済学部	13
	Martin Abba Tanner	University of Rochester(アメリカ合衆国)	1994/7/11 ~ 7/25	岩崎学	工学部	14
	Sanjay Yadav	Indian Institute of Technology(インド)	1994/10/1 ~ 10/31	亀嶋庸一	法学部	15
	Jean Cholley	Lyon University(フランス共和国)	1995/10/1 ~ 10/31	浅見和彦	文学部	16
1995	George Meerovich	Gromov Flight Research Institute(ロシア連邦)	1995/6/19 ~ 7/20	中西俊夫	工学部	17
	Marianne Krüll	Universitat Bonn(ドイツ)	1995/9/1 ~ 10/5	三浦國泰	文学部	18
1996	Jagan Nath Shrestha	Tribhuvan Univeresity(ネパール連邦民主共和国)	1996/5/27 ~ 7/25	小島紀徳	工学部	19
	Marianne Bastid-Bruguierè	National Center for Scientific Research(フランス共和国)	1996/9/26 ~ 10/30	村嶋英治	文学部	20
	Diane B. Kunz	Yale University(アメリカ合衆国)	取りやめ	西崎文子	法学部	

来日年度	氏名	所属(国名)	受入期間	受入者		No.
1997	宗像俊則	Cleveland State University (アメリカ合衆国)	1997/6/15 ~ 7/19	飯田善久	工学部	21
	Pierre van der Eng	Australian National University (オーストラリア連邦)	1997/12/1 ~ 1998/2/1	川越俊彦	経済学部	22
	Miryam Belle Sas	Harvard University (アメリカ合衆国)	1997/5/28 ~ 7/4	下河辺美知子	文学部	23
1998	Medhi Krongkaew	Thammasat University (タイ王国)	1998/4/18 ~ 4/23	幸村千佳良	経済学部	24
	Arun Radha Krishnan	Murdoch University (オーストラリア連邦)	1998/11/6 ~ 12/26	中里昭彦	文学部	25
	Kalyandurg AnnaPurna	Central Glass & Ceramic Research Institute (インド)	取りやめ	森田眞	工学部	
	Lee Hong Jung	Selly Oak College (英国)	1998/10/2 ~ 10/25	新屋重彦	文学部	
1999	李徳純 (Li De Chun)	中国社会科学院 (中華人民共和国)	1999/11/8 ~ 2000/1/7	羽鳥一英	文学部	27
2000	Eric Feldman	New York University (アメリカ合衆国)	2000/5/8 ~ 6/7 (~ 7/4 法学部)	増山幹高	法学部	28
	Mangala Shrestha	Tribhuvan Univeresity (ネパール連邦民主共和国)	2000/11/1 ~ 11/30	高木新太郎	経済学部	29
	Mustafa Erdoddu	Marmara University (トルコ共和国)	2000/7/1 ~ 7/30	竹内敬子	文学部	30
	Ralte Lalrinawmi	United Theological College (インド)	2000/7/9 ~ 7/23	正岡和恵	文学部	31
2001	Eduard Klopfenstein	Universitat Zurich (スイス連邦)	2001/9/17 ~ 10/16	松下たゑ子	経済学部	32
	林 嵐 (Lin Lan)	東北師範大学 (中華人民共和国)	2001/10/22 ~ 11/23	林廣親	文学部	33
2002	Meiko Shimon	Universidade Federal do Rio Grande do Sul (ブラジル連邦共和国)	2002/5/27 ~ 7/27	羽鳥一英	文学部	34
	Jagan Nath Shrestha	Tribhuvan University (ネパール連邦民主共和国)	2002/12/16 ~ 2003/1/31	小島紀徳	工学部	35
2003	Xiaoming Huang	Victoria Univesity of Wellington (ニュージーランド)	2003/6/2 ~ 8/1	西崎文子	法学部	36
	雀在喆 (Jae Chul Choi)	韓国外語大学 (大韓民国)	2003/7/8 ~ 8/28	羽鳥一英	文学部	37
	Benjang Jaisai	Chiang Mai University (タイ王国)	2003/4/1 ~ 5/31	柳井道夫	文学部	38
2004	Mohamed Aafif	Universite Mohamed V Agdal (モロッコ共和国)	2004/11/15 ~ 12/24	堀内正樹	文学部	39
	Pattarawan Youyen	Chiang Mai University (タイ王国)	2004/4/1 ~ 5/15	米山三明	文学部	40
	Miriam Silverberg	University of California, Los Angeles UCLA (アメリカ合衆国)	2004/4/9 ~ 5/12	佐藤バーバラ	文学部	41
	宣在源 (Sun Jae-Won)	平澤大学校 (大韓民国)	2004/6/23 ~ 8/5	鈴木健二	文学部	42

来日年度	氏名	所属(国名)	受入期間	受入者		No.
2005	Marianne Bastid-Bruguère	National Center for Scientific Research (フランス共和国)	2005/10/20 ~ 11/16	橋本綱	経済学部	43
	何群雄 (He Qunxiong)	School of Government University of Tasmania (オーストラリア連邦)	2005/12/15 ~ 2006/1/14	石 剛	文学部	44
	Evelyn Schulz	Munich University, Japan Center (ドイツ)	2006/3/17 ~ 5/17	三浦國泰	文学部	45
2006	謝望原 (Xie Wang-Yuan)	中国人民大学法学院 (中華人民共和国)	2006/7/1 ~ 7/31	金光旭	法学部	46
	Gavin Parker	University of Reading (英国)	2006/12/8 ~ 2007/1/6	高田昭彦	文学部	47
2007	Mangala Shrestha	Tribhuvan Univeresity (ネパール連邦民主共和国)	2007/12/17 ~ 2008/1/15	竹内敬子	文学部	48
2008	Mohamed Aafif	Mohammed V University (モロッコ共和国)	2008/10/15 ~ 11/14	堀内正樹	文学部	49
2009	Urs Matthias Zachmann	Munich University, Japan Center (ドイツ)	2009/8/26 ~ 9/25	三浦國泰	文学部	50
	Sanjay Kumar	Center for Renewable Energy and Environmetal Research, BRA Bithar University (インド)	2009/4/28 ~ 6/3	小島紀徳	理工学部	51
2010	Michel Vieillard-Baron	Institut National des Langues et Civilisations Orientales (フランス共和国)	2010/9/1 ~ 9/30	浅見和彦	文学部	52
	陳興良 (Chen Xing-Liang)	北京大学法学院 (中華人民共和国)	2010/6/3 ~ 6/8	金光旭	法学部	53
	Evelyn Schulz	Munich University, Japan Center (ドイツ)	2010/10/25 ~ 11/22	三浦國泰	文学部	54
2011	Steffen Matthias Döll	Munich University, Japan Center (ドイツ)	2011/9/10 ~ 10/15	三浦國泰	文学部	55
	Mark Brendan Howe	Institute for Development & Human Security, Graduate School of International Studies Ewha Womans University (大韓民国)	取りやめ	遠藤誠治	法学部	
2012	Michael J. Grossman	Southern Illinois University Edwardsville (アメリカ合衆国)	2012/8/28 ~ 10/7	財城真寿美	経済学部	56
	Boguslaw Drellich-Skulska	Wroclaw University of Economics (ポーランド共和国)	2012/4/1 ~ 4/11	安部圭介	法学部	57
	Przemyslaw Skulski	Wroclaw University of Economics (ポーランド共和国)	2012/4/1 ~ 4/11	安部圭介	法学部	58
2013	崔曉倩 (Hsiao-Chien Tsui)	台湾国立中正大学 (台湾)	2013/4/1 ~ 5/7	吉田由寛	経済学部	59
	Sinha Sangeeta	University Department of Physics, B.R. Ambedkar Bihar University (インド)	2013/6/2 ~ 7/10	鈴木誠一	理工学部	60
	Anna Helena Jankowiak	Wroclaw University of Economics (ポーランド共和国)	2013/9/15 ~ 9/26	安部圭介	法学部	61
	Szymon Mazurek	Wroclaw University of Economics (ポーランド共和国)	2013/9/15 ~ 9/26	安部圭介	法学部	62

来日年度	氏名	所属(国名)	受入期間	受入者		No.
2014	Andrea Fracasso	University of Trent (イタリア共和国)	2014/4/2 ~ 4/30	永野護	経済学部	63
	Sebastian Bobowski	Wroclaw University of Economics (ポーランド共和国)	2014/10/10 ~ 11/10	佐藤義明	法学部	64
	Karolina Lopacinska	Wroclaw University of Economics (ポーランド共和国)	2014/10/10 ~ 11/10	佐藤義明	法学部	65
2015	Sophia Anastasia Latsos	European Central Bank (ドイツ)	2015/8/2 ~ 10/29	永野護	経済学部	66
	Dietmar Leithner	University of Applied Sciences Upper Austria (オーストリア共和国)	2015/9/17 ~ 9/25	安部圭介	法学部	67
	Ivan Etzo	University of Cagliari (イタリア共和国)	2016/2/23 ~ 3/20	鷹岡澄子	経済学部	68
2016	黄 行 (Huang Xing)	中国社会科学院民俗学人類学研究所 (中華人民共和国)	2016/4/5 ~ 5/5	石 剛	文学部	69
2017	Baldandorji Urangoo	National University of Mongolia (モンゴル国)	2017/12/20 ~ 2018/2/9	墓田桂	文学部	70
	Batbayar Sarangerel	National University of Mongolia (モンゴル国)	2017/6/19 ~ 8/10	墓田桂	文学部	71
	趙蓉暉 (Zhao Ronghui)	上海外国語大学言語研究院 (中華人民共和国)	2017/7/24 ~ 8/27	李林静	法学部	72
2018	Dougal Mcneill	Victoria Univesity of Wellington (ニュージーランド)	2018/11/19 ~ 12/21	遠藤不比人	文学部	73
	Neil Martin	International Development, Behavior Analyst Certification Board (英国)	取りやめ	Maurice Jamall	文学部	
	Bjoern Dressel	Australian National University (オーストラリア連邦)	2018/6/11 ~ 6/23	井上智夫	経済学部	74
	Brendon Cannon	Khalifa University of Science and Technology (アラブ首長国連邦)	2018/6/10 ~ 7/10	墓田桂	文学部	75
2019	韓文軍 (Han Wenjun)	中国農業科学院 草原研究所 (中華人民共和国)	取りやめ	鈴木誠一	理工学部	
2020	Qandeel Hussain	North Carolina State University (アメリカ合衆国)	COVID-19感染拡大の影響により取りやめ	増田斐那子	理工学部	
	Monica Wirz	University of Cambridge (英国)	COVID-19感染拡大の影響により取りやめ 2021年度に延期	遠藤不比人	文学部	
2021	Mohammed Ansarul Alam	University of Dhaka (バングラデシュ)	2021/7/10 ~ 10/9	小林盾	文学部	76
	Monica Wirz	University of Cambridge (英国)	2020年度より延期 (時期未定)	遠藤不比人	文学部	77

5 構成員一覧

年度	所長・運営委員長	運営委員				経済（～'19年） 経済・経営（'20年～）
		経済（～'19年） 経済・経営（'20年～）	工（～'04年） 理工（'05年～）	文	法	
1981	川口浩（法）	篠原三代平 廣野良吉	飯田芳男 豊田淳一	柳井道夫 武谷紀久雄	宇野重昭 廣部和也	
1982	宇野重昭（法）	篠原三代平 別府祐弘	飯田芳男 江守一郎	牟田口義郎 山口欣治	植村栄治 加藤節	
1983	宇野重昭（法）	別府祐弘 渡辺健一	青木正喜 江守一郎	牟田口義郎 山口欣治	植村栄治 加藤節	後藤晃
1984	宇野重昭（法）	後藤晃 鈴木紘治	桐沢潔 星孝雄	神部武宣 牟田口義郎	落合誠一 加藤節	後藤晃
1985	川口浩（法）	後藤晃 鈴木紘治	栗田恵輔 星孝雄	牟田口義郎 柳井道夫	落合誠一 加藤節	後藤晃（～5月） 磯部啓三（6月～）
1986	川口浩（法）	後藤晃 徳谷昌勇	栗田恵輔 橋本竹夫	牟田口義郎 柳井道夫	加藤節 細田直孝	磯部啓三
1987	柳井道夫（文） （4～6月代理）	磯部啓三 徳谷昌勇	今井寅二郎 橋本竹夫	武谷紀久雄 牟田口義郎	曾田厚 細田直孝	大野昭彦
1988	柳井道夫（文）	後藤晃 関口末夫	今井寅二郎 鷺津正夫	武谷紀久雄 牟田口義郎	落合誠一 加藤節	大野昭彦
1989	柳井道夫（文）	関口末夫 對木隆英	鷺津正夫 篠田純雄	浅野雅巳 牟田口義郎	落合誠一 加藤節	武藤恭彦
1990	加藤節（法）	村松司叙 渡辺健一	石郷岡猛 戸谷洋一郎	浅野雅巳 牟田口義郎	廣部和也 宮本光雄	武藤恭彦
1991	加藤節（法）	村松司叙 渡辺健一	石郷岡猛 橋本竹夫	浅野雅巳 村嶋英治	宮本光雄 古軸隆介	武藤恭彦
1992	加藤節（法）	村松司叙 川越俊彦	河田燕 秋松雅子	度會好一 村嶋英治	古軸隆介 西崎文子	関口末夫
1993	関口末夫（経）	別府祐弘 勝原晴希	河田燕 秋松雅子	村嶋英治 工藤光一	古軸隆介 中村民雄	川越俊彦
1994	関口末夫（経）	成道秀雄	小島紀徳	仲井斌	亀嶋庸一	川越俊彦 Ronald S. Zavislak
1995	関口末夫（経）	成道秀雄	小島紀徳	仲井斌	亀嶋庸一	川越俊彦 磯部啓三
1996	幸村千佳良（経）	成道秀雄	森島繁生	仲井斌	曾田厚	磯部啓三 松本貴典
1997	幸村千佳良（経）	成道秀雄	森島繁生	浅野雅巳	三谷太一郎	高松和明 松本貴典
1998	幸村千佳良（経）	本間正義	川口忠雄	浅野雅巳	三谷太一郎	高松和明 井上智夫
1999	富田武（法）	本間正義（前期） 中神康博（後期）	川口忠雄	浅野雅巳	三谷太一郎	宮脇俊文 井上智夫
2000	富田武（法）	高木新太郎	小島紀徳	竹内敬子	三谷太一郎	宮脇俊文
2001	富田武（法）	宮脇俊文	小島紀徳	竹内敬子	青山善充	本間正義
2002	鈴木健二（文）	宮脇俊文	小島紀徳	見城武秀	青山善充	中神康博

（主任）…主任研究員 （特任）…特任研究員 （特別）…特別研究員 （PD）…ポスト・ドクター （客員）…客員研究員
（研究員制度の変更により1992年以降は客員研究員は掲載していない）

所 員			研究員	事務長・課長	事務職員
工(～'04年) 理工('05年～)	文	法			
		宇野重昭			渋谷ひとみ
		加藤節		今野良範	渋谷ひとみ
		加藤節		今野良範	渋谷ひとみ
尾崎義治	神部武宣	加藤節	竹田いさみ(客員)	今野良範	渋谷ひとみ 山田紀子
尾崎義治	柳井道夫	加藤節	竹田いさみ(客員)	菅谷徳司	渋谷ひとみ 本間弓子 山田紀子
尾崎義治	柳井道夫	下斗米伸夫	竹田いさみ(客員)	菅谷徳司	渋谷ひとみ 山田紀子 鶴田佳代子
戸谷洋一郎	門口充徳	下斗米伸夫	竹田いさみ(客員)	菅谷徳司(～9月) 篠原直俊(10月～)	渋谷ひとみ 山田紀子 松田薫(～8月) 小島順子(9月～)
戸谷洋一郎	門口充徳	富田武	竹田いさみ(客員)	篠原直俊	玉置健児(事務長補佐) 渋谷ひとみ 山田紀子 細本有理子(10月～) 小島順子
戸谷洋一郎	奥野昌宏	富田武	竹田いさみ(客員)	篠原直俊	玉置健児(事務長補佐) 渋谷ひとみ 細本有理子 松永弘之 小島順子
前沢三郎	奥野昌宏	桂木隆夫	竹田いさみ(客員)	鈴木護俣	細本有理子 松永弘之
前沢三郎	門口充徳	桂木隆夫	竹田いさみ(客員)	鈴木護俣	細本有理子 内堀充子
前沢三郎	竹内敬子	亀嶋庸一		鈴木護俣	細本有理子 内堀充子
小島紀徳	竹内敬子	亀嶋庸一		菅谷徳司	細本有理子 内堀充子
	村嶋英治	小原隆治		菅谷徳司	細本有理子 内堀充子 中垣佳枝
	奥野昌宏	小原隆治		菅谷徳司	細本有理子 内堀充子
	奥野昌宏	西崎文子		菅谷徳司	内堀充子 長谷部裕嗣
	John D. Scahill	西崎文子		水野誠	菅谷徳司 内堀充子 長谷部裕嗣 赤川真貴子
	Guy Modica	遠藤誠治		水野誠	内堀充子 長谷部裕嗣 宇野智子 赤川真貴子
	Guy Modica	遠藤誠治		水野誠(～5月) 篠原直俊(6月～)	大井敏暉(事務長補佐) (6月～) 長谷部裕嗣 宇野智子
	佐藤バーバラ	光田剛 李静和	有田伸(特別)	篠原直俊	大井敏暉(事務長補佐) 長谷部裕嗣 宇野智子
	佐藤バーバラ	光田剛	有田伸(特別)	篠原直俊	大井敏暉(事務長補佐) 長谷部裕嗣 宇野智子 安藤美恵
	佐藤バーバラ 下河辺美知子	増山幹高	光辻克馬(特別)	圓子親一	大井敏暉(事務長補佐) 長谷部裕嗣(～5月) 室井直子(6月～) 宇野智子

年度	所長・運営委員長	運営委員				経済（～'19年） 経済・経営（'20年～）
		経済（～'19年） 経済・経営（'20年～）	工（～'04年） 理工（'05年～）	文	法	
2003	鈴木健二（文）	宮脇俊文	小島紀徳	見城武秀	青山善充	中神康博
2004	鈴木健二（文）	鈴木滋	小島紀徳	下河辺美知子	宮本光雄	挾本佳代
2005	鈴木健二（文）	鈴木滋	小島紀徳	下河辺美知子	宮村治雄	鷹岡澄子
2006	鈴木健二（文）	松下たゑ子	小島紀徳	堀内正樹	宮村治雄	野島美保
2007	鈴木健二（文）	伊藤克容	小島紀徳	堀内正樹	李静和	近藤正
2008	亀嶋庸一（法）	伊藤克容	村上仁己	新屋重彦	李静和	近藤正
2009	亀嶋庸一（法）	鈴木滋	村上仁己	新屋重彦	李静和	中神康博
2010	中神康博（経）	高橋史郎	小島紀徳	浜田雄介	李静和	山本品
2011	中神康博（経）	高橋史郎	小島紀徳（～9/27） 山崎章弘（9/28～）	高田昭彦	李静和	山本品
2012	中神康博（経）	高橋史郎	弓削康平	高田昭彦	李静和	吉田由寛
2013	中神康博（経）	成道秀雄	弓削康平	高田昭彦	李静和	田口誠
2014	李静和（法）	成道秀雄	富谷光良	堀内正樹	金光旭	挾本佳代
2015	李静和（法）	成道秀雄	富谷光良	堀内正樹	金光旭	挾本佳代
2016	李静和（法）	鈴木恵美子	杉山賢二	田辺春美	西村美香	松本貴典（～4月） 山上浩明（5～8月） 平尾由紀子（9月～）
2017	中江桂子（文）	川越俊彦	杉山賢二	田辺春美	西村美香	鈴木恵美子
2018	高安健将（法）	川越俊彦	鳥毛明	庄司宏子	西村美香	宮脇俊文
2019	高安健将（法）	川越俊彦	鳥毛明	渡邊大輔	浅羽隆史（～8月） 安部圭介（9月～）	内田雄貴
2020	高安健将（法）	中神康博（経済）	中野有紀子	川村陶子	安部圭介	内田雄貴（経済）

（主任）…主任研究員 （特任）…特任研究員 （特別）…特別研究員 （PD）…ポスト・ドクター （客員）…客員研究員
（研究員制度の変更により1992年以降は客員研究員は掲載していない）

所 員			研究員	事務長・課長	事務職員
工(～'04年) 理工('05年～)	文	法			
	佐藤バーバラ 下河辺美知子	増山幹高	光辻克馬(特別)(～6月) 山元菜々(特別)(7月～)	圓子親一	大井敏暉(事務長補佐) 室井直子 宇野智子(～5月) 茜ヶ久保永子(6月～)
	佐藤バーバラ 綾部真雄	李静和	川上代里子(特別)	小河泉	大井敏暉 室井直子 茜ヶ久保永子
	佐藤バーバラ 綾部真雄	李静和	川上代里子(特別)	小河泉	大井敏暉 室井直子 茜ヶ久保永子(～9月) 片岡恭子(10月～)
	佐藤バーバラ 森雄一	飯田高	川上代里子(特別) 小宮山真美子(特別)(6月～)	小河泉(～5月) 神田昭子(6月～)	室井直子 片岡恭子 高嶋八寿子(1月～)
里川重夫	佐藤バーバラ 森雄一	飯田高	川上代里子(特別) 小宮山真美子(特別)	神田昭子	室井直子 片岡恭子 高嶋八寿子
里川重夫	石 剛	飯田高	相澤真一(特別) 重野純子(特別) 山上亜紀(特別)	神田昭子	室井直子(～5月) 後藤哲史(6月～) 片岡恭子 高嶋八寿子
山崎章弘	松浦義弘	佐藤義明	愛甲雄一(主任) 相澤真一(特別) 重野純子(特別) 山上亜紀(特別) 楊 燕(特別)(～10月)	神田昭子	後藤哲史 秋吉加名子(11月～)
山崎章弘	中野由美子	佐藤義明	高 愛甲雄一(主任) 一(特任)(～10月) 池田誠(特別) 重野純子(特別) 山上亜紀(特別) 渡邊大輔(特別)	神田昭子	後藤哲史(～5月) 佐々木大介(6月～) 秋吉加名子
滝沢誠	中野由美子	北島周作	愛甲雄一(主任) 高 一(特任) 趙貴花(特別)	神田昭子	佐々木大介 秋吉加名子
滝沢誠	中野由美子	原昌登	愛甲雄一(主任) 高 一(特任) 趙貴花(特別)	神田昭子	佐々木大介 秋吉加名子
鈴木誠一	中野由美子	塩澤一洋	愛甲雄一(主任) 趙貴花(特別)	神田昭子	佐々木大介 仁井田恵美子
鈴木誠一	遠藤不比人	測史彦	田浪亜央江(主任) 大崎裕子(特別)	神田昭子	関島広祥 仁井田恵美子 山中佐智子(12月～)
山本真基	遠藤不比人	測史彦	田浪亜央江(主任) 大崎裕子(特別) 村上陽子(特別) 上原こずえ(特別)(7月～) 長谷川明香(特別)	神田昭子	関島広祥 山中佐智子
山本真基	佐々木紳	測史彦	田浪亜央江(主任) 大崎裕子(特別) 上原こずえ(特別) 長谷川明香(特別) 逆井聡人(特別)(9～1月)	細本有理子	関島広祥 斉藤美幸 山中佐智子
齋藤洋司	細谷広美	井上正也	惠羅さとみ(主任) 長谷川明香(特別) 上原こずえ(特別) 武田悠(PD)(11月～) 池宮城陽子(PD)(3月～)	細本有理子	斉藤美幸 長橋典子 山中佐智子
齋藤洋司	B.J.ラルフ	井上正也	惠羅さとみ(主任) 池宮城陽子(PD)	寺西浩	斉藤美幸 長橋典子 山中佐智子
戸谷希一郎	金善美	板橋拓己	惠羅さとみ(主任) 池宮城陽子(PD)	寺西浩	斉藤美幸 長橋典子 原美弥子
戸谷希一郎	金善美	今井貴子	惠羅さとみ(主任) 池宮城陽子(PD)(～2月) 飯尾真貴子(PD)(11月～)	寺西浩	斉藤美幸 長橋典子 原美弥子(～6月) 小笹有理(9月～)

Ⅳ 成蹊大学アジア太平洋研究センター規則

制 定 昭和56年3月18日
大 学 評 議 会
最新改正 2019年5月22日

(趣旨)

第1条 この規則は、成蹊大学学則第6条第3項の規定に基づき、成蹊大学アジア太平洋研究センター (Center for Asian and Pacific Studies (CAPS)) (以下「センター」という。) に関する基本的な事項について定める。

(目的)

第2条 センターは、アジア太平洋地域に関連する各分野の学際的・国際的共同研究の推進及びその研究成果の社会への還元並びに国際学術交流の促進を目的とする。

(事業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 研究プロジェクトの企画、組織化及び運営に関すること。
- (2) 研究成果の刊行に関すること。
- (3) 国際的学術活動の促進及び支援に関すること。
- (4) セミナー、シンポジウム、公開講座等の開催に関すること。
- (5) 日本研究関係図書情報サービス及びアジア太平洋地域に関連する研究資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (6) 国内外の大学及び研究機関との学術交流に関すること。
- (7) その他前条の目的の達成に必要な事項

(構成)

第4条 センターは、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 所長
 - (2) 所員 若干名
 - (3) 事務職員 若干名
- 2 前項各号に掲げる者のほか、センターに、次に掲げる者を置くことができる。
- (1) 主任研究員 1名
 - (2) ポスト・ドクター 若干名
 - (3) 客員研究員 若干名
- 3 前項各号に掲げる者に関し必要な事項は、別に定める。
- (所長)

第5条 所長の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 所長が任期途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(所員)

第6条 所員は、本学の教授、准教授及び専任講師のうちから所長が推薦し、学長が任命する。

- 2 所員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 所員は、センターの目的達成に必要な業務を遂行し、所長を補佐する。
- 4 所員が任期途中で退任した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営委員会)

第7条 センターの運営に関する基本方針及び重要事項を審議するため、成蹊大学アジア太平洋研究センター運営委員会 (以下「運営委員会」という。) を置く。

- 2 運営委員会に関する規則は、別に定める。

(所員会議)

第8条 所長の諮問に応じて、センターの行う事業の企画執行に関する事項を審議するため、成蹊大学アジア太平洋研究センター所員会議 (以下「所員会議」という。) を置く。

- 2 所員会議に関する規則は、別に定める。

(経理)

第9条 センターの通常経費は、大学の予算による。ただし、センターに、各種助成金、寄附金等を財源として、特別会計を置くことができる。

2 特別会計の設置、運用、使途等は、運営委員会において定める。

(事務の所管)

第10条 センターに関する事務は、学長室研究助成課が所管する。

(細則)

第11条 この規則に定めるもののほか、センターの事業に関し必要な事項は、別に定める。

(規則の改廃)

第12条 この規則の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則 (昭和56年3月18日制定)

この規則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年2月22日一部改正)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (2007年4月11日一部改正)

この規則は、2007年4月1日から施行する。

附 則 (2007年6月13日一部改正)

この規則は、2007年6月13日から施行する。

附 則 (2009年10月7日一部改正)

この規則は、2009年10月7日から施行する。

附 則 (2015年6月3日一部改正)

この規則は、2015年6月3日から施行する。

附 則 (2018年2月8日一部改正)

この規則は、2018年4月1日から施行する。

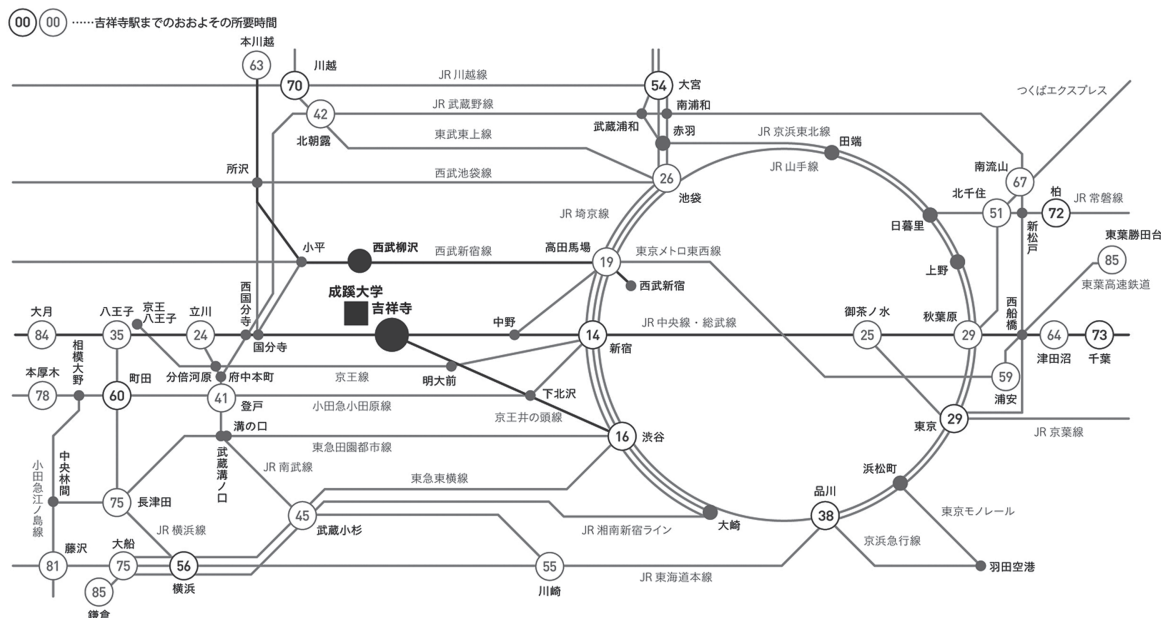
附 則 (2019年5月22日一部改正)

この規則は、2019年6月1日から施行する。

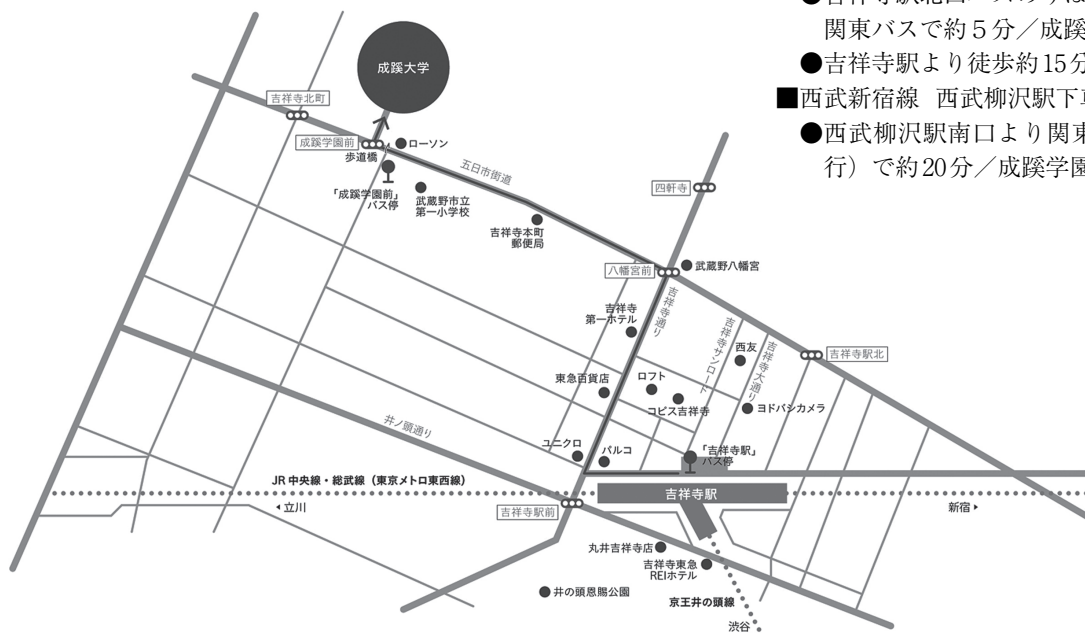
V アジア太平洋研究センター案内図

成蹊大学アジア太平洋研究センターへのアクセス

〈主要な駅から吉祥寺駅までの所要時間〉



〈吉祥寺駅から成蹊大学へのアクセス〉



- J R 中央線・総武線（東京メトロ東西線）・京王井の頭線 吉祥寺駅下車
- 吉祥寺駅北口バスのりば 1・2 番より 関東バスで約 5 分／成蹊学園前下車
- 吉祥寺駅より徒歩約 15 分
- 西武新宿線 西武柳沢駅下車
- 西武柳沢駅南口より関東バス（吉祥寺駅行）で約 20 分／成蹊学園前下車

※ アジア太平洋研究センターは成蹊大学 1 号館 3 階

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

TEL : 0422(37)3549 FAX : 0422(37)3866 e-mail: caps@jim.seikei.ac.jp

CAPSの40年 1981-2021

2021年3月1日発行

(編集発行)

成蹊大学アジア太平洋研究センター

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 1号館3F

TEL: 0422(37)3549 FAX: 0422(37)3866

e-mai: caps@jim.seikei.ac.jp

公式ウェブサイト: <https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>

The 40 Years of CAPS, 1981~2021

